

大日本刑法註釋大成
戸田 十畝 編
上

特41

513

東京圖書館

新門 四四函

部一一 三架

類 號

036084-001-1

特41-513

大日本刑法註釋大成

戸田 十畝 / 編

上

M15

BBP-0735



戶部欽編述

大皇刑法註釋大成

版權所有

寶文軒藏版

特41
513

刑法注釋序

人民之洪福者政事公平為
最政事公平者刑法公平為
最刑罰刑法者人倫之所繫也
我朝古制姑置之迄於家專政
以軍律處之威如雷

序一

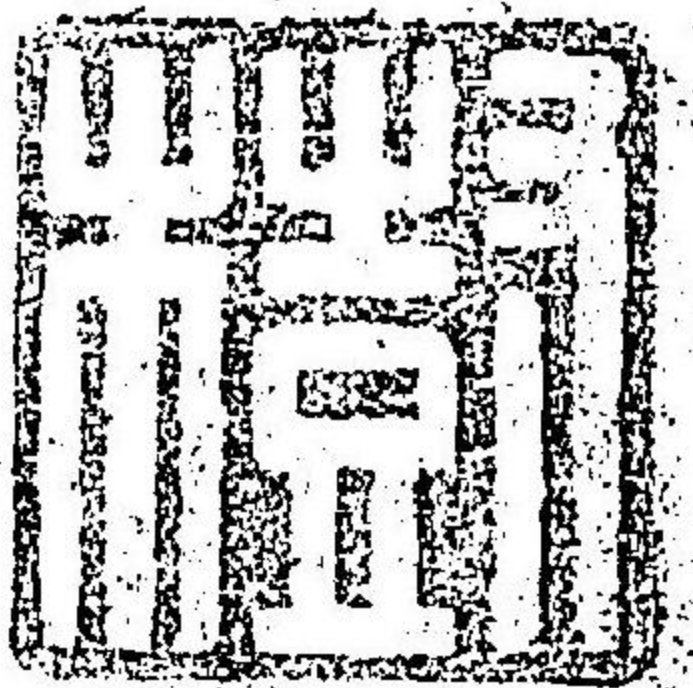
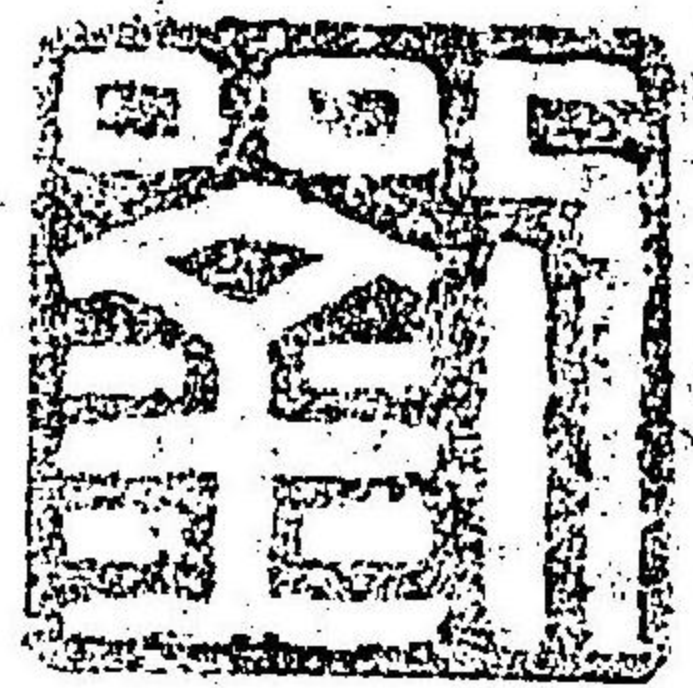
通達之壓豈不可畏乎
今上御宇一新海內首敷新
律綱領蠲舊弊今亦頒刑法
以保祐人民甚王上旨存重人
命嗚呼民之生此世不亦浩
福乎余也嘗向負議官與

議刑法常世故此言以竊自
賀頃書肆一寶文軒主人持
戶田氏所著刑法及治罪法註
釋乞序於余余乃思議院竊
賀之年聊錄此而還之若夫
臣釋之利害得失世同公評

在焉不復余之言也

明治十五年一月

秋月種樹撰



大日本刑法註釋大成

大日本刑法註釋大成

緒言

醫師アリト雖凡藥劑ナクンバ何ゾ病痾ヲ治スルヲ得ン治罪法
 アリト雖凡刑法ナクンバ何ゾ社會ノ害惡ヲ箝除スルヲ得ン治
 罪法ハ尚ホ醫師ノ如ク刑法ハ尚ホ藥劑ノ如シ腹膜焮衝ノ激症虎
 列拉。窒扶私ノ傳染病アルモ名醫ノ治術ト純良ノ藥劑トヲ以テ也
 激症焮衝ノ焮衝ヲ忘却シ傳染病乍チ流行ノ蹟ヲ絶ツ殺傷ノ慘劇
 國受也
 類アルモ治罪ノ當ヲ得。刑ノ適用ヲ誤ラズンバ慘劇乍
 黨類乍チ解散セシ我邦古來刑律ノ威文ナルモノア
 正ヲ加フルト雖凡或ハ酷ニ失シ或ハ寬ニ失シ真ニ法
 罪ニ據レリト云フニ至ラザリシガ明治十三年七月十
 日我が政府ハ刑法ヲ改定セラレ明治十五年一月一日ヨ

東書香

大日本刑法註釋大成 緒言

リ實施スルトトセラレタリ其文簡ニシテ其ノ意深遠其ノ理達ニ其ノ義高尚之レヲ新律綱領改定律例ニ比スル又々同日ノ論ニ非ズ大ニ面目ヲ改メテ法律進歩ノ著シキヲ社會ニ現出シタリ豈ニ善カラズヤ我儕此ノ刑法ヲ以テ真ニ完全無缺ナルモノナリト評ヲ下スベキカ否ヤカハ姑ク之レヲ關スルモ彼ノ羅馬ノ古典ハ此ノ刑法ノ原則トナリ彼ノ歐米各國ノ刑法ハ此ノ刑法ノ參考トナリ我が風土人情ハ此ノ刑法ノ斟酌トナリシヲ以テ見ルトキハ亦タ我法律ノ陋習ヲ破リテ一大進歩ノ徵候ヲ致シタルモノナリト謂ハザルヲ得ザルナリ我日本國民タルモノ此ノ刑法ヲ暗ニシテ害惡ノ心ヲ洗ヒ社會ノ幸福ヲ祈リ國權ノ皇張ヲ慮リ大ニ死刑廢絶ノ文化ヲ我が帝國ニ適スルノ度ヲ近キニ欲シタキモノナラズヤ然ルニ新律ノ文意簡ニ又々深遠ナルモノナレハ法律ニ明ナル人ナラザルヨリハ尋常人民ノ能ク了解明竅スル所ニアラズ實ニ其文意ヲ解スルニ苦シムナリ故ニ頒布セラル、ヤ刑法治罪法審査委員等々太政官權大書記官兼外務權大書記官村田保氏先ツ之レヲ註釋シテ世ニ公ニシ踵テ織田純一郎氏モ又々註釋ヲ發表ス其ノ他高水豊三氏ノ刑法義解ニ於ケル檢事宮城浩藏氏ノ日本刑法論ニ於ケル或ハ某ノ註釋ニ或ハ某ノ義解ニ其ノ數十種ヲ以テ等アルノ多キニ至リ法律學ニ明力ナル學士輩ノ力ヲ盡シテ編著スルモノニカ、レバ間然ス可キモノナキハ勿論ナリト虽凡簡ニ過グレバ註釈ノ效ナク密ニ過グレバ閱讀ニ倦ム今數十種ノ註釈書類ヲ繕キテ之レヲ通讀スルニ簡密ノ中ニアリテ解ニ易ク閱讀ニ倦マザル一般人民ノ便ニ供スベキ適當ノ書アルヲ見ズ誠ニ撰譯ノ歎ナキ能ハズ於是乎我儕心竊ニ佛ル所アリ法律學ニ精ナ

ル人ナラザルヨリハ尋常人民ノ能ク了解明竅スル所ニアラズ實ニ其文意ヲ解スルニ苦シムナリ故ニ頒布セラル、ヤ刑法治罪法審査委員等々太政官權大書記官兼外務權大書記官村田保氏先ツ之レヲ註釋シテ世ニ公ニシ踵テ織田純一郎氏モ又々註釋ヲ發表ス其ノ他高水豊三氏ノ刑法義解ニ於ケル檢事宮城浩藏氏ノ日本刑法論ニ於ケル或ハ某ノ註釋ニ或ハ某ノ義解ニ其ノ數十種ヲ以テ等アルノ多キニ至リ法律學ニ明力ナル學士輩ノ力ヲ盡シテ編著スルモノニカ、レバ間然ス可キモノナキハ勿論ナリト虽凡簡ニ過グレバ註釈ノ效ナク密ニ過グレバ閱讀ニ倦ム今數十種ノ註釈書類ヲ繕キテ之レヲ通讀スルニ簡密ノ中ニアリテ解ニ易ク閱讀ニ倦マザル一般人民ノ便ニ供スベキ適當ノ書アルヲ見ズ誠ニ撰譯ノ歎ナキ能ハズ於是乎我儕心竊ニ佛ル所アリ法律學ニ精ナ

ラザルヲモ顧ミ入筆ヲ刑法註釈ノ編著ニ添ム又タ偶然ニアラザ
 ルナリ恰モ好シ寶文軒書肆ノ慮ヲ我儕ト共ニスル且際シ力ヲ此ノ
 編著ニ盡シ漸ク以テ稿ヲ脱ス其ノ体裁タルヤ第一文ヲ飾ラズ解
 意ヲ主トシ第二婦女ト虽凡閱讀ニ便ナラシメンタメ本文註釈共
 ニ傍訓ヲ附シ第三每條ノ解意ヲ主トセズ每條ノ精神ヲ探リ或ハ
 法理ヲ以テ之レヲ論ジ或ハ適例ヲ以テ實地ヲ知ユ易カラシメ第
 四此ノ刑法頒布後該法ヲ補セ條項ヲ明細ニセシ公布諸達ヲ卷末
 ニ輯メテ之レニ註釋シ本法ノ參考トナス世人本書ヲ採テ之レヲ
 披閱スルニアラハ或ハ隔靴搔痒ノ歎ヲ免ル、ニ庶幾ラン

明治十五年一月中濤大坂ニ於テ 西備 戸田十畝識

大日本刑法註釋大成目錄

第一篇 總則 計十章	一	丁	才
第一章 法例 計五條	一	丁	才
第二章 刑例 計八節	二	丁	ウ
第一節 刑名 計十一條	二	丁	ウ
第二節 主刑處分 計七條	五	丁	才
第三節 附加刑處分 計四條	十	丁	才
第四節 微償處分 計八條	十六	丁	才
第五節 刑期計算 計九條	十七	丁	ウ
第六節 假出獄 計七條	十九	丁	才
第七節 期滿免除 計二條	二十	丁	ウ
第八節 復権 計三條	廿二	丁	ウ
第三章 加減例 計六條	廿四	丁	才
第四章 不論罪及減輕 計三節	廿七	丁	才

大日本刑法註釋大成 卷一 目錄

西備 戸田十畝識

第一節 不論罪及宥恕減輕 計八十五條

第二節 自首減輕 計八十八條

第三節 酌量減輕 計九十九條

第五章 再犯加重 計九十八條

第六章 加減順序 計九十九條

第七章 數罪俱發 計九十九條

第八章 數人共犯 計三節

第一節 正犯 計八條

第二節 從犯 計九條

第九章 未遂犯罪 計三十三條

第十章 親屬例 計五十四條

第二篇 公益三關スル重罪輕罪 計九章

第一章 公室ニ對スル罪 計二十六條

第二章 國事ニ關スル罪 計二節

廿七丁才

三十丁ウ

三十二丁才

三十二丁ウ

三十四丁ウ

三十五丁才

三十七丁才

三十七丁才

三十八丁ウ

三十九丁ウ

四十丁ウ

四十二丁才

四十二丁才

四十三丁ウ

第一節 内乱ニ關スル罪 計二十八條

第二節 外患ニ關スル罪 計三十五條

第三章 誹謗ノ害スル罪 計九節

第一節 兇徒聚衆ノ罪 計三十八條

第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪 計三十九條

第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪 計五十二條

第四節 附加刑ノ執行ヲ遁ルノ罪 計五十四條

第五節 私ニ軍用ノ銃砲彈藥ヲ製造シ及ヒ所有スル罪 計五十七條

第六節 往來通信ヲ妨害スル罪 計五十二條

第七節 人ノ住所ヲ侵入スル罪 計五十三條

第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪 計五十四條

第九節 公務ヲ行フヲ拒ム罪 計五十七條

第四章 信用ヲ害スル罪 計九節

第一節 貨幣ヲ偽造スル罪 計三十三條

六十三丁ウ

第二節 官印之偽造スル罪 罰金二百四十條 六十七丁才

第三節 官ノ文書ヲ偽造スル罪 罰金二百七條 六十九丁才

第四節 私印私書ヲ偽造スル罪 罰金二百八條 七十一丁才

第五節 免狀鑑札及ヒ疾病證書ヲ偽造スル罪 罰金二百十三條 七十二丁才

第六節 偽証ノ罪 罰金二百十八條 七十四丁才

第七節 度量衡ヲ偽造スル罪 罰金二百二十二條 七十八丁才

第八節 身分ヲ詐稱スル罪 罰金二百三十二條 七十九丁才

第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪 罰金二百三十三條 七十九丁才

第五章 健康ヲ害スル罪 計六節 八十丁才

第一節 阿片烟ニ關スル罪 罰金二百三十七條 八十丁才

第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪 罰金二百四十三條 八十二丁才

第三節 傳染病豫防規則ニ關スル罪 罰金二百四十九條 八十三丁才

第四節 危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物品製造ノ規則ニ關スル罪 罰金二百五十二條 八十四丁才

第五節 健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ藥劑ヲ販賣スル罪 罰金二百五十三條

第六節 私ニ醫業ヲ爲スル罪 罰金二百五十七條 八十五丁才

第七章 風俗ヲ害スル罪 罰金二百五十八條 八十六丁才

第八章 死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘スル罪 罰金二百六十四條 八十七丁才

第九章 商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル罪 罰金二百六十七條 八十八丁才

第十章 官吏瀆職ノ罪 計三節 八十九丁才

第一節 官吏公益ヲ害スル罪 罰金二百七十五條 九十丁才

第二節 官吏人民ニ對スル罪 罰金二百七十八條 九十二丁才

第三節 官吏財産ニ對スル罪 罰金二百八十九條 九十六丁才

第三篇 身體財産ニ對スル重罪 計二章 卷下

第一章 身體ニ對スル罪 計十三節 卷下

第一節 謀殺故殺ノ罪 罰金二百九十九條 卷下

第二節 殴打創傷ノ罪 罰金二百九十九條 卷下

第三節 身體ニ對スル罪 罰金二百九十九條 卷下

第三節 殺傷ニ關スル有愆及ヒ不諭罪	第三百九十六條	五丁ウ
第四節 過失殺傷ノ罪	第三百九十七條	八丁ウ
第五節 自殺ニ關スル罪	第三百九十八條	九丁才
第六節 擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪	第三百九十九條	十丁才
第七節 脅迫ノ罪	第四百	十一丁才
第八節 墮胎ノ罪	第四百一	十二丁才
第九節 幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪	第四百二	十三丁ウ
第十節 幼者ヲ畧取誘拐スル罪	第四百三	十四丁ウ
第十一節 猥褻及淫重婚ノ罪	第四百四	十六丁才
第十二節 誣告及ヒ誹毀ノ罪	第四百五	十九丁才
第十三節 祖父母父母ニ對スル罪	第四百六	廿一丁ウ
第三章 財産ニ對スル罪	計十節	廿二丁ウ
第一節 竊盜ノ罪	第四百七	廿三丁才
第二節 強盜ノ罪	第四百八	廿五丁ウ

第三節 遺失物埋藏物ニ關スル罪	第四百九	廿七丁才
第四節 家資分散ニ關スル罪	第五百	廿七丁ウ
第五節 詐欺取財ノ罪及ヒ受寄財物ニ關スル罪	第五百一	三十一丁才
第六節 贓物ニ關スル罪	第五百二	三十一丁ウ
第七節 放火失火ノ罪	第五百三	三十二丁ウ
第八節 決水ノ罪	第五百四	三十三丁ウ
第九節 船舶ヲ覆没スル罪	第五百五	三十四丁ウ
第十節 家屋物品ヲ毀壞シ及ヒ動植物ヲ害スル罪	第五百六	三十四丁ウ
第四篇 違警罪	計五章	自三十七至四十八丁
第一章 主刑執行	第五百七	一丁才
第二章 監視	第五百八	五丁才
第三章 假出獄及ヒ特別監視	第五百九	八丁ウ
第四章 刑事裁判費用	第六十	十丁ウ

附録

大日本刑法註釋大成卷之十一
第五章 賠償處分自第五十三條至第六十三條

十一丁ウ

附録

第一 刑法下法律規則中罰例ト對比

十五丁才

太政官第七十二号御布告

第二 新旧律對比

自十六丁至十八丁

太政官第八十二号御布告

大日本刑法註釋大成目錄終

大坂 伊藤聰泉堂印刷

參看

大日本刑法註釋大成卷之上

西備 戸田十畝 編

第一篇 總則

註釋 此ノ總則ハ惡人ヲ罪スル丁ヲ取扱フベキ總テノ定則ニテ第二篇以下ノ刑ヲ行フニ付キ標準トナルモノナレバ之レヲ刑法ノ指子ナリト云フベシ夫レ此ノ刑法ヲ定メヨル、ヤ德義性法ノ上ニ基ツキタルモノニシテ刑法ノ如キ比ニ非ズ華士族平民ノ素ヨリ其ノ類ヲ別トバシテ同一ノ刑罰ヲ施ス誠ニ宜ベナリト云フベシ

第一章 法例

法例ト云フハ此ノ刑法ノ原則ヲ示シ其ノ運用ノ界限ヲ示スモノニシテ所謂刑法ノ體格ナリ

第一條 凡法律ニ於テ罰ス可キ罪別テ三種ト爲ス

刑名ノ綱領ト其ノ順序トヲ述ブルタメ之レヲ三種ニ別チタリ尚ホ三種ノ中ニテ

大日本刑法註釋大成

第一章

法例

刑名ヲ示スモノハ後条ニ詳ナリ

一重罪

第七条ノ綱領ナリ

二輕罪

第八条ノ綱領ナリ

三違警罪

第九条ノ綱領ナリ

第二条 法律ニ正条ナキ者ハ何等ノ所爲ト虽臣之レヲ罰スルコトヲ得ズ

旧律ニテハ正条ナキモノハ他ヲ援引シタリ或ハ不應爲ニ問フ如キコトアレ此ノ刑法ニテハ德義ニ背キ社會ノ公益ヲ害スベキコト何人ニ限ラズ爲スコトアル凡刑法中ニ正シキ箇条ナキモノナレバ決シテ罰スルコトナク不問ニ措クヲ云フモノナリ抑モ法律ナルモノハ脱漏ニアルベキモノニ非ズ完全無欺ノモノナルハ論ヲ俟タザルモノニシテ文明ノ國ニ於テハ法律ニ正条ナキモノハ罪セザルコト以テ通法トヒリ若シ夫レ正条ナキ惡戾ヲナスモノアリ其ノ惡戾ハ罰セズンバアル可

第一篇

カラズ正条ナキヲ以テ罪ヲ免ガルコトハアル可カラザルベケレ凡如何セン正条ナキ罪事ニ臨テ定ムル如キニ至テハ時勢ニ由リ寛苛ノ當ヲ失シ寧口律ナキニ如カザルニ至ル此故ニ其ノ是非ヲ比較セバ本条ヲ以テ害ノ少ナキモノトナスベシ

第三条 法律ハ頒布以前ニ係ル犯罪ニ及ボスコトヲ得ズ

若シ所犯頒布以前ニ在テ未タ判決ヲ經ザル者ハ新旧ノ法ヲ比照シ輕ニ從テ處断ス

此ノ刑法ヲ全國ニ布告セラレシ日ヲ限リ其ノ以前ニ犯セシ罪ハ此ノ刑法ニテ問ハズ旧律ニ拠ルモノトス然レ凡布告以前ニ犯セシ罪ニシテ未タ判決ニナラザル分ハ此ノ刑法ト旧律ト比ベ照シテ就レニテモ輕キ方ヲ罰スルナリ

第四条 此刑法ハ陸海軍ニ關スル法律ヲ以テ論ズヘキモノニ適用スルコトヲ得ズ

假令ヘ此ノ刑法ニ明文アルモノタリトモ軍人軍屬ヲ罰スベキ海陸軍ノ刑律其ノ他軍事ニ關シテ發布セラレタル成規等ニ明文アルモノニシテ軍人軍屬ヲ罪スルニハ決シテ此刑法ヲ用ユベカラズ

第五条 此刑法ニ正条ナクシテ他ノ法律規則ニ刑名アル者ハ各其法律規則ニ從フ

此ノ刑法ノ外ニ特ニ頒布セラレタル法律規則即チ出版條例新聞紙條例集會條例
海關條例海關條例郵便條例銀行條例其ノ他賣渡地券坑法株式取引所
米商會所烟草租稅証券印紙訴訟用罰紙諸車賣樂諸公債証書鐵道電信種裁判所
呼出牛馬銃砲酒稅種痘船舶規則等ノ如キ明文アルモノハ其ノ法律規則ニヨリ罰
スベシサレモ其ノ法律規則ニ明文アルモノナリモ此ノ刑法ニ正余アレバ刑法ニ
因テ罰スルハ論ヲ俟タザル處ナリ

若シ他ノ法律規則ニ於テ別ニ總則ヲ掲ゲザル者ハ此ノ刑法ノ總則ニ從フ

假令バ他ノ法律規則ニ於テ別ニ數罪俱發スルモ併セ科スルノ法アラバ此ノ刑法
ノ總則ニ數罪俱發從重ノ法アルトモ他ノ法律規則ニ據リテ罰シ他ノ法律成規ニ
數罪俱發ノ余ナクバ此ノ刑法ノ總則ニヨリ罰スルノ類ナリ

第二章 刑例

刑例ト云フハ刑ノ名目ト其ノ所分ノ仕方トヲ示シタルモノナリ

第一節 刑名

刑名ト云ハ惡人ヲ罰スル所ノ刑ノ名目ナリ

第一篇

第六條 刑ハ主刑及ヒ附加刑ト爲ス

主刑ハ之ヲ宣告ス

主刑トハ重立チタル刑ニシテ第七條ヨリ第九條迄ノ罪ヲ云フ此罪ハ一々申渡シ
ヲナスモノナリ

附加刑ハ法律ニ於テ其宣告スル者ト宣告セザル者トヲ定ム

附加刑ト云フハ主刑ニ附キ加フル罪ニシテ第十條ノ如キモノヲ云フ此ノ刑ハ主
刑ノ如ク申渡ヲナスコトモアリ又タ別ニ申渡ヲナサズシテ主刑ニ附ケ加フルコト
アリ

第七條 左ニ記載シタル者ヲ以テ重罪ノ主刑ト爲ス

一 死刑

二 無期徒刑

三 有期徒刑

四 無期流刑

五 有期流刑

六重懲役

七輕懲役

八重禁獄

九輕禁獄

既ニ第一條ノ第一項ニ掲ゲタル重罪ノ主刑ハ即チ此ノ条ノ九項ナリ而メ其ノ第一ナル死刑ハ常事犯ト區別ナシト虽モ其ノ他ノ八項ハ各自ラ區別アルナリ徒刑ト懲役トハ常事犯ニ限り之レヲ用ヒ流刑ト禁獄トハ國事犯ニ限り之レヲ用フ其ノ故ハ國事犯ハ破廉恥トハ異ニシテ政体上ヨリ起ル罪ナレバ之レヲ賤シキ役ニ苦シマシムルニ忍ビザルヨリ特ク茲ニ之レガ區別ヲナシ二種ニセテレシモノナルベキカ尚ホ本条主刑ノ附帯ハ第二節ニ譲ル

第八條 左ニ記載シタルモノヲ以テ輕罪ノ主刑ト爲ス

一重禁錮

二輕禁錮

三罰金

第一篇

既ニ第一條ノ第二項ニ掲ゲタル輕罪ノ主刑ハ即チ此ノ条ノ三項ナリ而メ第一ハ常事犯ニ用ヒテ苦役ニ服セシメ輕禁錮ハ國事犯ニ用ヒテ苦役ニ遣ハザルナリ然リト虽モ常事犯ニシテ輕禁錮ニ處セラル、モノナキニ非ズ其ノ官吏ノ職務上ニ關スル罪、傳染病豫防規則ニ關スル罪、公選ノ投票ヲ偽造スル罪、身分ヲ濫稱スル罪等ノ如キモノ之レナリ古來我が邦ニテ禁錮ト稱スルモノハ其家ノ一室ニ閉居セシムルモノヲ云ヒタリシガ新刑法ニテハ之レト大ニ其ノ趣ヲ異ニシ別ニ禁錮場ナルモノヲ設ケ服役ノ法モ備リタリ之レ全ク新刑法ニテハ華士族平民ノ別ナク刑律ナキヨリシテノ致ス所ナル乎

罰金トハ刑ニ處スルノ代リニ金ヲ納メサセテ其ノ罪ヲ免ルスモノヲ云フナリ

第九條 左ニ記載シタル者ヲ以テ違警罪ノ主刑トナス

一拘留

二科料

既ニ第一條ノ第三項ニ掲ゲタル違警罪ノ主刑ハ即チ此ノ条ノ二項ナリ而メ此ノ違警罪ハ國事犯ト常事犯トノ區別アルナク總テノ罪ノ中ニテ最モ輕キモノナ

リ故ニ拘留ニハ定役ナク科料ハ罰金ノ輕キモノトス附加刑ノ如キモノモ違警罪ニハナケレ只ダ没収トテ附加刑ノ如キモノアリ

第十条 左ニ記載シタル者ヲ以テ附加刑ト爲ス

一 剝奪公權

二 停止公權

三 禁治產

四 監視

五 罰金

六 沒收

附加刑ノ一ハ既ニ註釈シタリ其ノ公權ナルモノハ人民一級ニ有スル所ノ權利ニシテ治產トハ已レノ財產ヲ取扱フヲ云ヒ監視トハ警官ガ受刑者ノ進退ニ注目スルヲ云フ而シテ剝奪公權禁治產ハ重罪ニ附加シ停止公權罰金ハ輕罪ニ附加シ監視ハ重輕ノ兩罪共ニ附加シ沒收ハ渾テノ主刑ニ附加ス

第十一条 刑ヲ執行シ及ヒ犯人ヲ檢束スル方法細目ハ別ニ規則ヲ以テ之ヲ定ム

主刑執行規則 假出獄監視賠償裁判費用ノ如キ刑法附則ニ載スル諸規則ヲ云フモノニシテ斯クノ如キハ道理上ヨリ成立スル此ノ刑法ト異ニシテ實地經驗ノ上ヨリ定メズンバアル可カラサルモノナル故斯クハ茲ニ省ブカレシモノナラン

第二節 主刑處分

第十二条 死刑ハ絞首ス但規則ニ定ムル所ノ官署ニ於テ之ヲ行フ

死刑ヲ論ズルモノ曰ク刑ハ身体ヲ惡マズシテ其ノ罪ヲ惡ム故ニ罪人ヲ長ク苦痛セシメズシテ速カニ鬼籍ニ入ラシムベシト或ハ斬ヲ以テ早ク死スト云ヒ或ハ絞ヲ以テ早ク死スト云フト虽凡就レテ是ナリトスル半只々其ノ斬ハ身首ヲ異ニシ絞ハ身体ニ疵ツクルトナクシテ自然ノ壽命ニ似タルヲ以テ見レバ絞ハ斬ヨリ聊カ寛ナルモノトセザルヲ得ズ

實檢官吏トハ刑法附則主刑執行ニアル如ク檢事書記典獄等ニシテ其ノ執行ハ囚獄場内ニ於テシ決シテ公衆ニ目撃セシメザルナリ公衆ニ目撃ナサシムルモ之レヲ以テ惡ヲ懲ラスニ足ラズ却テ之レニ剛レテ惡事ヲナスニ恐レザルニ至ルノ害

ヲ起スヲアレバナリ

第十三条 死刑ハ司法卿ノ命令アルニ非ザレバ之ヲ行フコトヲ得ズ

刑ノ中ニ人命ヲ絶ツノ大切ナルニ如クモノナシ他ノ刑ハ一度之レヲ誤ルモ改ムルコトヲ得ベケレモ死刑ハ一度之レヲ行フテ之レヲ改正スルコト能ハズ其ノ鄭重ヲ盡シテ司法卿ノ命ヲ俟ツモ誠ニ宜ベナラズヤ尚ホ其ノ執行ノ權ヲ司法卿ノ有ニ歸スルモ時ニ赦典ノ便ヲ得ルヲ以テナリ

第十四条 大祀令節國祭ノ日ハ死刑ヲ行フコトヲ禁ズ

死ハ憂ヒテ招クモノナリ故ニ大祀即チ元始祭神嘗祭新嘗祭大抜等ノ如キ令節即チ紀元節天長節等ノ如キ國祭即チ孝明天皇祭春季皇靈祭仁孝天皇祭神武天皇祭秋季皇靈祭後桃園天皇祭等ノ如キ慶祝スベキ日ニハ死刑ヲ禁ジタルナリ

第十五条 死刑ノ宣告ヲ受ケタル婦女懷胎ナル時ハ其執行ヲ停止シ分娩後一百日ヲ經ルニ非ザレバ刑ヲ行ハズ

刑ハ素ヨリ一人ニ止マルモノニシテ其ノ一人ヲ刑スルタメニ無辜ノ者ニマデ及ボスハキハ性理ニ乖背スルガ故ニ懷胎ノ婦女ニ死刑ノ宣告ヲナスモ其ノ子ヲ生

第一篇

ミシ後子其ノ子ノ血氣充足ノ時マデ即チ一百日迄デハ無辜ナル子ノタメニ刑ヲ行ハザルナリ

第十六条 死刑ノ遺骸ハ親屬故舊請フ者アレハ之ヲ下付ス但式ヲ用ヒテ葬ルコトヲ許サズ

死刑ノ遺骸ハ官ニ於テ之ヲ控ムルハ論ヲ俟タザル所ナリト虽モ罪人ノ親屬又ハ朋友ノモノガ官ニ請フアレバ引渡ストアルベシ去レドモ禮式ヲ用ヒテ埋葬スルコトハ許サズ只カ陰ニ之レヲ控ムルヲ得セシムル而已

第十七条 徒刑ハ無期有期ヲ分タズ島地ニ發遣シ定役ニ服ス

有期徒刑ハ十二年以上十五年以下ト爲ス

死刑ニ次デ最重ノ刑ハ徒刑ナリトス無期徒刑ハ十五ケ年ヲ經テ假出獄ヲ得レドモ内地ニ歸ルコトヲ得ズ終身島地ニアルモノトス無期有期イツレニテモ島地ニ送ラレ嶺山開墾等ノ如キ至難ノ役ニ服セシム

第十八条 徒刑ノ婦女ハ島地ニ發遣セス内地ノ懲役場ニ於テ定役ニ服ス

婦女ハ身体筋骨ノ弱キモノナレバ男子ト同ジク島地ニ送リテ至難ノ役ニ服セシ

ムルコ能ハズ故ニ婦女ハ有期無期ヲ問ハズ婦女相應ノ苦役ヲ内地ノ懲役場ニテ
ナサシムルモノトス

第十九条 徒刑ノ囚六十歳ニ滿ル者ハ通常ノ定役ヲ免シ其體力相当ノ定役ニ服ス
人六十歳以上ニ至レバ亦タ至難ノ役ニ服スルコト能ハザルモノトシ並々ノ役ヲ免
シテ別ニ老人ノタメニ定メタル規則ノ役ヲ島地ニ於テナサシム判決ノ日既ニ六
十歳ニ滿ルモノモ亦タコノ条ニ據ルナリ

第二十条 流刑ハ無期有期ヲ分タズ島地ノ獄ニ幽閉シ定役ニ服セズ
有期流刑ハ十二年以上十五年以下ト爲ス

既ニ註スル如ク流刑ハ國吏犯ノタメニ特ニ設ケタルモノニシテ只々常事犯ノ徒
刑ト比スレバ彼レハ服役シ此レハ獄舎ニ繋ギテ幽閉セシムルノ差アルノ三故ニ
流刑ハ婦女老者ト虽凡常人ト別ニ法ヲ設クルコトナシ

第二十一条 無期流刑ノ囚五年ヲ經過スレバ行政ノ處分ヲ以テ幽閉ヲ免シ島地ニ於
テ地ヲ限り居住セシムルコトヲ得
有期流刑ノ囚三年ヲ經過スル者亦同ジ

第一篇

流刑ハ徒刑ノ如ク假出獄ナルモノハナケレバ内務卿ト司法卿ト示談ノ上囚人ノ
行狀正シク悔悟ノ念ノ顯ハル、モノハ島内ニテ一ノ家屋ヲ立テ、内地ニアル家
屬ヲ招キ同居セシメ加之何分ノ治産ノ禁ヲ解クコトアルナリ然リト虽凡之レハ此
レ法律ニテ制定セシモノニ非ザレバ其ノ囚ノ行狀如何ニヨリテハ五年又ハ三年
ニ至ルモ幽囚ヲ免ジテ自由ヲ與ヘザルコトアリ

第二十二條 懲役ハ内地ノ懲役場ニ入レ定役ニ服ス但六十歳ニ滿ル者ハ第十九条ノ
例ニ從フ

重懲役ハ九年以上十一年以下輕懲役ハ六年以上八年以下ト爲ス

常事犯ニテ徒刑ニ次グベキ重罪ヲ懲役ナリトス懲役ハ懲役場ニ入レテ罪人ヲ遣
ヒ懲スノ謂ヒニテ其ノ懲役人ハ佗ノ官廳又ハ人民ヨリ請使セント請フモノアル

片ハ外役ニ服セシムルコトアリ且又懲役ニ輕重ノ別アレ凡場所ノ異ナルニ非ズ役
ニ積服アルニ非ズ只々年限ノ長短アルノミナリ

老者ヲ服役セシムルノ法ハ第十九条ノ註釈ノ如キモノニテ尚未定役ノ方法細目
ハ監獄類ニ詳カナリ

引条第十
九条 徒
刑ノ囚六
十歳ニ滿
ル者ハ通
常ノ定役
ヲ免シ其
體力相当
ノ定役ニ
服ス

第二十三條 禁獄ハ内地ノ獄ニ入レ定役ニ服セス

重禁獄ハ九年以上十一年以下輕禁獄ハ六年以上八年以下ト爲ス

國事犯ニテ流刑ニ次グベキ重罪ヲ禁獄ナリトス禁獄ハ獄舎ニ幽閉シ苦役ニ服セシメズ正ニ常事犯ノ懲役ト相對シ輕重ノ年限等モ異ナルヲナシトス其ノ苦役ニ服セシメズト虽モ囚人ノ精願ニヨリテハ手業ヲナスコトヲ許サル、コトモアルベシ

第二十四條 禁錮ハ禁錮場ニ留置シ重禁錮ハ定役ニ服シ輕禁錮ハ定役ニ服セス

禁錮ハ重輕ヲ分タズ十一日以上五年以下ト爲シ仍モ各本條ニ於テ其長短ヲ區別シ其ノ國事犯ニ用ユルモノヲ輕禁錮トナシテ定役ニ服セシムルコトナク其ノ常事犯ニ用ユルモノヲ重禁錮トナシテ定役ニ服セシム斯ク定役ニ服セシムルト服セシメザルトノ別ハアレモ年限ニ至リテハ敢テ長短アルコトナシ只モ所犯ノ輕重ニヨリテ之レハ輕重ヲナスノ三尚未此刑法ノ第二篇以下ニ詳カニ其ノ何月以上何年以下タルコトヲ載セタリ

輕禁錮ハ國事犯ニ用ユルモノタリト虽モ第八條ノ註釈ニ下入如キモノ即チ輕禁錮ニ處セラレ、アリ

第一篇

禁錮ハ特ニ設ケタル場處ニ犯人ヲ拘置スルモノニテ決シテ外ニ出サズルモノナレバ板令ヘ重禁錮ノ囚ト虽モ本囚ヨリ精願スルニ非ズンバ外役セシムルコトナキモノナリ

第二十五條 定役ニ服スル囚人ノ工錢ハ監獄ノ規則ニ從ヒ其幾分ヲ獄舎ノ費用ニ供シ其幾分ヲ囚人ニ給與ス但現役百日以内ハ給與ノ限ニ非ズ

囚人ハ服役中ニ製作シ又ハカ役シテ得タル所ノ工錢ハ監獄則ニ定ムル所ニヨリテ其ノ何分カヲ獄舎ノ入費ニ宛テ其ノ何分カヲ囚人ニ與ヘテ出獄ノ日ニ到活路ヲ得ルノ便ニ供セシム之レ囚人ヲシテ蓄積ノ念即チ勉強力ヲ起サシメカメテ不長ノ念ヲ去ラシメ尚モ囚人ハ出獄スルモ就業ノ資本ナケレバ活路ニ迷ヒ活路ニ迷フキハ之レヨリシテ不良ノ念ヲ起シ再ヒ罪科ニ墜イルノ恐レアルヲ以テノ故ナラン

第二十六條 罰金ハ二円以上十元以下ト爲シ仍モ各本條ニ於テ其多寡ヲ區別ス

罰金ハ單ニ輕罪ノ主刑トナスモノト之レヲ附加ノ刑トナスモノトナリ罰金ノ高ハ第二篇以下ノ本條ニ一々記載スレドモ其ノ二円以下ノ罰金ナキ所以ノモノハ

一円九十五錢以下ハ科料ニ處スルノ目アレバナリ大低此ノ刑法ニテハ五百円以上ノ罰金ハナキ如クナレモ幾倍ノ罰金ヲ科スル等ノ法アルヲ以テ之レヲ見レバ又々其ノ極度ハ量リ定メ難キモノナリ

第二十七條 罰金ハ裁判確定ノ日ヨリ一月内ニ納完セシム若シ限内納完セザル者ハ一

円ヲ一日ニ折算シ之ヲ輕禁錮ニ換フ其一円ニ滿サル者ト虽モ仍ホ一日ニ計算ス

裁判確定ノ日ト云フハ裁判申渡ノ後チ上訴期限ヲ三ノ日又々上訴セシキハ上訴

ノ判決濟ミヲ以テ裁判確定ノ日トナスベキナリ○罰金ヲ納ムルヲ能ハズトテ身

代限ヲナスニ非ズ裁判確定ノ後一ヶ月ニ納メザルモノハ檢事ヨリ裁判官ニ禁

錮ニ換ヘンコトヲ求ム於是乎裁判官ハ何々ニヨリ罰金ヲ宣告シタレモ之レヲ納メ

ザルニ付キ檢事ノ求メニヨリ何日ノ禁錮ニ処スルト云フコトヲ命ス假令ハ罰金百

円ナラバ輕禁錮百日ニ換ヘ五円五十錢ナラバ六日ニ換フルガ如ク五十錢ハ半日

ニ當レモ一円ニ滿タザル者ト虽モ仍ホ一円ニ計算ストアルニヨリ之レヲ一日ト

ナス又々罰金ニ換フル禁錮ハ刑ノ期內ニ停止公權假出獄等ニ關涉セザルモノト

第一篇

罰金ヲ禁錮ニ換フル者ハ更ニ裁判ヲ用ヒテ檢察官ノ求ニ因リ裁判官之ヲ命ス但禁錮ノ期限ハ二年ニ過グルコトヲ得ス

一本文ハ前ノ項ノ註釈ニ詳カナリ禁錮ノ期限ヲ二年ニ限ルモノハ罰金ノ極度ニ限

リコトモ故若シモ罰金數万円ヲ科セラレトセバ却テ重罪ヨリモ重キニ至ルノ恐レ

アルヲ以テナルベシ故ニ二年ノ禁錮ヲ命ジテ仍ホ罰金ノ殘リアルモ其ノ殘リ金

ハ自ラ消滅スルモノナリ

若シ禁錮限内罰金ヲ納メタル時ハ其經過シタル日數ヲ扣除シテ禁錮ヲ免入親屬其

他ノ者代テ罰金ヲ納メタル時亦同シ

罰金ハ本犯ニ申渡シタリト虽モ親屬又ハ其ノ他如何ノ人タリトモ代納スルコトヲ

許スナリ本犯ガ自ラ納メズトモ本犯ガ自ラ納メタルト同ジク視做サル全休罰金

ハ人ノ身体ヲ不自由ニナスベキ刑ニ非ザルニハ既ニ禁錮ニ換ヘシ後ト虽モ仍ホ

罰金ヲ納ムルハ(本犯ニテモ他人ニテモ)日數ヲ扣除シテ出獄セシム假令ハ百日

ノ輕禁錮ニ換ヘタルモノ二十日ヲ經過シテ八十円ヲ納ムレバ直チニ本犯ノ禁錮

ヲ免シ五十円ヲ納ムルハ更ニ三十日ヲ經過シテ禁錮ヲ免ズルノ類ナリ

第二十八條 拘留ハ拘留所ニ留置シ定役ニ服セ入其刑期ハ一日以上十日以下ト爲シ
仍ホ各本条ニ於テ其長短ヲ區別ス

拘留ハ違警罪ノ一ニシテ拘留所ニ留メ置キテ罪人ノ自由ヲ抑フルノ三ニシテ別
ニ役ニ服セシムルモノニハ非ザルナリ其ノ刑期ノ如キハ此ノ刑法ノ第四篇ナリ
違警罪ノ本条ニ掲載ス而メ違警罪ニ於テハ拘留ニ處スルモ科料ニ處スルモ裁判
官ノ見込ニシテ輕罪ノ禁錮罰金下ハ大ニ異ナルモノナリ

第二十九條 科料ハ五錢以上一円九十五錢以下ト爲シ仍ホ各本条ニ於テ其多寡ヲ區
別ス

科料モ違警罪ノ一ニシテ罰金ノ輕キモノナリ其金額ノ區別ノ如キハ此ノ刑法第
四篇ノ違警罪ノ本条ニ掲載ス

第三十條 科料ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ納完セシム若シ限内納完セサル者ハ第
二十七條ノ例ニ照シ之ヲ拘留ニ換フ
此ノ条ハ第二十七條ノ註釋ト齊シク只ダ一ヶ月以内ト十日以内トノ差アルノ三
既二一円ニ滿タザル者ト虽尼仍ホ一日ニ計算ストアルヲ以テ見レバ五錢ノ罰金

罰金ハ裁
判確定ノ
日ヨリ一
月内ニ納
完セシム
若シ限内

第一篇

モ亦タ納ムルノ能ハズンバ一日ノ禁錮ニ換フルナリ其ノ他ハ渾テ第二十七條ノ
註釋ニ讓リテ重出セズ

第三節 附加刑處分

主刑ニ附ケ加ヘタル刑ヲ何ヲ斯クシ何レハ斯クスルト云フ其ノ仕方ヲ示シタルモ
之ナリ

第三十一條 剝奪公權ハ左ノ權ヲ剝奪ス

凡ソ人間ガ現ノ世ニアリテ快樂ヲナスコトヲ得ルモノハ権理アルヲ以テナリ既ニ
権理ヲ失フニ至ル實ニ不自由人民ノ三實ニ卑屈人民ノ三殊ニ政權ヲ失スルヲ以
テ甚タシトス今此ノ条ニ載スル諸權ハ政事榮譽利益信用等皆ナ性質ヲ異ニスト
虽尼之レヲ公權ト總稱シテ日本人民ガ有スル所ノ固有ノ権理ナリトス既ニ此ノ
權ヲ剝ガレ復權セラレ、一ナクンバ將來此ノ權ヲ得ルノ能ハザル不自由ノ淵ニ
沈ムニ至ルベシ謹マザル可ケンヤ

一國民ノ特權

日本人民ニ限り有スル権理ニシテ其ノ制限タルヤ全ク國憲上ニ定ムル所ニカ、

納完セザ
ル者ハ一
円ヲ一日
ニ折算シ
之ヲ輕禁
錮ニ換フ
共一円ニ
滿サル者
ト虽尼仍
ホ一日ニ
計算ス
罰金ヲ禁
錮ニ換フ
凡者ハ更
ニ裁判ヲ
用ヒテ檢
察官ノ未
ニ因リ裁
判官之ヲ
命ズ但禁
錮ノ期限
ハ二年ニ
過ルコト
得ズ
若シ禁錮
限内罰金
ヲ納メタ
ル時ハ其

輕過シタ
八日數ヲ
扣除シテ
禁錮ヲ免
ス親屬其
他ノ者代
テ罰金ヲ
納メタル
時亦同シ

ル者ナレバ國憲ノ制定ナキ今日ニアリテ之レヲ茲ニ註釈スルニ府縣會ノ議員ノ撰舉權被撰舉郡區戶長ノ撰舉權被撰舉代人トナルノ權等ノ如キモノヲ云フナルベシ

二官吏ト爲ルノ權

裁判申渡ノ時ニ未ダ官吏ノ職ヲ免ゼラレサル者アレバ行政官ノ免職ノ辭令ヲ俟タズシテ直チニ其ノ職ヲ失フモノトス茲ニ官吏ト云フハ本官ハ勿論ニメ御用掛御雇等モ此ノ内ニ合シアルモノナリト云フベシ

三勲章年金位記貴号恩給ヲ有スル權

此ノ項モ前項ト同ジク裁判申渡ト齊シク賞牌勲狀ハ官ニ返納セシメ年金ハ其日ヨリ給セズ位記ハ官ニ返納セシメ貴号ハ華士族ヲ除テシ恩給ハ軍人恩給令ニヨリ扶助金ヲ給セザルモノトス

四外國ノ勲章ヲ佩用スルノ權

外國政府ヨリ受ケタル賞牌ヲ佩ルノ權ハ日本國內ニテハ剥ガレタルモ之レヲ日本政府ニ取上ラレザルナリ故ニ犯人ニシテ此ノ勲章ヲ所有スルハ勿論外國ニ

第一篇

五兵籍ニ入ルノ權

予之ヲ佩用スルハ日本法律ノ尤ムベキモノニ非ザルナリ
兵ニ入ルハ國民タルモノノ義務ニシテ國民タルモノノ榮譽ヲ享リ故ニ此ノ權ヲ剥ガレハ大ニ榮譽ヲ害セラレタリト云フベシ然ルニ我が邦ニテハ却テ兵ニ入ルヲ忌ミ避クルハ現今一般ノ情態ナルニ似タルモ此ノ項アルモノハ道理ニ照シテノコナレバ早晚カ此ノ權ヲ剥ガレハ榮譽ヲ害セラレタルモノナリトスルニ至ルノ日モアルベシ

六裁判所ニ於テ証人トナルノ權但單ニ事實ヲ陳述スルハ此限ニ在ラス

重罪ノ刑ニ處セラレタルモノガ他人ノタメ刑事事ノ証人トナルモ裁判官ハ之レヲ信ジテ裁判スルニ足ラズ然リト虽他ニ証人トナル可キ者ナキ場合ニ於テハ其ノ事實ヲ陳述ナサシムルノ三ノ証人タラシムルハ許スコトアリ其ノ許否ハ裁判官ノ權内ニアリトス

七後見人ト爲ルノ權但親屬ノ許可ヲ得テ子孫ノタメニスルハ此限ニ非ズ

後見人ハ必ズ實情正直ニシテ人ノ信用ヲ措クベキ者タルコトハ論ヲ俟タザルモノ

ニシテ此ノ正直ナルモノハ幼者愚者癡疾者及び禁治産ノ附加刑ヲ受ケタル者ノ後見ヲナスモノナリ故ニ斯クノ如キ重任アルモノニ重罪ヲ犯シタル不信用者ヲ撰アベキモノニ非ズ仮令親屬タリ尼後見人タルハ能ハザル可シ去レ已レノ子孫ノタメナラバ親屬ガ集會シテ差關ヘナシトセバ子ヲ愛スル情アルヨリ不正ノ事ハナサザルモノトシテ重罪ヲ犯シタル親ト虽尼後見人タラシムルアリ

八分散者ノ管財人ト爲リ又ハ會社及び共有財産ヲ管理スルノ權
 財産ヲ管理スルモノハ正直廉潔ノモノニシテ決シテ重罪ヲ犯シタルモノ等ニ任ズベキモノニ非ズ故ニ身代限りヲナセシ者ノ財産ヲ預リ条例ヲ遵奉シテ設立シタル會社ノ管理人トナリ人民共有ノ財産等ヲ管理セシムルハ重罪ヲ犯セシモノニハ許サザルトス

九學校長及ヒ教師學監ト爲ルノ權
 學校ハ幼者ヲシテ徳義ヲ正シ人材ヲ輩出セシムルノ場所ホレバ之レヲ導クモノト之レヲ監督スル者トハ重罪ヲ犯ス程ノ者ヲ用ユ可カラザルハ勿論ニシテ重罪ヲ犯シタルモノヲ用ユベカラザルモ亦々然リ

第一篇

第三十二條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス終身公權ヲ剝奪ス

主刑ハ有期タリトモ附加刑ハ無期剝奪公權ナリ之ノ附加刑(即チ前条ノ公權ハ別ニ申渡ナク尼自ラ主刑ニ加ハルナリ)然ルニ無期ノ刑ニ至リテハ別ニ附加ノ刑ヲナスモ益ナキニ似タリト虽尼無期ノ刑ト虽尼假出獄アリ幽閉ヲ免ゼラレハアリ期滿免除アリ特赦免罪アリ斯クノ如ク主刑ハ寬免セラル、モ附加刑ハ依然トシテ存スルモノナレバ又々以テ無益トモナスベカラズ又々有期重罪ニ剝奪公權ヲ附加スルハ嚴ニ似タレ尼滿期五年ノ後ニシテ復スルヲ得ベキ別法即チ第六十三条ノアルアレハ強テ嚴刑トモ言フ可カラザルナリ

第三十三條 禁錮ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒズ現任ノ官職ヲ失ヒ及ヒ其刑期間公權ヲ行フヲ停止ス

第三十一条ニ載セタル諸公權ヲ刑期間即チ有期ニ停止セラレハハ禁錮ナリ依テ刑期滿ツレバ總テ公權ハ初ニ復スルモノトス○官吏ニシテ禁錮ノ刑ニ處セラレハ時ハ裁判申渡ト共ニ其ノ官職ハ失フモノニテ刑期滿ツルニ此ノ官職ハ初ニハ復サザルナリ

第三十四條 輕罪ノ刑ニ於テ監視ニ付シタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒズ監視ノ期間間公權ヲ行フヲ停止ス

主刑ヲ免シテ止ダ監視ニ付シタル者亦同シ

前条ハ禁錮ノ間公權ヲ停止セラレタルモノナレバ本条ハ主刑ノ期限が満チタル

後チト主刑ヲ免サレタル者ニ附ケ加フル公權ノ停止ヲ云フモノナリ

輕罪即チ禁錮罰金ノ刑ニ處セラレ監視ニ付スベキ申渡ヲ受ケタル片ハ別ニ公權

ヲ停止スルノ申渡ナク片惣テノ公權ハ監視中ハ停止セラレ、モノ也(前項註釈)

本条ニ於テ監視ト停止公權ト併ビ行ハルモノニシテ後項フノ如キハ重罪輕罪

ヲ免ゼラレタル後ニ尚ホ監視ニ附セラレ、モノハ其ノ監視中モ公權ヲ停止セラ

ル、ト云フニテ若シ行政上ノ處分ニテ監視ヲ免ズ片ハ停止公權モ之レト共

ニ消滅スルモノナリ

第三十五條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒズ其主刑ノ終ルマテ自ら

財産ヲ治ムルヲ禁ス

第一篇

ノ最モナルモノトス故ニ財産ノ上ニ就テモ嚴ニ其ノ自由ヲ禁ズベシ去レバコソ

重罪ノ宣告ヲ受ケタルモノハ別ニ申渡ナクトモ刑ノ期限内ニハ仮令已レノ所有

財産タリ片已レノ自由ニ之レヲ讓與賣買典入結納其ノ他納金等ヲ已レ自ラ爲ス

トテ禁ズ若シ之レヲ爲サントセバ後見人ヲ撰ンデ其ノ者ニナサシムルトス

第三十六條 流刑ノ囚幽閉ヲ免セラレタル時ハ行政ノ處分ヲ以テ治産ノ禁ノ幾分ヲ

免スルヲ得

有期無期トモ流刑ノ囚ハ其ノ品行ニヨリテハ幽閉ヲ免セラレ身体ノ自由ヲ得テ

島地ニ住ハシムルヲアリ斯ク其ノ身ニ自由ヲ與ヘシ上ハ財産ナクテハ乍ラ生活

上ニ差支フルベケレバ内地ト通商ヲナシ船舶ヲ製造シ土地ヲ買収スル等ヲ除ク

ノ外何々ノ商業ヲナサシムルトカ金ノ貸借ヲナサシムルカ斯ク所有財産ノ何分

カヲ行政官ノ處分シテ解禁スルヲアリ去レドモ内地ニ後見人ヲ立テ置クハ何モ

妨ゲナキモノナリトス

第三十七條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒズ各本刑ノ短期三分ノ一

ニ等シキ時間監視ニ付ス

本条ノ重罪トハ有期ノ重罪ニシテ有期重罪ニ處セラレタル者ハ別ニ申渡ヲナサ
 ズトモ主刑ノ期限満チタル日ヨリ監視ニ付セラレ、ナリ楮テ短期トハ板令ハ有
 期流徒刑ハ十二年以上十五年以下小アルニヨリ十五年ガ最長期ニシテ十二年ガ
 最短期ナリ故ニ此ハ十二年ヲ三ニ除シ四年ヲ得ル之レゾ最短期ノ三分ノ一ナリ
 而シテ重懲役重禁獄ハ九年ノ三分一即チ三年トナリ輕懲役輕禁獄ハ六年ノ三分一
 即チ二年トナル此ノ間ハ監視ニ付セラレ、ナリ

**第三十八條 輕罪ノ刑ニ附加スル監視ハ之ヲ宣告ス但各本條ニ記載スルノ外監視ニ
 付スルコトヲ得ズ**

輕罪ノ本条中ニ監視ニ付スルノ明文ナキ輕罪ノ刑ハ決シテ監視ニ付スルコトヲ得
 ザルモノトス明文アルモノトモ、トモニモ、トモ主刑宣告ノ時ニ何年又ハ何月間監視ニ付スル
 旨ヲ併セテ申渡スベシ之レ輕罪ハ重罪トハ異ナリテ罪ニヨリテハ監視ニ付セザ
 ルモノアルヲ以テナリ

**第三十九條 死刑及ビ無期刑ノ期滿免除ヲ得タル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒズ五年間監視
 ニ付ス**

死刑ハ三十年無期流刑ハ二十五年間刑ノ執行ヲ追レタル者ハ法律ノ上ニテ期
 滿免除トテ罪ノ問フベキモノナシトスレ、トモ別ニ申渡ナクシテ五ヶ年間ハ附則監
 視ニ定メタル監視即チ毎月二度ハ所轄警察官吏ニ參照シ又ハ何時ニテモ家ノ内
 子搜索セラレ又ハ居所ヲ轉シ旅行等ヲナスニモ時々警察署ニ届出デ認可ヲ得ズ
 ンハ轉居旅行等ヲナス可カラザル等ニテ若シ此ノ規則ニ背ク如キコトアルハ此
 ノ刑法第百五十五條ニ載セタル罪ニ處セラレ、ナリ

**第四十條 監視ノ期限ハ主刑ノ終リタル日ヨリ起算ス主刑ノ期滿免除ヲ得タル時ハ
 其捕ニ就キタル日ヨリ起算ス**

主刑ノ期限内ハ監視ニ付スルコトナキハ論ヲ俟タザルモノニシテ即チ期限満チテ
 出獄スルノ日ヨリ監視ノ年數ヲ起算スルナリ、トモ板令ハ輕懲役六年ノ刑ニ處セラレ
 三年半ニシテ假出獄ヲ得テ特別ノ監視ニ付セラレ更ニ二年半ヲ経レバ六年ノ主
 刑ハ全ク終リタルモノトス其ノ終リタル日ヨリ二年間ノ監視ニ付セラレ、トモ如ク
 起算スルナリ

若シ主刑ヲ免シテ止タ監視ニ付シタル時ハ其裁判確定ノ日ヨリ起算ス

追々本条ニ於テ本刑ヲ免シ何月以上何年以下ノ監視ニ付スト云フ明文アリ則チ之レ主刑ヲ免シテ止々監視ニ付スルモノナリトス斯クノ如キ時ニハ監視ヲ付スルノ申渡アル故其確定ノ日ヨリ計算スル又々論ヲ俟タザルナリ

第四十一條 監視ニ付セラレタル者其情狀ニ因リ行政ノ處分ヲ以テ假ニ監視ヲ免スルヲ得

主刑ニハ假出獄アリ剥奪公権ニハ復権アル如ク監視ニモ亦々假ニ監視ヲ免スルアリ如何也バ行政官が情狀ヲ酌量スルヤ全シ犯人ノ行狀ノ正シキヨリ監視セザルトモ可ナリトスルノ認メアルモノヲ云フナラン一ト度ヒ監視ヲ免スルモ此ノ免ハ假免ナレバ犯人ノ行狀が再び不正トナラバ裁判所ヲ經ズシテ再び行政官ニテ監視ニ付スルモノナリ

第四十二條 附加ノ罰金ハ之ヲ宣告ス若シ一月内ニ納完セザル時ハ第二十七條ノ例ニ照シ輕禁錮ニ換ヘ主刑滿限ノ後之ヲ執行ス

此ノ刑法ニ於テ附加ス可キ罰金ハ重罪ニハ絶テ之レナクシテ輕罪即チ禁錮ノ刑ニノ三附加スルナリ追々本条ニ何月以上何年以下ノ重禁錮輕禁錮ニ處シ何月以

引条セズ其ノ故ハ第二十七條ノ引条ハ既ニ第三十條ニ引条シ餘リ重復ス

第一篇

下ノ罰金ヲ附加ストアリ故ニ主刑ヲ宣告スル并ニ附加刑ナルコノ罰金モ亦々併セテ申渡スナリ若シ一ヶ月以内ニ罰金ヲ納完スルト能ハズンバ主刑ノ期限ノ終リタル日ヨリ計算シテ禁錮ニ換ラルトス主刑一ヶ月以上ナル時ニ一ヶ月ヲ過クルモ主刑ノ期限迄ニ罰金ヲ納完スル時ハ一ヶ月以内ニ納完セシモノト同ジク附加ノ輕禁錮ハ免ルヌ可キトス

第四十三條 左ニ記載シタル物件ハ宣告シテ官ニ沒收ス但法律規則ニ於テ別ニ沒收ノ例ヲ定メタル者ハ各其法律規則ニ從フ

古ノ處刑ノ如ク罪人ノ家財田畑等ヲ官ニ沒收スルトハ大ニ異ニシテ只左ノ三項カケ即チ理ニ於テ罪人ノ所有スベカラザル物件ヲノ三沒收スルモノナリ之レヲ沒收スルニハ裁判官ニテ其ノ申渡ヲナストス

別ニ沒收ノ例ヲ定メタル者トハ假令バ出版條例ニ背ク者ハ刺版印本及ヒ賣得金ヲ沒收スル如キ新聞紙條例第一條ニ背ク者ハ印刷器ヲ沒收スル如キ賣藥規則ニ背ク者ハ製藥及ヒ賣得金ヲ沒收スル如キ其ノ他斯クノ如キ種々ノ規則條例上ニ沒收ノ明文アルモノヲ云フナリ

大日本刑法典 第五卷 第三十條

一 法律ニ於テ禁制シタル物件

世間ノ安全ヲ妨グル物品即チ風俗ヲ紊ルベキ圖書ヤ書籍ヤ贗造變造ノ貨幣ヤ偽造變造ノ諸証文諸印紙諸印章度量衡ヤ鴉片烟ヤ賭博ノ器具ヤ其ノ他斯クノ如キ法律ノ上ニテ人民ノ所有スルヲ禁ジタル物ハ誰レ人ヲ問ハズ其ノ物件ヲ官ニ没収スルナリ

二 犯罪ノ用ニ供シタル物件

惡事ヲナスニ付キ使用シタル物件ハ勿論官ニ没収スベキモノニテ仮令ヘ犯罪ヲ遂ゲサルトモ没収ナスベキナリ強盜ヲナスニ付テノ兇器ノ如キ人ヲ殺傷スルニ付キ用ヒタル刃刃ノ如キ之レ等ハ皆ナ没収セラレベキナリ

三 犯罪ニ因テ得タル物件

即チ惡ヲ働キテ得タル利益品ナリ賭博ノ金銀質造ノ貨幣ヲ以テ得ル凡正貨幣又ハ物品所有主ノ分明ナラザル盜人ノ得タル物品又ハ貨幣賄賂等ノ如キモノヲ云フナリ

第四十四條 法律ニ於テ禁制シタル物件ハ何人ノ所有ヲ問ハズ之ヲ没収ス犯罪ノ用

第一篇

ニ供シ及ビ犯罪ニ因テ得タル物件ハ犯人ノ所有ニ係リ又ハ所有主キ時ノ外之ヲ没収スルヲ得ス

本條ハ前條ノ三項ヲ没収スベキ仕方ヲ示シタルモノニシテ法律ニシテ禁ジタル物件ハ其ノ物件ガ世上ニアル限りハ必ズ社會ヲ害スベキモノナレバ何人ノ所有タルヲ問ハズ之ヲ没収シテ破壊スルトス罪ヲ犯スタメノ物件ト罪ヲ犯シテ得タル物件トハ其ノ犯人ノ私有ナルカ又ハ所有主ノ分明ナラザルカハ没収スベケレドモ犯人ニアラズシテ他ニ所有主ノアルモノハ官ニ没収スベカラズ之レヲ其ノ所有主ニ還付スベキナリ

第四節 徵償處分

惡人が罪ヲ犯シテ其レカタメ費用ヲ要スルヲアラバ已レカ求メシ費用ナル工ヘ之レヲ已レガ償フハ素ヨリ論ヲ俟タズ又々人ニ損害ヲカケタレバ其ノ損害式ケテ弁出スルモ亦々至当ナリ此ノ節ハ刑事裁判所ノ費用ヤ民事損害ノ賠償ナドヲ犯人ヨリ取り立テ之ヲ損害者ニ還給スル等ノ仕方ヲ示シタルモノ也

第四十五條 刑事ノ裁判費用ハ其全部又ハ幾分ヲ犯人ニ科ス但其費用ノ額ハ別ニ規

則ヲ以テ之ヲ定ム

証人ノ呼出料鑑定人ノ給料等ノ如キモノヲ刑事ノ裁判費用ト云フ前ニ註釋セシ如ク之レヲ犯人ニ全ク拂ハシムルハ理ノ当然ナレトモ斯クスルハ費用嵩ミテ犯人ノ出スニ堪ヘザルヲ思ヒ其ノ何分ヲ原告人即チ檢察官又ハ被告人ニ出サシメ其ノ何分ヲ被告人即チ犯人ニ出サシムルコトモテラレタリ若シ犯人ニシテ之レヲ拂フコト能ハズンバ身代限ノ處分ヲナシ相續人ニ迄デモ及ボスナリ尚ホ細目方法ノ如キハ別ニ附則ノアルアリ

第四十六條 犯人刑ニ處セラレ又ハ放免セラル、ト虽モ被害者ノ請求ニ對シ贓物ノ還給損害ノ賠償ヲ免カル、トテ得ス

犯人ノ盜三得タル贓物ヤ損害ヲ爲サシメタル被害者ノ損失等ハ共ニ被害者ヨリ裁判所ヘ其ノ還給賠償申出ルハ犯人ニ於テ既ニ典入賣買消費シタル後ナラバ犯人又ハ其ノ相續人ヨリ之レヲ還給賠償セシメ現存スル物件ハ仮令被害者ノ請求ヲキモ直チニ還付ス○本条ハ犯人ガ處刑セラレ、ト三ナラズ期滿免除不論罪赦典等ニテ刑ヲ免ル、モノヲモ包含シテ示シタルモノナリ

第一篇

第四十七條 數人共犯ニ係ル裁判費用贓物ノ還給損害ノ賠償ハ共犯人ヲシテ之ヲ連帶セシム

連帶ト分任トハ大ニ異ナルモノナリ分任ハ假令ハ百圓ノ還給賠償ナルハ五人ニテ之レヲ弁ズレバ一人或十圓ニ當リ其ノ二十圓ヲ出セシモノハ義務ヲ免ル、トテ得レトモ連帶ハ決シテ然ラズ假令ハ百圓ノ中ヲ一人ニテ九十圓出スモ決シテ其ノ一人モ義務ヲ免ル、ト能ハザルモノナリ一人ニテ全金ヲ出サバ即チ五人共ニ義務ヲ免、トテ得ル、トス其ノ餘前条ト同ジ

第四十八條 裁判費用贓物ノ還給損害ノ賠償ハ被害者ノ請求ニ因リ刑事裁判所ニ於テ之ヲ審判スル、トテ得若シ贓物犯人ノ手ニアル時ハ請求ナシト虽モ直チニ之ヲ被害者ニ還付ス

裁判ノ費用ヤ贓物ノ還給ヤ損害ノ賠償ヤナドハ民事ノ裁判所ニナスベシト虽モ被害者ガ直チニ刑事裁判所ヘ請求スルナラバ審判ニ掛ル、トテ得ルナリ之レ人民ノ便宜ヲ計リタルタメナリ全体贓物ノ還給ヤ損害ノ賠償ヤハ此ノ刑法並ニ治罪法ニ於テハ被害者ノ請求ナクンバ還付セザルノ法ナル故ニ本条ノ若シ以下ノ明

文ニアルモノト知ルベシ

第五節 刑期計算

主刑附加刑ヲ問ハズ渾テ有期ノ刑ヲ計算シテ其ノ長短ヲ定ムルモノヲ裁ス

第四十九條 刑期ヲ計算スルニ一日ト稱スルハ二十四時間ヲ以テシ一月ト稱スルハ三十日ヲ以テシ一年ト稱スルハ曆ニ從フ

斯ク法律上ニテ日月ヲ定ムルモノハ同シク一月ノ禁錮ヲ申渡スモ一月ニメ二十八日(或ハ二十九日)アリ三十日アリ三十一日アリ故ニ其ノ月一日ニ申渡スモノト十五日ニ申渡スモノトハ正ニ半ヶ月ノ差ヲ生ズル故之レヲ平均シテ三十日ヲ一月トナシタルナリ一日ヲ二十四時間トスルモ之レト同理ニシテ單ニ一日ト云ハ二時間ニテ其ノ日ヲ終ルトモアリ二十四時間ニテ其ノ日ヲ終ルトモアレバ其ノ不平等ヲ除クタメナリ然ルモ一年ハ曆法ニ從テ誤ハ閏年アルモノ年間ニシテ僅カニ一日ノ違ヒナレバ刑ヲ受ル者ニ左述テ不平等ヲ與フルモノナラザルヨリセシテ以テナルベシ

受刑ノ初日ハ時間ヲ論セズ一日ニ算入シ放免ノ日ハ刑期ニ算入セズ

第一篇

假令バ十五日ノ禁錮ヲ六日ニ申渡サレタルハ六日ヲ以テ初日トナシ二十日ヲ以テ刑期トナシ(即チ満期ナリ)二十一日ヲ以テ放免ト日トナスガ如シ

第五十條 刑ハ裁判確定シタル後ニ非ザレバ之ヲ執行スルトヲ得ズ

既ニ前ニモ註釈シタル如ク初審ノ裁判申渡テ以テ裁判ノ確定トナス可カラズ其ノ故ハ上訴スルヲ許サルヲ以テナリ去レバ上訴期限ヲ過ギテ上訴セザル時カ上訴シテ其ノ判決ヲ申渡サル、ノ時カヲ以テ裁判確定トナス此ノ確定後ニ非ザレバ如何ノ申渡アルモ執行スベカラザルナリ

第五十一條 刑期ハ刑名宣告ノ日ヨリ起算ス若シ上訴ヲ爲シタル者ハ左ノ例ニ從フ

犯人既ニ申渡サレテ上訴ヲナサルモノハ則チ其ノ申渡ノ日ヲ刑期ノ初日トナシテ計算スルナリ之レ重罪ト禁錮トハ上訴期限中拘留セラレ、者アルニ因テナリ罰金拘留料料等ハ重罪ト禁錮ト異ナリテ上訴期限中拘留セラレ、トナケレバ重罪ト禁錮トノ如ク上訴期限中ヲ刑期ニ加フルノ利益ヲ犯人が受クル能ハサルナリ

一犯人自ら上訴シテ其上訴正當ナル時ハ前判宣告ノ日ヨリ起算ス若シ其上訴不當

ナル時ハ後判宣告ノ日ヨリ起算ス

斯ク刑期ノ初日ヲ違ヘタルモノハ原裁判ニ誤リアラバ初日ヲ改ムルハ日數ヲ増シテ犯人ニ大ナル迷惑ヲ與フルニ由ルモノナリ之レニ反ノ原裁判ニ誤リナクバ初日ヲ改ムルモ差闕ヘナキモノハ犯人ノ見込違ヒナルニ由ルベシ之レ後判申渡ノ日ヲ初日トナス所以ナリ

二檢察官ノ上訴ニ係ル者ハ其上訴正當ナルト否トヲ分タズ前判宣告ノ日ヨリ起算ス

檢察官ヨリ上告スルモノハ犯人ノ物好きニ非ザル故犯人ハ此ノ裁判ニ服シ居ルカラハ檢察官ノタメニ無益ノ日數ヲ増シテ犯人ニ不自由ヲ與フベキモノニ非ズ因テ斯クハ一概ニナシテ初日ヲ違ヘザルモノナルベシ

三上訴中保釋ヲ得又ハ責付セラレタル者ハ其日數ヲ刑期ニ算入スルヲ得ス
但レ自ラ上訴スルト檢察官ノ上訴スルトニ拘ハラズ治罪法ニ照シテ保釋ヲ許シ犯人ヲ出獄セシムルカ又ハ親戚朋友等ニ責付スル時ハ刑期ハ刑名宣告ノ日ヨリ起算スト虽モ保釈又ハ責付中ノ出獄セシ日數ハ除キ刑期ノ中ニ加ヘザル也

第五十二條 刑期限内逃走シ再び捕ニ就キタル者ハ其逃走ノ日數ヲ除キ前後受刑ノ日ヲ計算ス

囚人其ノ刑ノ期限ヲ終ラザル内ニ逃走スルハ素ヨリ逃走ノ罪アルベキナリ此ノ罪ハ水刑ニ重リタルモノニテ二刑ヲ受クルモノト知レ備テ囚人ハ刑期中謹テ守ルハ至當ナルニ已レノ惡心ヨリ一時假リニ自由ノ身トナレバ其ノ逃走即チ假ニ自由ノ身トナリシ間ノ日數ハ刑期ニ加ヘズシテ刑期ノ中ヲ絶チ逃走ノ前後ヲ計算ス假令バ八ヶ月ノ輕禁錮ナル刑ニ處セラレタルモノ五ヶ月ヲ經テ二十五日間逃走シテ捕縛セラレ依テ此ノ刑法ノ本条ニ因リ三ヶ月ノ重禁錮ヲ申渡サレ然ル時ハ取り敢ヘズ逃走ノ刑ナル重禁錮ヲ實決シ其ノ満期ノ翌日ヨリ更ニ初ノ主刑ノ残りナル三月間ヲ禁錮シ逃走ノ二十五日間ハ刑期ニ算入セズシテ之レヲ捨ツルナリ

監視ニ附セラレタルモノ、逃走セシキモ亦主刑ノ犯人が逃走セシ時ト同ジキナリ

第六節 假出獄

囚人ヲ勤勵セシメテ悔悟ノ念ヲ起サシメンタメ行政上ノ所分ヲ以テ品行方正ナル囚人ヲ假リニ獄ヨリ出シ其ノ身ノ自由ヲ得セシムルモノヲ云フナリ

第五十三條 重罪輕罪ノ刑ニ處ヒラレタル者獄則ヲ遵守シ檢改ノ狀アル時ハ其刑期四分ノ三ヲ經過スルノ後行政ノ處分ヲ以テ假ニ出獄ヲ許スルヲ得

罰金ヲ禁錮ニ換ヘタルモノ、外有期ノ重罪輕罪ニ處ヒラレタルモノ獄ニアリテ謹守悔悟ノ狀ヲ顯ハスモノハ刑期ノ四分ノ三即チ禁錮四年ノ刑ニ處ヒラレタルモノハ三年目ニ至リ行政ノ所分ニヨリ內務卿ヨリ証標ヲ與ヘテ假リニ出獄ヲナサシム斯クスルト虽尺假出獄中ニ不正ノ事アラバ殘刑期更ニ之レヲ禁錮シテ殘リノ一年ヲ終ヘシム

無期徒刑ノ囚ハ十五年ヲ經過スルノ後亦同ジ

無期ノ徒刑人モ十五ケ年ヲ經タル後チハ前項ノ如ク假出獄ヲ免スルナリ

流刑ノ囚ハ第二十一條ニ照シ幽閉ヲ免スルノ外假出獄ノ例ヲ用ヒス

流刑ニハ假出獄ノ法ハナケレ尺徒刑ト同ジク品行方正ノモノハ幽閉ヲ免ジテ島地ニ住マシムルナリ其ノ假出獄ノ法ナキモノハ假出獄ノ刑期ニ先チテ自由ヲ

引例第二十一條 無期徒刑ノ囚五年ヲ經過スレバ行政

得ルシムルモノナリ

第一篇

第五十四條 徒刑ノ囚ハ假出獄ヲ許サル、ト虽尺仍ホ島地ニ居住セシム

徒刑ノ囚ハ假出獄ヲ免サル、ト虽尺内地ニ歸ルナリ得ベカラズ無期徒刑ハ期滿免除又ハ赦典ヲ得スンバ其ノ終身内地ニ歸ルナリ得可カラズ有期徒刑ハ特別ノ監視ノ解クルヲ待チテ内地ニ歸リ内地ニテ更ニ監視ニ付ス

第五十五條 假出獄ヲ許サレタル者ハ行政ノ處分ヲ以テ治産ノ禁ノ幾分ヲ免スルナリ得但本刑期限内特別ニ定メタル監視ニ付ス

流刑ニテ幽閉ヲ免サル、キハ治産ノ禁ノ何分ヲ解カル、如ク徒刑ニテモ假出獄ヲ許サレタルモノハ之レト同ジ法ニテ治産ノ禁ノ幾分ヲ免ゼラル、ナリ得ルナリ又タ囚人ノ財フル処ノ工錢ハ假出獄ヲ許スノ時之レチ囚人ニ給與スルモノトス既ニ假出獄トナル上ハ身体ノ自由ハ得ルト虽尺水刑内ニアルモノナル故特別ノ監視ニ付スルナリ特別監視中ハ特別監視規則ニヨリ一週間ニ一度其ノ地ノ警察所ニ至リ或ハ其管轄地方ヨリ出ルナリ許サズ或ハ夜中擅ニ徘徊シ又ハ飲酒遊興ノ場所ニ到ルナリ許サズ等ノ如キナリ束縛ス

ノ處分ヲ以テ幽閉ヲ免シ島地ニ於テ居住セシムルナリ有期流刑ノ囚三年ヲ經過スルモノ亦同ジ

第五十六條 假出獄中更ニ重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ直チニ出獄ヲ停止シ出獄中ノ日數ハ刑數ハ刑期ニ算入スルコトヲ得ス

假出獄中ニ不_フ良心ヲ起シテ罪ヲ犯シタレバ直チニ本刑ニ返シ出獄中ノ日數ハ刑期ニ加ヘザルモノトス

第五十七條 刑期限内更ニ重罪輕罪ヲ犯シタルモノハ假出獄ヲ許サズ

獄則ヲ謹守セズ正直方正ナラズ悔悟ノ念ナキモノハ假出獄ヲ免サザルハ勿論ニシテ而カモ其刑期中ニ更ニ重輕ノ罪ヲ犯スモノハ素ヨリ刑期四分ノ三ヲ經過シタル后子假出獄ヲ許スコト能フ可カラズ

第七節 期滿免除

期滿免除ト云フハ期限ガ濟ミテ罪ヲ免ル、ト云フコトニテ或ルハ之レヲ人身保護ナリト云ヒ或ル學者ハ之レヲ非難シテ曰ク罪人ガ惡事ヲ懲ス可キ網ヲ逃レ即チ逃レ中ハ國ノ法ヲ破リタルモノニテ國法ヲ踏ミ付ケタル年限ガ長キニヨリ罪ヲ免ストハ性理ニ於テアル可カラザルモノナリト註釈者ニ於テハ孰レガ是ナルヲ知ラズト虽_レ暫ク此ノ刑法ノ余項ヲ踏ミテ註釈スルノ三

第五十八條 刑ノ執行ヲ道レタル者法律ニ定メタル期限ヲ經過スルニ因テ期滿免除ヲ得

此ノ期滿免除ハ治罪法ヤ民法ナドノ期滿免除トハ異ナルナリ此ノ条ハ裁判確定ノ後子囚人ヲ送ル途中ヨリ逃ルカ又ハ刑ノ期限内ニ役場又ハ獄中ヨリ逃レタルモノ、取扱ヒテ云フタルモノニテ全ク人目ヲ忍ブコト長キトキハ社會ニ其ノ罪人ノ罪惡ヲ消滅セシメ其ノ身モ長ク人目ヲ忍ビテ謹慎悔悟スルノ意ニ基キタルモノニシテ理ヲ以テ見ルトキハ全ク之レニ反スルガ當然如ケレハ實ヲ以テスルトキハ決シテ然ルモノニ非ズ必ズ此ノ余項ノ免除ヲ以テ當テ得タルモノト云ベシ

第五十九條 主刑ハ左ノ年限ニ從テ期滿免除ヲ得

重立チタル刑ハ輕ト重トニヨリテ年限ヲ別チテ其ノ伸縮ヲ示ス重キハ人目ヲ忍ブ長キヲ要シ輕キハ人目ヲ忍ブ短クテ可ナルノ意ナリ左ノ註釋ヲ見ヨ

一死刑ハ三十年

二十歳ニ滿タザレバ死刑ノ宣告ヲナスコトナシ故ニ人間ノ生命ハ五十年ト云フテ二十歳ニ三十年ヲ加フレバ五十年トナル故死刑期ニ當ルノ年ヲ取タルモノナラン

二無期徒刑ハ二十五年

三有期徒刑ハ二十年

四重懲役重禁獄ハ十五年

五輕懲役輕禁獄ハ十年

六禁錮罰金ハ七年

罰金ノ如キハ額ノ限リノナキモノナル故禁錮ト孰レカ重キカ分ツトニ難カルベシ

シサレバコソ禁錮ノ最長期即チ五年ハ二年ヲ加ヘタルモノヲ禁錮罰金ニ併行スルトハナシタルトナラン

七拘留料ハ一年

重罪輕罪ニ比較スル片ハ懲罰ノ一年ハ餘リ長キニ過ルガ如シト虽在之レテ僅カニ二十日程ニナスハ却テ期滿免除ノ主旨ニ當テ、穩當ナリト云フ可カラズ只タ

其ノ違警罪ノ再犯ハ一年ノ後チハ再犯加重ヲ以テ論ゼザルニ冷當セシモノナルカ

第六十條 剝奪公權停止公權及ヒ監視ハ期滿免除ヲ得ズ

第一篇

附加刑ナル此ノ三項ハ刑ヲ受ケシ者ノ身ニ附クモノ故免除スルノ類ニアラズ之

レ剝奪公權停止公權ハ主刑ヲ免ゼラレ又タ滿ツルモ仍未存スルナレバナリ又タ

監視ノ如キハ犯人ノ再犯ヲ防グモノナル故之レヲ免セザルモ亦タ宜ベナリト云フベシ

附加ノ罰金ハ主刑ト共ニ期滿免除ヲ得

一主刑ノ罰金ハ七年ノ期滿免除ナレト禁錮ニ附加スル罰金ハ受刑者ノ身ニ附クベ

キモノニ非ザル故公權ノ剝奪停止又ハ監視等ノ類ニ非ズ禁錮ノ期滿免除ニ從フ

テ免除セラレバナリ

沒收ハ五年ヲ經テ期滿免除ヲ得但禁制物ハ期滿免除ノ限ニ在ラス

第四十三條中ノ沒收物件ハ五年ヲ經テ期滿免除セラレレト只タ其ノ禁制物品ニ

限リ免除セラレザルモノハ之レ則チ人身ニ害ヲ加フ可キモノナレバナリ

第六十一條 期滿免除ハ刑ノ執行ヲ適レタル日ヨリ起算ス若シ捕ニ就キ再ヒ逃走シ

タル時ハ其ノ逃走ノ日ヨリ起算シ關廳裁判ニ係ル時ハ其宣告ノ日ヨリ起算ス

刑ノ宣告後ニ逃走シタルモノハ裁判確定ノ日ヨリ期滿免除ヲ起算シ而シテ刑期間

ハ其ノ宣告ノ日ヨリ起算ス

第六十二條 刑ノ執行中ニ逃走シタルモノハ其ノ宣告ノ日ヨリ起算ス

第六十三條 刑ノ執行中ニ逃走シタルモノハ其ノ宣告ノ日ヨリ起算ス

ニ逃走シタルモノハ其ノ逃走シタル日ヨリ起算スベシ若シ逃走シタルモノヲ捕ヘテ再ビ逃走シタル日ハ初メノ逃走日數ハ算入セズシテ再ビ逃走セシ日ヨリ起算スルナリ

關庸裁判トハ本犯ヲ參スルトモ其ノ不參ノマヽニテ申渡ヲナス時ヲ云フ此ノ時ハ其ノ申渡ノ日ヨリ起算ス

第六十二條 刑ノ執行ヲ追レタル者ニ對シ逮捕ヲ命ジタル時ハ最終ノ令狀ヲ出シタル日ヨリ期滿免除ヲ起算ス

令狀トハ拘列狀拘留狀收監狀等ヲ云フ此ノ令狀ヲ出サレモノハ即チ逃走ノ日ヨリ起算スベケレモ若シ逃走セシ犯人世上ニ於テ尚ホ罪惡ヲナストスレバ何度モ令狀ヲ出スベシ此ノ時ニハ何度令狀ノ出ルモノ其ノ最終ノ令狀ノ出デシ日ヨリ起算スルトス板令ハ死刑ノ囚逃レテ裁判所ヨリ數度ノ令狀出デ最終ノ令狀ハ十年ニシテ出デシモノトセバコノ十年ヨリ起算シテ三十年ノ期滿免除ヲ計フベシ令狀ノ重ハ治罪法ニ註釋ス就テ見ルベシ

第八節 復権

監視ニハ假免アリ主刑ニハ假出獄アル如ク剥奪公權停止公權ニモ復権ナルモノアリナリ然ルニ假免ノ如キ假出獄ノ如キハ囚人ノ品行ニヨリテハ再ビ主刑又ハ監視ニ處セラレルモ復権ノ如キハ然ラズト度ニ復権ヲ復セラレバ再ビ之レヲ取消サルヽトナキモノナリ治罪法ニ註釋スベシ就テ見ル可シ

第六十三條 公權ヲ剥奪セラレタル者ハ主刑ノ終リタル日ヨリ五年ヲ經過スルノ後其情狀ニ因リ將來ノ公權ヲ復スルコトヲ得

終身公權ヲ剥奪セラレタルモノ主刑ノ滿期又ハ赦典等ニテ罪ヲ免レシ日ヨリ五ヶ年ヲ經ルノ後本人ヨリ復権ノ願書ヲ檢事ニ差出ス片ハ本人ノ品行如何ヲ探偵シ改良シタルモノナリトセバ檢事ヨリ司法卿ヲ經テ之レヲ上奏シ勅裁ヲ得テ公權ヲ將來ニ回復スルコトヲ得ベシ復権トハ華士族ナラバ復権スレバ華士族トナルコトヲ得勲章年金等モ亦々復スルコトヲ得ルノ類ヲ云フナリ

主刑ノ期滿免除ヲ得タル者ハ監視ニ付シタル日ヨリ五年ヲ經過スルノ後亦同ジ 監視ハ期滿免除ヲ得ガレノ法ナリ故ニ主刑ノ期滿免除ヲ得ルモ監視ニ付セラレタルモノハ監視ニ附セラレタル日ヨリ起算シテ五ヶ年ヲ經ガレバ公權ヲ復スル

能ハザルモノトス

第六十四條 大赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ直チニ復権ヲ得特赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ赦狀中記載スルニ非ザレハ復権ヲ得ズ

大赦トハ朝廷ニテ至大ナル祝車アルカ又ハ祭典等ノアル中陛下ノ御思召ヲ以テ一般ノ罪人ヲ赦サルモノニテコノ大赦ニ遭フキハ罪モ刑モ共ニ消滅シテ一点ノ汚漬ヲ殘サズ真ノ自由人民トナルモノナリ特赦トハ之レト異ニシテ或ハ罪人ニ限り陛下ノ御思召ヲ以テ其ノ罪ヲ免ズルモノニテ一点ノ汚漬ヲ殘サズトマデニハ至ラザルナリ故ニ赦狀中ニ復権ノ事ヲ載セアレハ無論權ハ直チニ復スレハ赦狀中ニ復権ノ事ナクンバ前条ノ法ニ因ラズンバアラザルナリ

赦ニ因テ復権ヲ得タル者ハ自ラ監視ヲ免シタル者トス

大赦又ハ特赦ニ因テ公權ヲ復シタル者ハ別ニ申渡シナクトモ無論監視ハ免ガレトトス特赦ノ赦狀中ニ復権ノ明文ナクンバ監視ヲ免レザルハ素ヨリナリ

第六十五條 復権ハ勅裁ニ非ザレバ之ヲ得可カラズ

人間ノ権理ホド大切ナルモノハアラザルナリ其ノ權ヲ復スルニ鄭重ヲ加フル亦

第一篇

々宜ベナリ故ニ復権ハ行政ノ處分ヤ裁判ノ權ナドニテ得ベキモノニ非ズ陛下ノ勅裁ニアラザレバ決シテ復権セザルモノトス

第三章 加減例

加減例トハ刑ヲ増スト減スト云フトニテ罪人ノ品行如何ニヨリテ或ハ減シ或ハ加フルトアルヲ示ス

第六十六條 法律ニ於テ刑ヲ加重減輕ス可キ時ハ後ノ數條ニ記載シタル例ニ照シテ加減ス但加ヘテ死刑ニ入ルヲ得ズ

大赦特赦等ハ別ノモノナレハ此ノ法律ノ上ニテ定メタル左ノ諸条ニ就テ罪ヲ加ヘ又ハ減ズルナリ去レハ無期ノ徒流刑ヲ加ヘテ死刑ニ至ラシムルトハナラズ之レ死刑ハ刑中ノ極度ニシテ大切ナル人命ヲ絶ツモノナレバナリ

第六十七條 重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加減ス

一死刑

二無期徒刑

三有期徒刑

四重懲役

五輕懲役

死刑ヲ第一項ニ載スルモノハ死刑ノ減等アル故ナリ無期徒刑ヲシテ死刑ニ加等スベカラズ但シ此ノ条ハ常更犯ノ加減ヲ示シタルモノナリ

第六十八條

國事ニ關スル重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加減ス

一死刑

二無期流刑

三有期流刑

四重禁獄

五輕禁獄

此ノ条ハ國事ニ關スル刑ノ加減ヲ示シタルモノニシテ其例ハ前条ト異ナルナシ
第六十九條 輕懲役ニ該ル者減輕ス可キ時ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處スルヲ以テ一等ト爲ス
常事犯ノ重罪ヲ減ジテ輕罪トナスノ例ニテ輕懲役ヨリ一等ヲ減ズレバ二年以上

第一篇

五年以下重禁錮トナリ二等ヲ減ズレバ一年六月以上三年九月以下三等ヲ減ズレバ一年以上二年六月以下四等ヲ減ズレバ六月以上一年三月以下トナルノ例也
輕禁獄ニ該ル者減輕スベキ時ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處スルヲ以テ一等トナス

國事犯ノ重罪ヲ減ジテ輕罪トナスノ例モ亦前項ノ註釋ト同ジケレバ略ス

第七十條

禁錮罰金ニ該ル者減輕ス可キ時ハ各本条ニ記載シタル刑期金額ノ四分ノ

一ヲ減スルヲ以テ一等トナシ其加重ス可キ時ハ亦四分ノ一ヲ加フルヲ以テ一等トナス

輕罪ハ禁錮ト罰金トノ三ニ止ルモノナレバ禁錮ヲ減ジテ罰金トナシ罰金ヲ加ヘテ禁錮トナス如キトアル可カラズ禁錮ハ禁錮中ニテ罰金ハ罰金中ニテ加減ス可キモノトス而シテ加減スルノ法ハ長期短期多數寡數ニ各々加減スルナリ禁錮ニ該ルモノ一等ヲ減ズレバ三月以上三年以下トナリ二等ヲ減ズレバ二月以上二年以下ト爲三等ヲ減ズレバ一月以上一年以下トナリ四等ヲ減ズレバ禁錮ハ尽クルニヨリ拘留ノ刑トナルナリ罰金ハ極度ノ制限ナケレバ豫メ之レヲ算スベカラザル

トトス又タ之レヲ加フル法ハ一等ヲ加フレハ五月以上五年以下トナリ二等ヲ加
 フレバ六月以上六年以下トナリ三等ヲ加フレハ七月以上七年以下トナルノ類也
輕罪ノ刑ハ加ヘテ重罪ニ入ルヲ得ス但禁錮ハ加ヘテ七年ニ至ルヲ得
 禁錮ハ五年ヲ以テ長期トナス六年以上ハ重罪トナルガ如シト虽輕罪ハ重罪ト
 ナス可カラザルモノナレバ重罪ノ刑名ヲ用ヒズシテ只禁錮ノ長期ヲ二年間延
 ストトス

**第七十一條 禁錮ヲ減盡シテ時ハ拘留ニ處シ罰金ヲ減尽シタル時ハ科料ニ處ス禁錮
 罰金ヲ減ジテ其短期十日以下寡數二円九十五錢以下ニ及ブ時ハ亦拘留科料ニ處ス
 ルヲ得**

禁錮罰金ハ四分ノ一ヲ一等トシテ加減スルモノナル故禁錮ヲ四等減ズレバ則チ
 禁錮ハ減尽ス去レレ減盡シテ無罪トナスベキニモ至ラザレハ之レチ一日以
 上十日以下ノ拘留ニ處セズンバ能ハズ又寡數ハ減尽スル片ハ之ヲ五錢以上一
 円九十五錢以下ノ科料ニ處セズンバ能ハズ
 禁錮罰金ヲ減ジテ拘留科料ニ跨リタル時假令バ禁錮ノ長期ハ十一日以上ナレレ

第一篇

短期ハ十日以下ノ拘留トナリ罰金ノ多數ハ二円以上ナレレ寡數ハ一円九十五錢
 以下ノ科料トナルノ類ニテ其ノ之レチ輕罪ニ處スルカ違警罪ニ處スルカニ至リ
 テハ裁判官ノ意見ニアルベシ○此ノ罰金ハ主刑ニシテ附加ノ刑ニハ非ザルナリ
**第七十二條 拘留科料ニ減ル者加減ス可キ時ハ禁錮罰金ノ例ニ照シ其四分一ヲ加減
 スルヲ以テ一等トナス**

此ノ条ノ註釋ハ前条ニ詳ナリ

**違警罪ノ刑ハ加ヘテ輕罪ニ入ルヲ得ス但拘留加ヘテ三日至ルヲ得減ジテ一日
 以下ニ降スヲ得ス科料ハ加ヘテ二円四十錢ニ至ルヲ得減シテ五錢以下ニ降ス
 ヲ得ズ**

輕罪ヲ加ヘテ重罪トナス可カラザル如ク違警罪モ亦々加ヘテ輕罪トハナス可カ
 ラザルナリ故ニ拘留ハ十日ガ長期ナレドモ十二日マデ加フルヲ得ルハ別ニ禁
 錮ノ刑名ヲ用ヒズシテ只拘留ノ長期ヲ延べルヲ知レ科料モ亦々之レト同ジ
 ク一円九十五錢ガ長期ナレレ二円四十錢マデ加フルヲ得ルハ別ニ罰金ノ刑名
 ヲ用ヒズ只科料ノ長期ヲ延べルヲ知レ

違警罪モ刑期金額ノ四分ノ一ヲ加減スルナリ故ニ拘留ノ長期十日ニ一等ヲ加フ
レバ十二日半トナレベケレモ十二日以上ノ如例ナキ故半日ヲ除棄シテ十二日ト
ナス科料ノ多數一円九十五錢ニ一等ヲ加フレバ二円四十三錢七厘五毛トナル二円
四十錢以上ノ如例ナキ故三錢七厘五毛ヲ除棄シテ二円四十錢トナス減等ハ減ジ
テ科料五錢以下トナリ拘留一日以下トナル丁アレモ二科料ハ五錢拘留ハ一日
ニ止ルナリ

**第七十三條 禁錮拘留ヲ加減スルニ因テ其期限ニ零數ヲ生ジ一日ニ滿ザル時ハ之ヲ
除棄ス**

禁錮拘留ハ刑期ノ四分ノ一ヲ以テ一等ヲ加減スレバ計算上必不何時間ト云フ零
數ヲ生ズベシ刑ハ一日ニ滿タザル時科セザルノ法ナレバ此ノ零數ハ除棄シ
テ計算ノ中ハ加ヘザルナリ

**第七十四條 附加ノ罰金ハ主刑ニ從テ加減シ其金額ノ四分ノ一ヲ加減スルヲ以テ一
等ト爲ス若シ減尽シタル時ハ止タ主刑ヲ科ス**

附加ノ罰金ハ已レ自ラ單ニ加減スル可キモノニ非ズ主刑ノ加減ニ從フテ共ニ加

第一篇

減スルモノナリ若シ減等ノタメニ減尽スルニ至ラバ之レヲ棄テ、只ダ其ノ主刑
ノ三科トス假令バ禁錮十一日以上一月以下罰金二円以上五円以下ヲ附加スベキ
時四等ヲ減ズレバ禁錮ハ拘留ニ處シ罰金ハ減尽シテ科スルモノナキニ至ル全体
附加ノ罰金ハ違警罪ニマデ降ルノ法ナケレバ罰金ノ附加スルモノ二円以下ニ減
等セバ消滅スルモノト心得ベシ

第四章 不論罪及減輕

不論罪トハ法律ノ上ニテ明文ノ刑ハアルモ事故アリテ罪ヲ論ゼサルヲ云フ減輕
トハ情狀ヲ酌三本条ニ至當スル刑ニ處セズシテ其ノ刑ヨリ減ズルモノヲ云フ如
何ノ場合ニ於テ罪ヲ論ゼザル乎犯人ガ其ノ心ニ惡意アルニ非ズ全ク責任又ハ負
擔ノ上ヨリ止マ得ズ犯シタルモノニシテ彼ノ故意トカ自由トカ知覺トカ云フ如
キ惡意ヨリ成リシモノトハ正ニ反對セシモノナリ

第一節 不論罪及有恕減輕

前註ニ釋シタルバ再說セズ只ダ其ノ宥恕トハ推量シテ免ズト云フ釋合ナリ

第七十五條 抗拒ス可カラザル強制ニ遇ヒ其意ニ非ザルノ所爲ハ其罪ヲ論セズ

仮令バ甲治ナリ惡人アリ乙吉ニ強迫シ乙吉ノ腕ヲ取テ丙兵衛ヲ歐打セシム其實
乙吉ハ腕力ナキモノニシテ其ノ性質ハ良善ナルモノナリ只ダ其ノ腕力強キ甲治
ノタメニ強ヒラレテ之レニ拒ムト能ハズ止ムヲ得ス丙兵衛ヲ歐打セシモノナレ
バ心ノ惡キニ非ズ已レノ心ヨリ發シタルモノト非ズ人ノタメニ人ヲ歐打セシモ
ノナレバ其ノ問フ可キ罪ナシトス

**天災又ハ意外ノ變ニ因リ避ク可カラザル危難ニ遇ヒ自己若クハ親屬ノ身體ヲ防衛
スルニ出タル所爲亦同シ**

洪水火災破船等ノ變ニ遭ヒ已レノ身又ハ親屬ノ身ヲ救ハンタノ他人ヲ殺ス如キ
トアルモ罪ヲ問ハザルノ意味ニテ假令バ茲ニ一ノ船ニ數人乗組ミテ航海セシニ
暴風激濤ニ遇ヒテ破船セリ然ルニ人身ヲ助ク可キ板ハ僅カニ二枚ノ三依テ已レ
ハ已レノ父ト面人ニテ他人ノ得シト欲スルニ枚ノ板ヲ父子ニテ奪ヒ取り失レカ
爲シ他人ヲ殺スル如キトアルトモ其ノ人殺傷セシ罪ハ論セザルトトス
第七十六條 本屬長官ノ命令ニ從ヒ其職務ヲ以テ爲シタル者ハ其罪ヲ論セズ
タトヘ本屬長官ノ指圖タリモ其ノ長官ノ權内ニナキト已レノ職務外ノ支ハ長

官ガ指圖スルトモ命ニ應ズベカラズ應ズベカラザル命ニ應ズルハ罪アルナリ茲
ニ兵卒アリ其ノ長官ノ指揮ニテ銃砲ヲ放ツベキ職務ナリト虽モ無暗ニ人ヲ狙撃
スベキ職務ニ非ズ然ルニ罪ナキモノヲ狙撃シテ殺スニ至ル之レ罪ヲ遁ルルト能
ハザルナリ茲ニ刑ヲ行フ吏アリ司法卿ノ命ニ從ヒテ人ヲ死刑ニ行フ然ルニ行刑
ノ後チ死刑ニ處スベキモノニ非ガルト知ルト虽モ決シテ行刑吏ノ罪ニハ非ザ
ルナリ之レ司法卿ハ之レヲ命ズル可キ職務行刑吏ハ司法卿ノ命ニ從フテ人ヲ死
刑ニ行フ可キ職務ヲ有スルモノナレバナリ

**第七十七條 罪ヲ犯ス意ナキノ所爲ハ其罪ヲ論セズ但法律規則ニ於テ別ニ罪ヲ定メ
タル者ハ此限ニ在ラズ**

知ラズ知ラズ何心ナク犯シタル所爲ハ其ノ罪ヲ論ズ可キモノニ非ズトス彼ノ
銃ヲ射時場ニ放シ時彈道ヲ人ガ通行シテ死傷セシ如キ家根ノ瓦ヲ落ス片ニ軒下ニ人
アリテ死傷セシ如キ等ハ全ク何心ナクシテ人ヲ過ツモノト知ルベシ彼ノ車馬ヲ
馳驅シテ人ヲ殺傷セシ如キ銃獵ノ時其ノ彈人ヲ過ツ如キハ全ク已レノ便利ヤ遊
ビノタメニ殺傷セシモノナリ故罪ノ論ズベキモノアリトス其ノ他失火ノ如キモ

罪ヲ逃ルハ能ハザルナリ

罪ト爲ル可キ事實ヲ知ラズシテ犯シタル者ハ其罪ヲ論ズ

茲二十二歳以下ノ婦女タルヲ知ラズシテ十二歳以上ノモノト思ヒ姦通シタル如キ人妻タルヲ知ラズシテ人妻ヲ姦通セシ如キハ初メ其ノ犯罪タルヲ知ルセズシテ爲セシモノニシテ罪ノ論ズ可キモノナシトス

罪本重カル可クシテ犯ス時知ラザル者ハ其重キニ從テ論ズルヲ得ズ

同ジク犯罪ニハ相違ナケレモ其ノ犯ス時ニ當リ輕キト知リテ犯シタルニ誤リテ重キ者ヲ犯シタル時ハ其ノ輕キト知リテ犯シタル罪科ニ處ス假令他人ナリト思フテ歐打セシニ後チ父母タリト知ルモ他人ヲ歐打セシ罪ヲ以テ論ズルガ如キモノヲ云フ類ナリ

法律規則ヲ知ラザルヲ以テ犯スノ意ナシト爲スヲ得ズ

苟モ日本ノ國民タルモノハ法律規則ヲ知ラズト云フコトアル可カラズ法律規則中ノ罪ヲ犯シ知ラズト云フテ過錯トナサントスルモ決シテ免ス可カラズ法律規則上恰当ノ罪ニ科セラルベキナリ

第一篇

第七十八條 罪ヲ犯ス時知覺精神ノ喪失ニ因テ是非ヲ辨別セザル者ハ其罪ヲ論セズ

知覺ノ喪失トハ麻呆ニシテ已レノ父母ヲモ知ラヌ程ノモノヲ云ヒ精神ノ喪失トハ癡狂又ハ酒狂ノ類ヲ云フ斯クノ如キモノハ其ノ是非ヲ辨別スルヲ能ハザルヨリ起リシモノナレバ罪ノ論ズベキモノナシトス然リトモ酒狂ノ如キハ一概ニ罪ノ論ズベキモノナシトス可カラズ之レ等ハ裁判官ノ見込ニテ罪ノ論ズルト論ズ可カラザルトノ別ヲ立ツベキナリ

第七十九條 罪ヲ犯ス時十二歳ニ滿ザル者ハ其罪ヲ論ズ但滿八歳以上ノ者ハ情狀

ニ因リ滿十六歳ニ過キザル時間之ヲ懲治場ニ留置スルヲ得

人生レテ十二歳ニ至ラザルモノハ未ダ十分ノ善惡ノ知覺ナキモノトシ罪ヲ論ズガハナリ二十歳ニ滿タザルモノハ十分二人タルノ完備ヲナサヌモノト知ルベシ故ニ罪犯タトヘ二十歳以上ニ至リテ發覺スルトモ十二歳マデニ犯シタル罪ハ論ズガハルモノナリ

サレドモ十二歳以下ニシテ罪ヲ犯スモノハ父母ノ教育ノ足ラザルヨリスルモノナレバ犯罪ノ模様ト平常ノ品行トニヨリテハ八歳以上ノモノヲ監獄則ニヨリ懲

治場ニ入レテ十六歳以内之レテ懲ラスコアリ

第八十條 罪ヲ犯ス時滿十二歳以上十六歳ニ滿サル者ハ其所爲是非ヲ辨別シタルト
否トヲ審案シ辨別ナクシテ犯シタル時ハ其罪ヲ論ヒズ但情狀ニ因リ滿二十歳ニ過
キザル時間之ヲ懲治場ニ留置スルコトヲ得

若シ辨別アリテ犯シタル時ハ其罪ヲ有恕シテ本刑ニ二等ヲ減ズ

人十六歳ニ至ル未ダ十分ナル知覺ナカルベシト虽モ又々何分カ知覺モ備ハリ自
ラ能ク弁別スルニ至タルベシ故ニ十二歳以上十六歳以下ノ者ガ罪ヲ犯シ
タルトキハ先少善惡ヲ知ルノ識アルカ否ヤカヲ裁判官ニテ審案シ識ナキモノハ
罪ヲ論ズ但時ニヨリテハ滿二十歳迄テハ懲治場ニテ懲ラスコトモアルベシ
十二歳以上十六歳以下ノモノタリトモ是非ヲ知ルノ識アルモノハ本刑ヲ科スル
ナリ其ノ二等ヲ有恕スルモノハ丁年者ト比較スレバ殊モ大ニ異ナリテ何分カ
憐愍スベキモノアレハナリ

第八十一條 罪ヲ犯ス時滿十六歳以上二十歳ニ滿サル者ハ其罪ヲ有恕シテ本刑ニ一
等ヲ減ス

第一篇

十六歳ヲ經レバ最早ヤ知覺モ十分ナリトスレモ未ダ以テ丁年者ニ非ズ去レモ既
ニ知覺八十分ナリトセバ之レニ本刑ヲ科セザル可カラズ只丁年者ト比シテ少
シク宥恕スベキノ三其ノ罪ノ一等ヲ減ズルトモハ死刑ハ二十歳以下トモノ二ハ
處セザルモノナルベシ

第八十二條 瘖啞者罪ヲ犯シタル時ハ其罪ヲ論ヒズ但情狀ニ因リ五年ニ過キザル時
間之ヲ懲治場ニ留置スルコトヲ得

耳アルモ聞クコト能ハズ口アルモ言フコト能ハザルモノハ則瘖啞者ナリ斯クノ如キ
モノニ犯罪ノ事由ヲ訊問スルトモ得ベカラズ如何トモスル能ハザルベシ之レテ
十二歳以下ノ知覺ヲ供ヘザルモノト同ジク罪ヲ論ゼザルモ亦タ然リトス然リト
虽モ本人若シ再犯スルノ恐レアルモノハ五年ヲ過ギザルノ間懲治場ニ留メテ懲
戒セシムルナリ

第八十三條 違警罪ハ滿十六歳以上二十歳ニ滿サル者ト虽モ其罪ヲ有恕スルコトヲ得
ス

違警罪ハ最モ輕キモノナレバ丁年ニアラザルモノタリトモ本刑ヲ科スルモ左程

ノ懲憐ナリトモス可カラズ且ツ違警罪ハ社會ノ公益ヲ害スルモノナル故力所及
減等宥恕セザルヲ要ス

満十二歳以上十六歳ニ滿サル者ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ一等ヲ減ス十二歳ニ滿サ
ル者及ヒ瘖啞者ハ其罪ヲ論セス

十二歳ニ滿サル者ハ是非ノ心ナク瘖啞者ハ言聞ノ官ヲ欠ケ故ニ之レ等ハ罪ヲ論
ゼズ十二歳以上十六歳以下ノモノハ何分ノ知覺ヲ供フルモノナレバ僅カニ一等
ヲ減スルモノトス

第八十四條 此節ニ記載スルノ外特別ノ不論罪宥恕減輕ハ各本條ニ於テ之ヲ記載ス

茲ニ載スル条々ハ不論罪宥恕減輕ノ總則ニシテ特更ニ設クルモノアルモノハ後
々ノ本條ニ載セアルナリ

第二節 自首減輕

自首減輕トハ已レ惡事ヲナシテ大ニ悔悟シ已レノ爲シタル惡事ヲ有ル儘ニ官
ニ申出ルルハ其ノ罪ヲ減ジテ輕クナスコトヲ云フ

第八十五條 罪ヲ犯シ事未ダ發覺セザル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ニ一等ヲ

減ズ但謀殺殺二條ル者ハ自首減輕ノ限ニ在ラス

未ダ犯人タルコトヲ世ニ知レザル前ニ官ニ自首スルルハ犯人ハ悔悟ノ心モ顯ハシ
裁判所ノ手數モ大ニ省クガエニ何等ノ罪ヲ問ハズ告訴告發セラレザル前ニ自
首シタル時ハ其ノ本刑ニ一等ヲ減ズルナリ其ノ告訴告發セラレタル後ニ自首ス
ルモノ減輕ノ效ナキモノトス
人ヲ謀リテ殺シ人ヲ殺シタル者ハ罪ノ最惡ニシテ害ノ最大ナルモノナレバ自
首スルモノ減輕スベキノ類ニ非ズトス仮令ハ殺シ得ズシテ未遂犯罪ニカ、ルモ傷
ツケルカラハ自首シテ效ナシ

第八十六條 財産ニ對スル罪ヲ犯シタル者自首シテ其贓物ヲ還給シ損害ヲ賠償シタ
ル時ハ自首減輕ノ外仍ホ本刑ニ二等ヲ減ス其全部ヲ還償セスト虽モ半数以上ヲ還
償シタル時ハ一等ヲ減ス

此ノ条ハ自首減輕ノ上ニ尚ホ減スルモノナリ強盜竊盜詐欺取財賄賂等ノ如キ財
産ニカ、ル罪ヲ犯シテ自首シ而シテ贓物ヲ物主ニ返シ若シ此ノ罪ヲ犯スモノニ損
害ヲナサシメタル件假令ハ盜ヲナサントテ戸籍ヲ破リ土藏ヲ毀チタル修葺料ヤ

詐欺取財ノタメニ其ノ金額ニ付スベキ利息等アル時ハ之レヲ賠償スルコト於テハ被害者ニ於テ少シモ損害セザル譯合ナル故自首ニテ一等ヲ減ジ其ノ上二等ヲ減ジ合メ三等ヲ減ズルナリ

右ハ全部ヲ還給賠償セシ時ノコナルガ罪人ニシテ全部ヲ還給賠償スルコト能ハズ半数以上ヲ還給賠償スルハ全部ノ半バ即チ一等ヲ減ズ還給賠償半数ニ足ラザルハ減等スルノ類ニ非ザルナリ

第八十七條 財産ニ對スル罪ヲ犯シ被害者ニ首服シタル者ハ官ニ自首スルト同ク前二條ノ例ニ照シテ處断ス

前二ヶ条ハ官ニ自首セシ時ヲ示シタルガ財産ニ對スルノ罪ハ強チ二官ニ自首セズトモ被害者ノ家ニ至リテ有ノ俣子白狀シテ認入ルハ官ニ自首スルト同ジク減等ノ沙汰ニ及ブナリ

第八十八條 此節ニ記載スルノ外本條別ニ自首ノ例ヲ掲ケタル者ハ各其本條ニ從フ 茲ニ載スル条々ハ自首ノ總則ニシテ特更ニ設ケルモノアルモノハ後々ノ本条ニ載ス

第一篇

第三節 酌量減輕

人が惡事ヲナシタルモ其ノ罪人ノ悔悟心ヲ生ジタルカ別ニ罪ノ免入ベキモノアルハ情ヲ酌量リテ減輕スルコトナリ

第八十九條 重罪輕罪違警罪ヲ分タズ所犯情狀原諒スベキ者ハ酌量シテ本刑ヲ減輕スルコトヲ得

裁判官ニ於テ犯人ヲ能ク取り調べ其ノ犯ス所ノモノ宥スベキ廉アラバ本刑ヲ何等方減輕スベシ減輕シタルハ其ノ事由ヲ宣告書ニ明細記入スベシ

法律ニ於テ本刑ヲ加重シ又ハ減輕ス可キ者ト虽凡其酌量ス可キ時ハ仍ホ之ヲ減輕スルコトヲ得

本刑ヲ加重スルトハ再犯加重父母父母ニ對スル加重其ノ外本条ニ載セアル加重ニシテ本刑ヲ減輕スルトハ宥恕減輕自首減輕從犯減輕未遂犯罪ノ減輕其ノ外本条ニ載セアル減輕ナリ之レ等ノ罪タリトモ裁判官ニテ情狀原諒スベシト思フトキハ加重セシニモ拘ハラズ其ノ罪ヲ減等スルコトヲ得ルナリ

第九十條 酌量減輕ス可キ者ハ本刑ニ一等又ハ二等ヲ減ス

裁判官が酌三量リテ減等スベシトスルモノハ二等又ハ三等ヲ減ズルモノニシテ三等以上ヲ減不可キモノニハ非ザルナリ

第五章 再犯加重

一ト度ビ惡事ヲナシテ刑ニ處セラレタルニモ懲リズシテ再ビ惡事ヲナス如キ犯人ハ實ニ惡ムベキモノニシテ重ク罰セズンバ懲リルナカルベシ之レ再犯ノ者ヲ加重スル所以ナリ

第九十一條 先ニ重罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯重罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ

先ニ輕懲役ノ刑ニ處セラレタル者再ビ重懲役ノ罪ヲ犯シタル時ハ有期徒刑ニ處セラレノ類ナリ併シナガラ初犯輕罪ニ處セラレテ再犯重罪ヲ犯ス時ハ加重セズシテ再犯ノ重罪ヲ初犯トシテ刑スルナリ

第九十二條 先ニ重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯輕罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ

先ニ重罪ノ刑ニ處セラレタルモノ再ビ輕罪ヲ犯ス時及ビ先ニ輕罪ニ處セラレタルモノ再ビ輕罪ヲ犯シタルモノハイツレモ一等ヲ加フルナリ假令バ先ニ懲役ノ刑

ニ處セラレタルモノ再ビ二年以上五年以下ノ禁錮ニ處セラレベキ罪ヲ犯シタルモノハ本刑ニ一等即チ四分ノ一ヲ加ヘテ二年六月以上六年三月以下ノ禁錮ニ處スノ類ナリ

第九十三條 先ニ違警罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯違警罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ但一年内再ビ其違警罪裁判所ノ管轄地内ニ於テ犯シタル時ニ非ザレハ再犯ヲ以テ論ズルヲ得ズ

違警罪ハ各地方ノ適宜ニ取り設クルモノナレバ甲地方ニテ犯シタルモノ丁地方へ赴キタル再犯スルモノ之レヲ甲地方ニ一々問合ス甚ダシキ手數ノ三ナラズ犯人ヲ酷ニ失スルノ恐レアレバ違警罪ハ極ノテ區域ヲ狭クシ其ノ違警罪裁判所ノ管轄ニ於テノ三再犯加重ヲ執行スルトス斯クスルモノ未ダ以テ手數ヲ省クニ足ラズ違警罪ノ如キハ人ノ犯シ易キモノナレバ寧ロ之レヲ一ケ年ヲ過テ犯シタルモノハ初犯ト同ジク取扱フトナシタルナリ

第九十四條 再犯加重ハ初犯ノ裁判確定ノ後ニ非ザレバ之ヲ論スルヲ得ズ

初犯ト再犯ト境界ハ裁判確定ノ日ナリトス裁判確定後ニ犯シタル再犯トシテ

加重シ返令へ上訴期限中タリ且犯シタル罪ハ再犯トシテ加重セズ數罪俱發ヲ以テ論ズベキナリ

第九十五條 刑期限内再ヒ罪ヲ犯スニ因リ刑ヲ宣告シタル時ハ先ツ其定役ニ服ス可キ者ヲ執行シ定役ニ服セザル者ヲ後ニス若シ初犯再犯共ニ定役ニ服スル刑ニ諷ル時又ハ共ニ定役ニ服セザル刑ニ諷ル時ハ先ツ其重キ者ヲ執行ス

罰金科料ニ諷ル者ハ順序ニ拘ハラズ各之ヲ徵收ス
刑期ノ終ラザル時ニ囚人再犯スル時假令ハ初犯ノ刑ハ流刑十二年ノ處へ二年ヲ過キテ再ヒ罪ヲ犯シ重禁錮五年ニ處セラル、時ハ重禁錮ハ定役アル故先ツ之ヲ執行シ流刑ハ定役ナキモノナル故其ノ執行ヲ中止シ重禁錮ノ刑期満チテ残りノ流刑十年ヲ繼續ス

初犯再犯共ニ定役ニ服セザルモノハ初犯再犯ノ内ニツイツレニテモ重キ刑ヲ先キニ執行ス初犯再犯共ニ定役アルモノモ亦々同ジ
罰金科料ニハ順序アルトナシコレハ一時ニ完納スルモノナラ故ナリ其ノ罰金ヲ一月内ニ完納スル能ハズシテ禁錮ニ換フル時ハ初犯ノ満期后ニ執行スルトス

第一篇

第九十六條 陸海軍裁判所ニ於テ判決ヲ經タル者再ヒ重罪輕罪ヲ犯シタル時ハ初犯ノ罪常律ニ從ヒ處断シタル者ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スルヲ得ス

此ノ刑法ハ陸海軍ニハ關係ナキモノナル故タトハ陸海軍裁判所ニテ判決ヲ經タルモノナリ且常律即チ此ノ刑法ノ刑ニ處セラレタルモノニ非ズンバ再ヒ犯スモ再犯加重ヲ以テ論ズベキモノニハ非ザルナリ然リト虽且若シモ陸海軍裁判所ニ於テ常律即チ此ノ刑法ヲ以テ處分シタルモノニシテ再ヒ罪ヲ犯シタルモノハ無論再犯加重ヲ以テ論ズベキモノトス

第九十七條 大赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ再ヒ罪ヲ犯スト虽且再犯ヲ以テ論スルヲ得ス

既ニ第六十四條ニモ註釋シタル如ク大赦ニ遭フルハ罪過モ刑罰モ共ニ消滅シテ蹟ナキニ至ルモノナレハ大赦ニテ免罪セラレシモノハ初犯ヲ取消シタルモノニテ再ヒ犯スモ加重スベキモノニハ非ルナリ

第九十八條 三犯以上ノ者ト虽且其加重ノ法ハ再犯ノ例ニ同シ

幾犯ノ罪ニ諷ルモノ再犯ト同ジク其ノ本刑ニ一等ヲ加フルノ外ナキナリ

第六章 加減順序

加等減等ノ次第ヲ示メシタルモノニテ加重スルノ理由ト減輕スルノ理由トヲ明ラカニス

第九十九條 犯罪ノ情狀ニ因リ總則ニ照シ同時ニ本刑ヲ加重減輕ス可キ時ハ左ノ順序ニ從テ其刑名ヲ定ム但從犯及ビ未遂犯罪ノ減等其他各本條ニ記載スル特別ノ加重減輕ハ其加減シタル者ヲ以テ本刑ト爲ス

一再犯加重

宥恕減輕

自首減輕

四酌量減輕

一ノ罪ニテ數々ノ加減ヲ一時ニ行フコトアリ此ノ時ニ當リ其ノ順序ナクンハ終ニハ罪人ヲシテ甚ダシキ幸不幸ヲ生ゼシムルニ至ルベシ此ノ順序ヲ立テズシテ若シ加重ヲ先キニシテ減輕ヲ後ニスル如キハ其ノ刑ハ寛ニ過キ若シ減輕ヲ先キニシテ加重ヲ後ニスル如キハ其ノ刑ハ酷ニ過グ斯ク云フハ正ニ反對ノ點ヲ見ル

第一篇

カ如シト虽モ加重シテ死刑トナスコトハナラヌモノナレ故斯クハ反對ヲ見ルニ至リシナリ假令ハ無期ノ罪ヲ加重スレバ死刑トナルベケレモ死刑ハ例外ナルコトハ依然トシテ無期ニ止ル之レヲ減輕スルハ有期刑トナル之レ加重ハ名稱ノ三ニシテ其ノ實ハ減輕ノ三ニ止リ譬ニ寛ニ失スルノ三又之レニ反シテ有期ノ罪アリ加重シテ無期ノ刑トナル之レヲ減輕スレバ元トノ有期刑トナルナリ之レ減輕ハ名ノ三ニシテ其ノ實ハ加重ノ三ニ止リ譬ニ酷ニ失スルノ三故ニ再犯加重ヲ第一ニ置キ而シテ其ノ實ハ加重ノ三ニ止リ得ザル所以ナリ
從テ以テ論ズル犯罪カ未ダ遂ゲザル犯罪ノモノ其ノ外夫々ノ本條ニテ減輕又ハ加重等ヲ明文スルモノハ先ヅ其ノ場合ニテ加重又ハ減輕シ其ノ加重又ハ減輕シタルモノヲ以テ本刑ト視做シ其ノ本刑ヲ本トシテ本條ノ順序ニヨリ加重減輕スルコトス

第七章 數罪俱發

數罪俱發ハ人ガ一罪ヲ犯サズシテ二罪又ハ二罪以上ヲ犯シ其ノ罪犯カ俱ニ發露シタルモノヲ云ヒ其ノ處分方ヲ示シタルモノトス

處断ス

茲ニ入アリ重輕四五ノ犯罪一時ニ發露ス之レテ一々罰セシカ二人三人ノ壽アルモ果タス丁能ハザルベシ全體刑ハ人ヲ罰セズシテ罪ヲ罰スルモノナル故所犯ノ重キモノヲ以テ他ノ輕キ罪ニ代ラシムル又々當然ナリ故ニ二罪以上カ或ハ罪ノ判決以前ニ發露スルハ輕キ罪ハ皆テ除棄シテ只々其ノ重キ一罪ヲノ三刑スルトトス

重罪ノ刑ハ刑期ノ長キ者ヲ以テ重トナシ刑期ノ等シキ者ハ定役アル者ヲ以テ重トナス

重罪ガ二罪以上俱ニ發スルハ刑ノ期限ガ長キ方ヲ重キトナシテ處断シ刑ノ期限ガ等シク板令バ同期ノ重懲役ト重禁獄ト俱ニ發スルハ禁獄ハ定役ナク懲役ハ定役アルモノナル故ニ其ノ重懲役ニ處スルヲ以テ重トナスノ類ナリ

輕罪ノ刑ハ其所犯情狀最重キ者ニ從テ處断ス

輕罪ハ禁錮ト罰金トノ三ナリ禁錮ト罰金トハ其ノ輕重ヲ豫メ比較スル丁能フ可

第一篇

カラズ故ニ禁錮ナリ罰金ナリ裁判官ガ重シト見込ムモノヲ科スルトトス

第一百條 違警罪ニ罪以上俱ニ發シタル時ハ各其刑ヲ科ス若シ重罪又ハ輕罪ト俱ニ發シタル時ハ一ノ重キニ從フ

違警罪ハ甚カ輕キモノナルユヘ二罪以上ヲ犯スモノハハ夫々ノ刑ヲ科ス之レ違警罪ハ人民ノ職業上ニ關スル条件多キユヘ之レニ一罪ヲ科スルトセバ數罪ヲ犯シテ一罪ニ科セラレ利益ト人民ノ便ナル丁多ク競フテ之レヲ犯スノ恐レアレハナリ併シナカラ重輕ノ二罪ト俱ニ發シタルモノハ無論違警罪ハ除棄ス之レ重罪輕罪ハ對シ實ニ微タトシテ論ズベキモノナケレバナリ

第一百二條 一罪前ニ發シ已ニ判決ヲ經テ餘罪後ニ發シ其輕ク若クハ等シキ者ハ之ヲ論セス其重キ者ハ更ニ之ヲ論シ前發ノ刑ヲ以テ後發ノ刑ニ通算ス但前發ノ刑罰金

科料ニ減リ已ニ納完シタル者ハ第九七條ノ例ニ照シ折算シテ後發ノ刑期ニ通算ス若シ前發ノ罪ヲ判決スル時未タ發セザル罪再犯ノ罪ト俱ニ發シタル者ハ其再犯ト

比較シ一ノ重キニ從ヒ前發ノ刑ヲ通算セス

一ノ罪ガ發シテ夫レガタメ刑ニ處セラレタル后チ外ル罪ガ發露シタル時ニ後ニ

引余第二十七條ハ既前二回ノ引余ヲナシタル故略シヌ

露レタル罪ガ現罪ヨリ輕カリセバ後ノ罪ハ除棄シ後ニ露レタル罪ガ現罪ヨリ重キハ後罪ノ刑ニ處セラレ現罪ノ輕過シタル刑期ヲ除シテ後罪ヲ繼續ス假令ハ重懲役十年ノ刑ニ處セラレタルモノ五年ヲ經テ他ノ罪ガ發露シ有期徒刑十二年ニ處セラレタルキハ十二年ヨリ已ニ經過シタル懲役ノ五年ヲ減ジ殘期七年ト通算シテ處斷ス

罪ノ等シキモノトハ刑ノ期限ノ長短ヲ云フニ非ズ刑名ノ等シキモノヲ云フナリ輕禁獄六年ノ囚アリ後チ輕禁獄七年ノ刑ニ處スベキ發露スルハ其ノ罪ヲ論ゼザルノ類

既ニ罰金又ハ科料ノ刑ニ處セラレタルモノ後ニ發露セシ罪罰金ニシテ前發ノ金額ヨリ多キハ無論前法コヨリテ後チニ發シタル多數ノ罰金ニ通算スレモ若シ後發ノ刑罰金科料ニ非ズシテ實決ノ刑ナルハ前發ノ罰金ハ第二十七條ノ例ニ照シ既ニ納メタル罰金一円ヲ一日ニ折算シ後ニ發露セシ刑期ニ通算スルトス假令ハ前發ノ罰金二十円ニシテ後發ノ重禁錮一ヶ月ナルハ前發ノ罰金ヲ二十日ト折算シ後發ノ一ヶ月ニ通算シテ十日ノ殘日ヲ禁錮ニ處スルノ類ナリ

第一篇

前ニ發シタル罪ヲ判決スル時ニハ餘罪ノ發露セズシテ再犯ヲナシタル中餘罪アルノ發露セシ中ニハ前發ノ刑トハ通算セズシテ數罪俱發例ニ照シ重キヲ以テ論ズルトス

第三條 數罪俱ニ發シ一ノ重キニ從フ時ト雖モ其沒收及ヒ徵償ノ處分ハ各本法ニ從フ

何等ノ罪タルヲ問ハズ數罪俱ニ發シタル中一ノ重キヲ以テ處斷スルハ論ヲ俟タザル所ナレモ第四十三條ノ沒收ヤ第四十五條以下ノ裁判費用、贓物ノ還給、損害ノ賠償等ハ各々其ノ本條ノ法ニヨツテ徵償スルモノナリ

第八章 數人共犯

一人ニアラズ二人以上組合ヒテ共ニ罪ヲ犯スモノヲ云フ

第一節 正犯

正犯トハ現ニ惡事ニ手ヲ下シタルモノト又タ惡意ヲ發起シテ人ニ惡事ヲナサシメタルモノトヲ云フ

第一百四條 二人以上現ニ罪ヲ犯シタル者ハ皆正犯トナシ各自ニ其刑ヲ科ス

時律ニテ數人惡戾ニ手ヲ下ストモ其ノ企テタルモノヲ以テ首トナシ佗ヲ從トナシタリシガ此ノ刑法ニテハ左ニ非ズ手ヲ下シタルモノハ皆ナ正犯トナスナリ假令ベバ強盜五人アリ其ノ五人ニテ人ヲ殺スルハ皆ナ死刑ニ處スル類ナリ

第百五條 人ヲ教唆シテ重罪輕罪ヲ犯サシメタル者ハ亦正犯ト爲ス

人ヲ唆カシ教ヘテ罪ヲ犯サシメタルモノハ已レ自ラ手ヲ下サズト虽已レノ惡事ヲナスニ佗人ヲ雇フテ爲サシメタル繹合ナレバ即チ爲サシメタル者コソ主人ナレ之レチ正犯トナサズシテ何ゾヤ抑モ人ヲ教唆スルニ種々アリ其ノ類ヲ掲ケレバ詐リノ策略ニテ人ヲ欺騙スル如キ人ヲ威シ罰カシテ迫リタル時ノ如キ物ヲ人ニ贈リテソレガ爲メ犯サセシ如キ軍故ヲ造リテ人ト約セシ如キ人ヲ煽動シ鼓舞シタル如キ皆ナ之レ正犯タルヲ免ガレザルナリ

第百六條 正犯ノ身分ニ因リ別ニ刑ヲ加重ス可キ時ハ佗ノ正犯從犯及ヒ教唆者ニ及ボスヲ得ズ

手ヲ下シタルモノハ皆ナ正犯ナル可ケレモ正犯者ノ身分ニ因リテハ其ノ身分ニ就キ加ハル刑ヲ佗ノ正犯從犯ニ及ボス可キモノニ非ザルナリ假令バ子が其ノ父

第一篇

母ヲ毆打也シ如キハ佗ノ毆打シタル正犯者ト教唆シタル正犯者トハ子が親ヲ毆打也シ加刑即チ凡凡人ノ刑ニ二等ヲ加フルノ類ニハ非ザルベキナリ

第百七條 犯人ノ多數ニ因リ刑ヲ加重ス可キ時ハ教唆者ヲ算入シテ多數ト爲ストヲ得ズ

人ヲ教ヘ唆カス者ハ正犯中ニテ別ノモノナレバ犯人ノ多數ニ因リテ刑ヲ加重スル彼ノ竊盜二人以上ハ一等ヲ加フルノ二人以上ノ數ヘハ教唆者ハ加フ可カラザルヲ云フ

第百八條 事ヲ指定シテ犯罪ヲ教唆スルニ當リ犯人教唆ニ乘シ其指定シタル以外ノ罪ヲ犯シ又ハ其現ニ行フ所ノ方法教唆者ノ指示シタル所ト殊ナル時ハ左ノ例ニ照シテ教唆者ヲ處斷ス

教唆者が人ニ指圖シテ罪ヲ犯サシメント欲セシニ其ノ人教唆者ノ指圖通り罪ヲ犯サズシテ教唆ト法ヲ異ニシタル罪ヲ犯シタル件ニ當リ教唆者ノ指圖ヨリ其ノ犯セシ罪が重ケレバ教唆者ヲ正犯トナス可カラズ教唆者ノ指圖ヨリ其ノ犯セシ罪が輕ケレバ失張リ教唆者ヲ正犯トナスナリ

教唆者ノ指圖シタル惡事ト全ク性質ヲ異ニシタルトテ犯シタル時ハ教唆者ノ之レニ關ス可キ者ニ非ズトス

一所犯教唆シタル罪ヨリ重キ時ハ止テ其指定シタル罪ニ從テ刑ヲ科ス

石部金吉ノ家ハ己レ甚カク存シ在ルヲ忌ム宜シク行キテ石部ノ家ヲ破壊ス可シト教唆セシ者アリ然ルヲ之レヲ諾シテ石部ノ家ニ至リ破壊セズシテ放火シタリトセバ教唆者ハ放火ヲ以テ論ス可カラズ人ノ家ヲ破壊セシモノヲ以テ論ス可キ也

二所犯教唆シタル罪ヨリ輕キ時ハ現ニ行ノ所ノ罪ニ從テ刑ヲ科ス

前註ニ反シテ石部ノ家ニ放火ス可シト教唆シタルニ之レヲ諾シテ放火ヲナサズ石部ノ家ヲ破壊シタル時ハ教唆者ヲ放火ノ罪ニ處セズシテ所犯ノ現行シタル人ノ家屋ヲ破壊シタル罪ヲ以テ處断スベキナリ

第二節 從犯

餘所ナガラ人ガ惡事ヲナスノ手傳ヲナシテ惡事ヲ助ケタル時ヲ云フナリ

第百九條 重罪輕罪ヲ犯スルヲ知テ器具ヲ給與シ又ハ誘導指示シ其他豫備ノ所爲ヲ以テ正犯ヲ補助シ犯罪ヲ容易ナラシメタル者ハ從犯ト爲シ正犯ノ刑ニ一等ヲ減ズ

第一篇

但正犯現ニ行ノ所ノ罪從犯ノ知ル所ヨリ重キ時ハ止テ其知ル所ノ罪ニ照シ一等ヲ減ズ

此ノ条本文ニテ能ク意ヲ尽セリ假令ハバ窃盜タルトテ知リナガラ正犯者ニ銃ヲ破ル可キ器具ヲ與ヘ或ハ戸ヲ開キ正犯者ヲ誘入シ或ハ家ニ人ナキトテ告ケル等ノ類ニテ之レ等ハ皆ナ從ヲ以テ論ジ本刑ニ一等ヲ減ズルナリ

第百十條 身分ニ因リ刑ヲ加重ス可キ者從犯ト爲ル時ハ其重キニ從テ一等ヲ減ス

正犯ノ身分ニ因リ刑ヲ減免ス可キ時ト虽從犯ノ刑ハ其輕キニ從テ減免スルトテ得ズ

從犯ト虽凡身分ニ因リテハ刑ヲ加重スルトス假令バ子トシテ他人ガ己レノ親ヲ毆打スルニ容易ナラシメタル時ハ子タルモノハ從犯タリト虽凡身分トシテ己レノ親ナル故刑ヲ加重シテ有期徒刑トナシ之レヨリ一等ヲ減ジテ重懲役トナルガ如シ此ノ時現ニ手ヲ下シテ毆打セシモノハ他人ノトナル故廢疾罪ノ凡人刑ニ處セラル

正犯カ身分ニヨリテ罪ヲ減ゼラルトアル凡其ノ從犯ハ身分ニ關係ナキ故罪ヲ

減じラレ、ノ譯合ニハ至ラザルナリ、假令バ子トシテ親ノ財ヲ窃取ス即チ正犯ナ
レモ身分ニヨリテ罪ノ問フ可キモノナシ而シテ子ガ窃取スルニ付キ助ケテナシタ
ルモノハ從犯ナレモ身分ニ關係ナキガタノ減等スルノ比ヒニ非ズ窃盜ノ從犯チ
以テ論ズベキモノトス

第九章 未遂犯罪

惡事ヲ爲サント心ニ決シタルアリ既ニ惡事ヲナスノ準備ヲナシタルアリ惡事ヲ
行フト虽モ意外ノ礙リニテ惡事ヲ遂ゲルコト能ハザルアリ之レ等ヲ指シテ未遂
ケザルノ犯罪トナス

第百一十條 罪ヲ犯サントシテ謀リ又ハ其豫備ヲ爲スト虽モ未遂其復チ行ハザル者ハ

本条別ニ刑名ヲ記載スルニ非ザレバ其刑ヲ科セズ

國軍犯ニテハ斯クハナラズ其ノ条々ハ記載シアレバ各其ノ条ニ就テ處分セラレ
レモ常事犯ニテハ假令バ人命ヲ絶タシタメニ刀劍ヲ買取シ毒藥ヲ用意シ又タ窃
盜ヲナサンタメニ銃ヲ破リ壁ヲ毀ツノ器具ヲ用意シタルモ訊問ノ時ニ當リ刀劍
ハ我が身ヲ保護セントタメナリ毒藥ハ毒蟲ヲ殺サンタメナリ銃ヲ破ルノ器具ハ意

内ノ用意ナリ壁ヲ毀ツ器具ハ我が家ノ壁ヲ毀ツノ用意ナリト云ハバ他ニ証蹟ナ
キヲ以テ之レヲ刑ニ處スルコト能ハズ否ナ處セザルナリ

第百十二條 罪ヲ犯サントシテ已ニ其事ヲ行フト虽モ犯人意外ノ障礙若クハ舛錯ニ

因リ未遂ケザル時ハ已ニ遂ケタル者ノ刑ニ一等又ハ二等ヲ減ス

假令バ人ヲ殺サント欲シテ刀ヲ抜キ既ニ手ヲ下スト虽モ他人ノ障礙ニヨリテ果
タサザル如キハ意外ノ障礙ニ遇ヒシモノト云フベク矢ヲ放チテ人ヲ殺サントセ
シニ概然然ガ絶チシカ又ハ狙ヒ的中セシテ死ニ至ラザルモノ等ヲ舛錯ト云ヒ
孰レモ意ヲ決シテ準備ヲナシ己レニ事ヲ行ハモ障礙ト舛錯トニヨリテ權カニ果
タサザルモノナレバ本刑ヲ科セザルヲ得サレドモ機嫌ニシテ被害者ガ十分ノ
被害トナラザルヨリ犯人ニモ少シハ機嫌ヲ與ヘテ本刑ニ一等又ハ二等ヲ減ズル
コトセリ

第百十三條 重罪ヲ犯サントシテ未遂ケザル者ハ前条ノ例ニ照シテ處断ス

此ノ条ハ第百十一條ノ如キ惡事ヲナスノ心ヲ決シタルカ其ノ用意ナシセシ如キ
チ云フニ非ズシテ第百十二條ノ如ク重罪ヲ犯サンタメ手ヲ下シタルニ障礙又ハ

舛錯ノタメニ罪ヲ犯スルヲ遂ゲザル者ノ例ヲ云フナリ

輕罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ゲザル者ハ本條別ニ記載スルニ非ザレバ前條ノ例ニ照シテ處断スルヲ得ズ

輕罪ノ未遂犯罪ハ別ニ正條ノアレバ其ノ正條ナキモノハ渾テ前ノ條ノ例ニ據ル
トト知レ

違警罪ヲ犯ントシテ未ダ遂ゲザル者ハ其罪ヲ論ぜズ

違警罪ハ實ニ些細ノ罪ナレバ現ニ巡查が見咎ノ又ヨリハ假令ハ罪ヲ犯スノ心ヲ決シ其ノ用意ヲナシ又ハ手ヲ下シテ物ニ支ヘラレ、等ノ事アリテ現ニ犯サザルヨリハ其ノ罪ヲ論ぜザルモリス

第十章 親屬例

茲ニ親屬トハ血縁ノモノ、ミテ云フニ非ズ、渾テ身寄リノモノヲ云フナリ

第百十四條 此刑法ニ於テ親屬ト稱スルハ左ニ記載シタル者ヲ云フ

- 一 祖父母父母夫妻
- 二 子孫及其配偶者

第一篇

三 兄弟姊妹及其配偶者

四 兄弟姊妹ノ子及其配偶者

五 父母ノ兄弟姊妹及其配偶者

六 父母ノ兄弟姊妹ノ子

七 配偶者ノ祖父母父母

八 配偶者ノ兄弟姊妹及其配偶者

九 配偶者ノ兄弟姊妹ノ子

十 配偶者ノ父母ノ兄弟姊妹

此ノ十項ハ通常ノ親屬ナレバ追々本條ニ於テ其々ノ親屬トセシモノアリ之レ等ハ此ノ親屬ノ外ナルモノナリ

第百十五條 祖父母ト稱スルハ高曾祖父母外祖父母同シ父母ト稱スルハ繼父母同シ

子孫ト稱スルハ庶子曾玄孫外孫同シ兄弟姊妹ト稱スルハ異父母ノ兄弟姊妹同シ

養子其養家ニ於テ親屬ノ例ハ實子ニ同シ

此ノ條ハ前條ノ十項中ニ合シシモノニシテ祖父母ト云フニハ養子ニハ合シキ

母方ノ祖父母ヲ含ミ父母ト云フニハママ母ママ父ノ正妻妾ノ子ヨリ母ヲ呼ブモ
コヲ含ミ子孫ト云フニハ妾ノ子ハママコヤシほコヲ含ミ兄弟姉妹ト云フニハ腹
わり胤ありノ兄弟姉妹ヲ含ムナリ

養子カ養家ニテノ親屬ノ例ハ其ノ實家ニテノ親屬ノ例ト少シモ異ナルトナキ也

大日本刑法註釋大成第二篇終

第二篇 公益ニ關スル重罪輕罪

公益ニ關スル罪トハ社會ノ益ヲ害スルモノニシテ一人一個ノ益ヲ害スルモノ
ニハ非サルナリ故ニ之レヲ國安ヲ害スル罪ト云フ

第一章 皇室ニ對スル罪

皇室トハ天皇陛下ト凡テ其ノ皇族ヲ惣稱シ之レニ對スルノ罪ヲ示スモノナ
リ

第一百十六條 天皇三后皇太子ニ對シ危言ヲ加ヘ又ハ加ヘントシタル者ハ死刑ニ處ス

立君政治ノ國ニ於テハ君主ヲ以テ最貴ノモノトスルハ勿論ニシテ人民トシテ
君臣ノ義ヲ紊リ君主ヲ無クセントスル實ニ大逆謀反ト云フ可キナリ然ルニ我
邦ハ上古ヨリ皇統連續トシテ無窮ノ國体ナレバ其臣民タルモノハ玉体ニ向フ
テ大逆ヲ行ハザルハ勿論(古昔ニ於テハ之レヲシト云フ可カラズ臣トシテ
帝王ヲ流島シ臣トシテ皇族ヲ害セシ等ナシトセス夫レガタメ旧律ニ於テハ此
ノ條子載セザリシモ今哉萬國ノ法ヲ採リ既ニ總則ニモ律ニ正條ナキモノハ罰
セサルノ明文アルヨリメ此ノ余章ヲ載セズンハアラス玉体ニ向テ殺傷セント

スル臣民ハ仮令ヘ未遂犯罪ノモノト虽モ死刑タルコト免ル、一能ハザルナリ
天皇ハ太上^{シヤウ}天皇ヲ含ミ三后ハ太皇太后^{シヤウ}天皇ノ皇祖母ナリ皇太后^{シヤウ}天皇ノ皇母皇
后^{シヤウ}天皇ノ御妻ニシテ皇太子ハ天皇ノ御子ナリ皇女^{シヤウ}皇孫^{シヤウ}皇太子ノ妃^{シヤウ}ハ皇族トナ
ス

第百十七條 天皇三后皇太子ニ對シ不敬ノ所為アル者ハ三月以上五年以下ノ重禁錮
ニ處シ二十円以上二百円以下ノ罰金ヲ附加ス

皇陵ニ對シ不敬ノ所為アル者亦同シ

前條ニテハ玉体ヲ危フクシ奉ラントスルノ罰ニシテ本條ハ天皇三后皇太子ニ
對シ罵詈^{カガミ}侮辱^{ウケル}強姦^{カガミ}等ノ如キ不敬ノ所為アルモノヲ罪スルヲ云フ此ノ刑
ハ官吏ニ對スル不敬ノ所為ヲ罪スルヨリハ過カニ重キモノハ全ク皇室ヲ重シ
ズルヨリ起リシモノト云フ可シ

皇陵モ亦タ人民ノ墳墓ト比スル大ニ尊重スベキ筈ナレバ人民ノ墳墓ニ對スル
罪ヨリハ一層重シセシモ前項ノ意ヲ受ケシモノナリ

第百十八條 皇族ニ對シ危害ヲ加ヘタル者ハ死刑ニ處ス其危害ヲ加ヘントシタル者

第二篇

ハ無期徒刑ニ處ス

皇族即チ親王ヲ殺シ又ハ傷ケタルモノハ死刑ニ處セラルレ其ノ殺サント欲
シ傷ケント欲シテ遂ケザルモノハ無期ノ徒刑ニ處セラル、ナリ

第百十九條 皇族ニ對シ不敬ノ所為アル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ十円
以上百円以下ノ罰金ヲ附加ス

皇族ニ敬ヲ失シタルモノハ天皇三后皇太子ニ敬ヲ失シタルモノヨリハ輕シト
虽モ又タ本條ノ如ク第百十七條ノ權衡ヲ以テ刑スルコトシセテレタルナリ
皇族ノ墳墓ニ對スルノ罪ハ明文ナケレハ一般人民ノ墳墓ニ對スル罪ト異ナル
コトナキナランリ

第百二十條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ
監視ニ付ス

重罪ハ各々刑ノ短期三分ノ一ノ時間ハ監視ニ付スルノ法ナレモ輕罪ハ然ラザ
ルモノナレハ皇室ニ對スル罪ニシテ輕罪ニ處セラル、モノハ即チ本條ノ明文
ノ如キ監視ニ付セラル、ナリ

第二章 國事ニ關スル罪

均シク罪ハ罪ナリ均シク惡事ハ惡事ナリト虽モ政体上ノ事ヨリ起ル罪ハ強
テ已レノ一身ヲ私益セントスルモノニハ非ズシテ天下ノ公益ヲ謀ラント欲
シ謀テ公益ヲ害シタルモノナレハ廉恥ヲ破リ汚瀆ヲ露ハス彼ノ盜竊竊等
ノ如キ類ニ非ズ之レ罪ニ刑名ヲ分テ役ニ服セシメテレザル所以ナラン

第一節 内乱ニ關スル罪

均シク國事ノ罪ナレモ内外ノ區別ヲ立テ、示シタルモノナリ内乱トハ國
内ノ騷擾ヲ起シ政体ノ事ニ付キテ政府ニ敵對ヲナセシモノヲ云フナリ
第二百一十一條 政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊亂スルヲ目的ト為シ
内乱ヲ起シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

政府ヲ顛覆スルトハ佞令ハ立君ノ政体ナル國ヲ君主ヲ廢シテ共和ノ政府ヲ立
テントシ又ハ内閣ヲ凌辱シ各官衙ヲ興廢セント欲スルノ類ニシテ佛國山嶽党
ノルイ第十六世ニ於ケル雲井龍雄ノ明治二年ニ於ケル如キモノナリ
邦土ヲ僭竊スルトハ北海道ナリ九州ナリ四國ナリノ如キ處ニ割拠シテ反旗ヲ

第二篇

舉ゲ或ハ土地ヲ掠奪シ又タ土地ヲ占メテ獨立スルノ類ニシテ榎本金次郎ノ蝦
夷ニ於ケル西郷隆盛ノ西南ニ旗ヲ奉ゲシニ於ケル如キナリ

朝憲ヲ紊亂スルトハ政体ヲ改革シ又ハ法律ヲ改革シ又ハ皇統ノ順序ヲ紊リ郡
縣ヲ封建ニ改メント欲スルノ類ニシテ彼ノ熊本神風連ノ如キ前原一誠ノ反乱
ノ如キ類ナリ

一 首魁及ヒ教唆者ハ死刑ニ處ス

反徒ノ張本人又ハ反逆ヲ教ヘ唆シタルモノハ内乱ヲ起スノ煽動者ニシテ之ノ
煽動者ノタメ教テ千方ノ生靈ヲ塗炭ノ苦ニ陥ラスモノナル故斯ク罪ヲ重クナシ
タルナリ

二 郡衆ノ指揮ヲ為シ其他樞要ノ職務ヲ為シタル者ハ無期流刑ニ處シ其情輕キ者ハ
有期流刑ニ處ス

張本巨魁ニハアラザレモ一軍ヤ一隊ノ長トナリテ其麾下ノ者ヲ指揮シ又タ帷
幄ノ中ニアリ軍事ニ參謀シ又ハ陰謀ニ内乱ヲナス重要ノ職務ニ預リタルモノ
ヲ罰スルモノニテ情ノ重キト輕キトニヨリテ無期又ハ有期ノ流刑ニ處セラレ

ナリ

三兵器金穀ヲ資給シ又ハ諸般ノ職務ヲ為シタル者ハ重禁獄ニ處シ其情輕キ者ハ輕禁獄ニ處ス

現ニ内乱ノ組合ニ入ラズトモ刀劍銃砲彈藥器械金銀糧食ナドヲ内乱ヲ起ス者ニ給シ又ハ種々ノ内乱ニ關スル事務ヲ取扱ヒテ内乱ヲ助ケタル者ハ其ノ助ケタル事情ニヨリテ重キト輕キトヲ酌シ重禁獄又ハ輕禁獄ニ處スルナリ

四教唆ニ乘シテ附和隨行シ又ハ指揮ヲ受ケテ雜役ニ供シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

巨魁ニ教ヘ唆カサレテ之レニ隨ヒ之レニ附キ又ハ巨魁ニ指圖セラレテ人足ナドニ使ハレ又ハ兵隊ナドニ募ラル、者ハ輕禁錮ニ處セラレ、ナリ

第二百二十二條 内乱ヲ起スノ目録ヲ以テ兵器彈藥船舶金穀其他軍備ノ物品ヲ劫掠シタル者ハ已ニ内乱ヲ起シタル者ノ刑ニ同シ

國事犯ニテ内乱ヲ起スノ企テヲナシ未タ起サ、ルノ前ト虽モ既ニ其ノ準備ヲナシテ起スベキ整頓ヲナシ政府又ハ人民ノ兵器彈藥船舶金穀其ノ他軍備ノ

第二篇

品物ヲ掠奪スルモノハ仮令ヘ兵ヲ起サ、ルノ未遂犯ナルモ既ニ兵ヲ起シタルモノト同シ論ゼラル、ナリ

第二百二十三條 政府ヲ變亂スルノ目的ヲ以テ人ヲ謀殺シタル者ハ兵ヲ挙ルニ至ラスト虽モ内乱ト同ク論シ其教唆者及ヒ下手者ヲ死刑ニ處ス

未タ兵ヲ挙ゲザルモ政府ヲ乱スベキ目的ニテ人ヲ殺スニ至ルトキハ兵ヲ起スト異ナラス教唆者ト手下シタル者トハ共ニ死刑ニ處スルナリ政府ヲ變亂スルタメニ人ヲ謀殺スルトハ大臣ヲ謀殺スル如キモノガ適例ニテ彼ノ兇逆ニテ岩倉右大臣ニ傷ケシニ於ケル清水谷ニテ大久保參議ヲ刺殺セシニ於ケル皆ナ其ノ類ナリ教唆者ト下手者ヲ除クノ外金銀器具ヲ資給シ又ハ附和隨行スル者ハ第二百一十一條ニ因テ處分スルトス

第二百二十四條 前三條ノ罪ハ未遂犯罪ノ時ニ於テ乃チ本刑ヲ科ス

内乱ハ全國ノ安危ニ關スルモノナレハ實ニ重大事件トモ云フベケレ依テ仮令ヘ罪ヲ犯ス「能ハザルモ其ノ準備ヲナシ又ハ手下シテ意外ノ障礙又ハ錯誤ニヨリ遂ゲザルモノト虽トモ皆ナ減等ス可キモノニ非ズ必ズ本刑ヲ科スルモ

ノナリ

引條第百二十一條 政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭稱シ其他朝憲ヲ紊亂スルヲ目的トシテ内亂ヲ起シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

第百二十五條 軍隊ヲ招募シ又ハ兵器金穀ヲ準備シ其他内亂ノ豫備ヲナシタル者ハ

用意ノ行爲ト罪ヲ犯スノ着手トノ別アリ此ノ條ハ用意ノ行爲ニシテ即チ兵隊ヲ募リ兵器彈藥金穀等ヲ用意シ其ノ外ニテ内亂ノ準備ヲナシタルモノ彼ノ高

知ノ明治十年ノ獄ノ如キ此ノ條下ニ因ル可キモノナリ乎

内亂ノ陰謀ヲ爲シ未タ豫備ニ至ラザル者ハ各二等ヲ減ス

内亂ヲナサント欲シ其ノ事ガ決議シテ既ニ一定スルト虽モ未ダ用意ヲ爲ス迄

ニハ至ラザルモノハ前項ト比シテ一層輕キモノナル故ニ等ヲ本刑ヨリ減スルナリ

第百二十六條 内亂ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲スト虽モ未タ其事ヲ行ハサル前ニ於テ官ニ

自首シタル者ハ本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ監視ニ付ス

内亂ノ企テヲナシ又ハ用意ヲナストモ其ノ事ヲ行ハザル即チ第百二十五條ノ

場合ニテ犯人ガ自首スルトキハ總則第八十八條ノ例ニ照シテ本刑ヲ免ズル

死刑ニ處ス

一 首魁及ヒ

二 謀叛ノ指

三 兵器金穀

ヲ賣給シ

又ハ諸般

ノ職務ヲ

爲シタル

者ハ重禁

獄ニ處シ

其情輕キ

者ハ輕禁

獄ニ處ス

四 教唆ニ從

シテ附和

隨行シ又

ハ指揮ヲ

受ケテ雜

役ニ供シ

タル者ハ

二年以上

五年以下

ノ輕禁

獄ニ處ス

第一篇

トスサレトモ國事犯ハ害ノ社會全体ニ及ボスモノナルユヘ免罪ノ後ト虽トモ

監視ニ付シテ眞實悔悟シタルヤ否ヤヲ觀察スルナリ

第百二十七條 内亂ノ情ヲ知テ犯人ニ豫備所ヲ給テシタル者ハ二年以上五年以下ノ

輕禁錮ニ處ス

未ダ内亂ヲ起サザル前ニ内亂ヲ起ス評議ヲナスタメ其ノ内亂ノ評議タルコト

ヲ知リナガテ家屋ヲ集會所ニ貸シテフルトキハ前數條ノ重罪ト輕罪ニ附從シ

タルモノ、例ヲ以テ論セラレタルモノナルベシ

第百二十八條 内亂ニ從シテ人ノ身體財產ニ對シ内亂ノ目的ニ關セサル重罪輕罪ヲ

犯シタル者ハ通常ノ刑ニ照シ重キニ從テ處斷ス

内亂ヲ起シテ其ノ内亂ノ目的ノタメニ身體財產ニ對シテ害スル罪ヲ犯スモ別

ニ其ノ罪ヲ論スル可キモノニハ非ザレモ内亂ノ勢ヒニ從テ平常ノ痛懲ヲ抱

キ又ハ私慾ノタメニ内亂ノ爲メナラザルニ人ヲ殺傷シ或ハ強姦シ或ハ強盜シ

或ハ放火スル等ノゴトキ罪ヲ犯シタルトキ常事犯ノ重キヲ以テ處斷スルナリ

第二節 外患ニ關スル罪

均シノ國事ノ罪ナレハ内外ノ區別ヲ立テ、示シタルモノナリ外患ニ關スル罪トハ外國ト戰爭ヲナス中我カ國人デアリナガラ却テ外國ヲ助ケテ我カ國安ヲ妨害スルノ重罪輕罪ヲ云フナリ

第二百二十九條 外國ニ與シテ本國ニ抗敵シ又ハ外國ト交戰中同盟國ニ抗敵シ其他本國ニ背叛シテ敵兵ニ附屬シタル者ハ死刑ニ處ス

我方日本國ト外國ト戰爭ヲ開カントシ又ハ戰爭ヲ開キタルトキ外國ニ服從シテ却テ我方本國ナル日本ニ敵對シ又ハ我方國ト同盟セシ國ト他ト戰爭ノ時他ノ國ニ服從シテ同盟ノ國ニ敵對スル如キ又ハ我方國ト外國ト戰爭中本國ヲ捨テ、外國ノ兵ニ附屬スル如キハ我方國ニ對スル義務ヲ捨テ、却テ我國ヲ害スルノ惡ム可キ其ノ害ノ實ニ懼ル可キモノナレハ之レヲ死刑ニ處スルナリ

第三百十條 交戰中敵兵ヲ誘導シテ本國管内ニ入ルシメ若クハ本國及ヒ同盟國ノ都府城塞又ハ兵器彈藥船艦其他軍事ニ關スル土地家屋物件ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑ニ處ス

外國ト本國ト戰爭中外國ノ兵即チ敵兵ヲ誘ヒ込メテ本國ニ入ルニ容易ナラシ

第一篇

メ本國カ同盟國カノ都府ヤ城ヤ塞ヤ兵器彈藥船艦ヤ其ノ外軍ヲナスニ付キテノ土地家屋ヤ物件ヲ敵ノ國即チ外國ニ与ヘル如キアルハ之レヲ死刑ニ處スルナリ

第三百十一條 本國及ヒ同盟國ノ軍情機密ヲ敵國ニ漏泄シ若クハ兵隊屯集ノ要地又ハ道路ノ險夷ヲ敵國ニ通知シタル者ハ無期流刑ニ處ス

敵國ノ間諜ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ之ヲ藏匿シタル者亦同シ

日本國ヤ同盟國ヤト他ノ外國ト戰爭中ニ我國并ニ同盟國ノ軍中ノ事情ヤ機密ナドヲ他ノ外國即チ敵ノ國ニ漏シタルカ又ハ我國并ニ同盟國ノ兵ガ屯スル場處ヤ道路ノ平坦險難ナドヲ他ノ外國即チ敵國ニ通シ知ラス如キアルハ無期ノ流刑ニ處スルナリ

敵國即チ本國ト又ハ同盟國ト戰爭ヲナス其敵國ヨリ間諜即チ探索人ヲ本國又ハ同盟國ニ引キ込メテ探ラシメ或ハ本國又ハ同盟國ヘ藏シ置クモ無期徒刑ニ處ス

第三百十二條 陸海軍ヨリ委任ヲ受ケ物品ヲ供給シ及ヒ工作ヲ為ス者交戰ノ際敵國

大日本刑法注釋 卷一 第三編 兵隊刑 第二篇
二通謀シ又ハ其賂遺ヲ收受シテ命令ニ違背シ軍備ノ缺乏ヲ致シタル時ハ有期流刑ニ處ス

我が國ノ陸軍又ハ海軍ヨリ托サレテ之レヲ受負ヒテ物品ヲ陸海軍ニ供ヘ給スルモノ仮令バ藤田組ヤ大倉組ガ陸軍ノ用達ヲナシテ兵糧ヤ軍服ヲ納ムル如キ又タ陳官ヤ城砦ヤ兵ノ屯所ナドヲ受負フテ建築スルモノ等ガ外國ト戦争スルノ時ニ當リテ敵ノ國ト其ノ謀ヲ通シ又タ敵ノ國ヨリ賄賂ヲ受ケテ故ラニ本國ノ陸軍ヤ海軍ノ指圖ニ背ク即チ陸海軍ヘ納ムベキ約束ノ期ヲ違背シテ其ノ受負物件ヲ納メズ夫レガタメ本國ノ陸海軍ニ缺乏ヲ来タス如キアル時等ハ孰レモ其ノ害ノ大ナルモノナレバ之レヲ有期流刑ニ處スルナリ

第三百三十三條 外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタル者ハ有期流刑ニ處ス其豫備ニ止ル者ハ一等又ハ二等ヲ減ス

外國ニ向テ擅ニ私ニ陸軍又ハ海軍ノ兵ヲ調ヘテ出帥シ戰端ヲ開キタルモノハ條約締盟ノ國ト條約締盟セサル國トニ拘ハラズ仮令ヘ私ニ兵端ヲ開キタル國ヘ本國ヨリ宣戰狀ヲ送ルノ前タリトモ其ノ為ス所ハ全ク本國ノ政府ヲ輕蔑シ

第二篇

テ兵馬ノ權ヲ擅ニスルモノナレハ其ノ罪有テス可カラザルナリ之レ心ハ愛國ナレトモ所行カ政權ヲ犯スモノナレバナリ又タ外國ニ向テ私ニ擅ニ兵端ヲ開クベキ準備ハナスト虽トモ未タ發出セズシテ兵ヲ開カザルモノハ罪ナキガ如ケレトモ本條ノ意ニヨレハ再ヒ社會ノ安寧ヲ防護スルタメニ懲罰スルノ詎合ニテ斯クハ僅カニ一二等ノ罪ヲ減スルニ止ルモノトシタルナラン

第三百三十四條 外國交戰ノ際本國ニ於テ局外中立ヲ布告シタル時其布告ニ違背シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十円以上百円以下ノ罰金ヲ附加ス

外國ト外國ト戦争アリテ本國ニ於テハ之レニ關係ナキトキハ局外中立トテ戦争中ノ二ヶ國ヘハ決シテ其ノ戦争ニ關係アルモノ即チ兵器彈藥船等ヲ賣与ヘ又タ兵ニ入用ノ糧食ナドヲ貸シ付ケルコトハナラヌモノナリ之レ万国ノ公法ニシテ必ス本國ニ於テ之ノ事ヲ布告スルナリ其ノ布告ニ背キ兵器ナドヲ戦争ノ國ニ賣与ヘ糧食ナトチ兵ニ貸与フル等ノコトアルトキハ一方ノ戰國ヨリ怨ヲ受ケ程ニヨリテハ豫隙ヲ生ズルヤモ計リ難ケレハ本條ノ刑ニ處スルナリ

第三百三十五條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上三年以下ノ監視ニ付ス

常事ノ犯ハ其罪輕ケレモ國事ノ犯ハ其ノ罪重ケレバ仮令ヘ常事犯ト國事犯ト同罪ナルモ國事犯ニハ別ニ監視ヲ附加スルヲナリ

第三章 靜謐ヲ害スル罪

政府ガ社會ヲ擾ヤカニ過コサントシ成ルベク平和ニナサントスルモノヲ人
民ニシテ却テ之レヲ破リ社會ヲ害スルモノヲ云フナリ

第一節 兇徒聚衆ノ罪

惡人ガ惡事ヲナスタメ多人數集リ合フテ一揆ヲ起シ世間ヲ騷擾ナサ
シムルヲ云フナリ

第三百三十六條 兇徒多衆ヲ嘯聚シテ暴動ヲ謀リ官吏ノ威諭ヲ受クルト虽モ仍ホ解散セザル者首魁及ヒ教唆者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス附加隨行シタル者ハ二円以上五円以下ノ罰金ニ處ス

惡人ガ多人數寄リ合セ一揆ヲ起シテ乱暴ヲナサント企テ其ノ事ニ及バンド

第一二篇

スルモ官吏ノ説諭ニ服シテ解散シタラハ素ヨリ陰謀ノミニ止ルモノ故其ノ罪
ハナキモノナレモ官吏ノ説諭ヲモ聞キ入レズ解散セスシテ矢張り其ノ場所ニ
止リタルモノハ其ノ罪アリトス夫レ故ニ張本人ヤ愚民ヲ教ヘ唆カシテ煽動シ
タルモノナドハ最モ其ノ罪重キ者ナリ

第三百三十七條 兇徒多衆ヲ嘯聚シテ喧嘩ニ喧鬧シ官吏ニ強逼シ又ハ村市ヲ騷擾シ其
他暴動ヲ為シタル者首魁及ヒ教唆者ハ重懲役ニ處ス其嘯聚ニ應シ煽動シテ勢ヲ助
ケタル者ハ輕懲役ニ處シ其情輕キ者ハ一等ヲ減ス附加隨行シタル者ハ二円以上二
十円以下ノ罰金ニ處ス

惡人ガ多人數集リ合フテ官ノ役場ニ至リテ騷ギ立タノミナラス官吏ニ向テ強
情ヲ張り又ハ村ヤ町ナドヲ騷擾シ其外乱暴ヲナス振舞ノアルモノハ張本ヤ教
ヘ唆カシタル者ハ重懲役ニ處シ其ノ呼ビ聚メニ應メ入ヲ煽動シ乱暴ノ勢ヲ助
ケタルモノハ輕懲役ニ處セラレ、ナリ尚ホ能ク裁判官ガ情ヲ量リ輕キトスル
モノハ一等ヲ減ス

此ノ乱暴ニ附キ隨ヒテ事ヲナセシモノハ一層罪ノ輕キモノトシテ二円以上二

十円以下ノ罰金ニ處セラル、ナリ

第三百二十八條 暴動ノ際人ヲ殺死シ若シハ家屋船倉庫等ヲ燒燬シタル時ハ現ニ手ヲ下シ及ヒ火ヲ放ツ者ヲ死刑ニ處ス

首魁及ヒ教唆者情ヲ知テ制セサル者亦同シ

乱暴ヲナス者二人ヲ殺シタリ家ヤ船ヤ庫ナトヲ燒シ如キコトアルハ乱暴ノ魁及ヒ教唆者ナドニ關セズシテ現ニ手ヲ下シ人ヲ殺シ又タ火ヲ放チテ家ヤ船ヤ庫ナドヲ燒キタルモノヲ正犯トシテ死刑ニ處スルナリ去レハ乱暴ノ張本人ヤ教唆者ガ人ヲ殺シ火ヲ放ツヲ知リナガラ其ノ犯人ヲ制シ止メザルハ正犯ト同シ論ゼラル、ナリ

第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

官吏ガ其ノ職務ヲ執リ行ナフコトヲ人民ガ妨グルノ罪ニシテ此ノ節ハ多人數寄リ集マリテ為スニハ非ラズ多人數寄リ集マリテナスニハ前節ノアルアレバ此ノ節ハ一人一個ニテ官吏ノ職務ヲ行フヲ妨グルヲ云フモノナリ

第三百二十九條 官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ執行シ又ハ行政司法官署ノ命令ヲ執行スルニ當リ暴行脅迫ヲ以テ其官吏ニ抗拒シタル者ハ四月以上四年以下ノ重懲罰ニ處シ五円以上五十円以下ノ罰金ヲ附加ス

暴行脅迫ヲ以テ其官吏ノ為ス可カラサル事件ヲ行ハシメタル者亦同シ

同シ官吏ナレハ職務ニアラザルコトヨリ起ルノ人民ノ抗拒ハタトヘ官吏ヲ毆打創傷ナサシムルハ本條ニ問ハスシテ他ノ條ニ問フトス本條ハ官吏ガ其ノ權限ノ職務ヲ以テ法律規則ヲ執行スル即チ裁判官ガ審判スル如キ稅關ノ官吏ガ荷物ヲ檢査スル如キト而シテ行政官ヤ司法官ナドノ役所ノ命令ヲ執行スル即チ租稅ヲ徵收スル如キ犯人ヲ逮捕スル如キトキニ當リ乱暴シタリ強情ヲ張リタリシテ官吏ニ抗拒スル等ノコトアルハニ處セラル、刑ヲ云ヒシナリ

官吏ガ為ス可カラザルコトヲ乱暴シ強情ニテナサシメタル如キ仮令ハ會同ノ官吏ニ迫リテ出スベカラザル不當ノ金ヲ支給セシメ又ハ獄ノ役人ニ迫リテ刑期ノ未タラザル前ニ囚徒ヲ解放セシメタルモノハ其ノ罪前項ト同シキナリ

第四百十條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ官吏ヲ毆傷シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ

等ヲ加ヘ重キニ徒テ處斷ス

前條ニ載スル官吏ノ職務ヲ執行スルニ抗拒シ又ハ官吏ノ為ス可カラサルヲ
ナサシムルタメ乱暴ヲナシテ官吏ヲ毆打シテ傷ヲ負ハシメタル者ハ通常ノ毆
打創傷ノ刑ニ一等ヲ加フ之レ斯クノ如キ無法ヲ取り押ヘルハ一層ノ骨折レニ
テ而カモ之レニ毆傷セシムルモノハ實ニ官ヲ蔑如スルモノナレバナリ

第四百十一條 官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ形容若クハ言語ヲ以テ侮辱シタル者

ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五円以上五十円以下ノ罰金ヲ附加ス

其目前ニ非スト虽モ履行ノ文書圖畫又ハ公然ノ演説ヲ以テ侮辱シタル者亦同シ

仮令ハ裁判官ガ審問ノ中ニ其ノ裁判官ノ目前ニ於テ原告人又ハ被告人ガ裁判

官ニ向ヒ拳ヲ上ゲテ毆打真似ヲナシ又ハ大音ニテ罵詈侮辱スル如キナアルハ

ハ音ニ其ノ裁判官ノ身ノミナラス政府ヲ蔑如スルニ當レハ斯クハ刑ニ處ス

ルナルベシ去レドモ正當眞直ノ言ヲ以テ裁判官ノ不正ヲ質ス如キハ明文ナ

ケレモ或ハ差問ナキナランガ

右ハ裁判官目前ニ於テスルモノナルガ次項ハ其ノ目前ニ於テセザルモノ即チ

第二一篇

新聞紙著書圖畫ノ類ニテ官吏ノ職務上ヲ譏謗シ侮辱スルモノ又ハ衆耳ニ達
スル如ク公然ト演説シテ罵詈スル如キナアルハ前項ト同ク刑ニ處セラル、
ナリ

此ノ條ハ全ク官吏ガ職務ヲ執行スルニ付キテ其ノ職務上ヲ罵詈侮辱スルモノ
ニテ職務外ノ事ニテ罵詈スルトモ此ノ條ニテ論ズベキモノニハ非ズトス

第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

未決又タハ已決ノ囚人ガ自カラ逃ケ走リ又タハ他人ヲ逃ケ走ラシメ或ヒ

ハ罪人ノ刑ヲ遁レサセンタメ其ノ罪人ヲ藏匿シタルモノヲ罰スルヲ云フ

ナリ

第四百十二條 已決ノ囚徒逃走シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

宣告済ミノ囚人其ノ重罪輕罪違警罪タルヲ問ハズ既ニ其ノ身ノ自由ヲ俾メラ

レタルモノガ看守又ハ護送人等ノ怠ニ乘シ又ハ獄ノ隙キ間ヲ窺フテ逃ケ走リ

タルモノヲ刑スル項ナリ

若シ獄舎獄具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ為シテ逃走シタル者ハ三月以上三年以下ノ

重禁錮ニ處ス

俗ニ牢破リト云フモノニテ獄ヲ破リタリ獄ニ附屬スル道具ヲ毀テ又ハ看守人
ヲ護送人ナドニ向ヒテ乱暴ヲ加ヘタリ強情ヲ張リタリシテ逃ケ走リタルモノ
ハ素ヨリ密カニ逃ケ走リシ者ヨリ罪ノ重キハ論ヲ俟タザルモノニシテ此ノ項
ノ刑ニ處セラル、所以ナリ

第四百二十三條 已決ノ囚徒逃走ノ罪ヲ犯スト虽再犯ヲ以テ論セス其刑期限内再ヒ

逃走シタル者ハ再犯ヲ以テ論ス

一ト度ヒ裁判申渡濟ミトナリタル者ガ前條ノ如ク逃ケ走リテモ其ノ逃ケ走リ
タルハ裁判申渡ノ刑ヲ適レンタメノモノニテ全ク惡事ヲ適レンタメノ惡事ナ
レハ強テ再犯ヲ以テ論ズルニハ及ハザルナリサレ其ノ刑ノ期限内ニ再ヒ逃
ケ走ルニ至ルハ最早惡事ヲ適レンタメノ惡事ヲ以テ逃ケ走リタルモノトス
可カラズ故ラニ起リタル逃走ノ惡事ナレハ之レヲ再犯ヲ以テ論スルハ素ヨリ
ナリトス

第四百二十四條 未決ノ囚徒入監中逃走シタル者第四百二十三條ノ例ニ同シ但原犯ノ罪

第二編

ヲ判決スルハ於テ數罪俱發ノ例ニ照シテ處斷ス

罪アルノ嫌疑ヲ以テ拘留セラレ未ダ裁判ノ申渡ニナラザルモノガ拘留中逃ケ
走リタルトキハ即チ第四百二十二條ナル申渡濟ミノモノガ逃ケ走リタルトキノ
罪ト同シナリ此ノ逃走ノ罪ヲ刑ニ處スルニハ原犯ノ刑ヲ申渡ストキト同時
ニナスコトス故ニ原犯ノ罪ト逃走ノ罪トヲ比較シ數罪俱發ノ例ニ照シテ其ノ
處分ヲナスコトス

第四百二十五條 囚徒三人以上通謀シテ逃走シタル時ハ第四百二十二條ノ例ニ照シ各一等

ヲ加フ

一人罪ヲ犯スヨリハ數人ガ罪ヲ犯カスハ一般社會ニ害ヲ及ヨボスノ大ヒナル
ハ論ヲ俟タザルモノニシテ數人ガ共ニ謀リテ為セシ惡事ニハ其ノ刑ヲ重クス
ル所以ナリ此ノ條モ其ノ理ニ基ツキタルモノニシテ三人以上ガ一ト腹ニナリ
テ逃走スルモノハ第四百二十二條ナル逃走ノ罪ニ一等ヲ加フルコト、ナシタル
ナリ

第四百二十六條 囚徒ヲ逃走セシムル為メ兇器其他ノ器具ヲ給与シ又ハ逃走ノ方法ヲ

引條第百四十二條 已決ノ囚徒逃走シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス 若シ獄舎 獄具ヲ毀壞シ又ハ 暴行脅迫ヲ爲シテ逃走シタル者ハ三月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス 引條第百四十二條 八前條ノ引例ニアリ見合スベシ混雜ヲ恐レテ茲ニ畧ス

指示シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上二十円以下ノ罰金を附加ス因テ囚徒ノ逃走ヲ致シタル時ハ一等ヲ加フ

本條ハ囚徒ヲ逃走セシムルヲ云ヒ前條マテハ囚徒カ自ラ逃走シタルモノヲ云ヒタルナリ本條ハ他人ガ囚徒ニ刃物ヤ其ノ外囚徒ガ逃走スルニ入用ノ道具ヲ手ヘ又ハ如何スレバ逃走スルニ宜シカラシムルヲ云フ囚徒ガ逃走スル仕方ヲ教ヘタルモノヲ罪スルノ法ニテ囚徒ガ自カラ逃走スルヨリハ三倍モ多ク刑セラルハアヤシムベキガ如シト虽トモ全体囚徒ガ自カラ逃走スルハ甚ハダ六ヶ敷ケレト外ヨリ助クルモノアルハ容易ク逃走シ能フコトヲ得ベケレバ斯クハ嚴重ニシテ逃走ヲ豫防シタルモノナラン逃レ得ズメスラ尚ホ囚徒ガ自カラ逃走セシモノニ三倍スル刑ニ處セラル況シテ逃レ得サセタルカラハ一等ヲ加フル然ルベキモノナリ

第四百十七條 囚徒ヲ劫奪シ又ハ暴行脅迫ヲ以テ囚徒ノ逃走ヲ助ケタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五円以上五十円以下ノ罰金を附加ス若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ輕懲役ニ處ス

第二編

看守人ヤ護送者ニ向テ腕力ヲ振ヒ乱暴ヲナシテ他人ガ囚徒ヲ獄舎ヤ又ハ外役ノ途中ナドヨリ奪ヒ取リ又ハ囚徒ノ乱暴シテ逃走スルモノヲ助ケテ逃走スルニ場カラシメタルモノハ其ノ所行タルヤ官ニ對シテ乱暴ナレバ其ノ囚徒カ輕罪以下ノモノヲ逃サシメタルモノハ本條ニ定ムル重禁錮ニ處シ其ノ囚徒カ重罪ナルモノヲ逃サシメタルモノハ輕懲役ニ處セラレベキナリ

第四百十八條 囚徒ヲ看守シ又ハ護送スル者囚徒ヲ逃走セシムルハ亦前條ノ例ニ同シ

囚徒ヲ看守シ又ハ護送スル者ガ已レノ悪心ガ起リタルカ又ハ賄賂ヲ受ケタルカ又ハ其ノ外囑託セラレテ已レガ看守シ又ハ護送スル囚徒ヲ逃走セシムル如キニ至ルトキハ之レヲ通常ニ視做ス可カラズ其ノ故ハ逃走ヲナサシメザルタメノ看守又タハ護送者ニシテ已レノ職務ニ反對スル所為アルハ實ニ惡タム可キノ甚ハダシキモノナレバ之レヲ前條ノ暴行脅迫ノ刑ト一ニスルモ宜ベナルカナ

第四百十九條 前數條ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪

訂條前條ハ別ニ引モ接條ナル故ハ差問ヘザルベシ

ノ例ニ照シテ處斷ス

第四百四十二條ヨリ第四百四十八條マデノ輕罪ヲ犯シタルモノハ一般社會ノ秩序ヲ害フモノナレバ通常ノ輕罪ト同視ス可カラズサレバゴソ通常ノ輕罪ニテハ未遂犯罪ハ刑ニ問ハザレド此ノ輕罪ハ第四百四十二條第四百四十三條ノ未遂犯罪處分ノ例ニ照シテ處分スルタメ此ノ條ヲ設ケタルナラン

第五十條 看守又ハ護送者其懈怠ニ因リ囚徒ノ逃走ヲ覺ラザル時ハ二百元以上三十円以下ノ罰金ニ處ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ三百元以上三百円以下ノ罰金ニ處ス
囚徒ヲ看守シ又ハ護送スルモノガ其ノ身ノ怠リヨリシテ囚徒ガ其ノ怠リヲ見
賺ガシテ逃走シタルモノハ看守人ニ護送者ハ已レノ職分ヲ怠リタルヨリ起リタ
ル不覺ノコトナレハ之レヲ罰セザルヲ得ザルナリ若シモ其ノ囚徒ガ重罪ヲ犯シ
タルモノニシテ逃走シタルモノハ看守又ハ護送者ノ怠リタル罪ハ輕罪以下ノ者
ヲ逃走セシメタル罪ヨリ重キハ勿論ナリ

第五十一條 犯罪人又ハ逃走ノ囚徒及ヒ監視ニ付セラレタル者ナルコトヲ知テ之ヲ

第二篇

藏匿シ若クハ隠避セシメタル者ハ十一日以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ二百元以上二十円以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ一等ヲ加フ

既ニ發覺シテ官ノ手ニ罹リタル罪人ヤ裁判ノ申渡ガ濟ミタルモノニテモ濟マザルモノニテモ獄ニアルモノガ逃走シタルモノヤ監視中ノ者ナドヲ其ノ事情ヲ知りナガラ故ヲニ之レ等ヲ藏シタリ又ハ之レ等ヲ逃シ避ケサシタル者ハ罪人ガ官ニ捕ハル、ヲ遁ル、ノ助ケヲナシタレハ罪ヲ犯シタルモノナリトス此ノ前項ハ輕罪以下ノモノヲ指シ後項ハ重罪ヲ示スモノニテ重罪ノ囚徒ニカ、ル時ナラバ藏匿隠避ノ罪ノ重キハ論ヲ俟タザルナリ

第五十二條 他人ノ罪ヲ免カレシメントテ圖リ其罪証ト為ル可キ物件ヲ隠藏シタル者ハ十一日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ二百元以上三十円以下ノ罰金ヲ附加ス

假令バ茲ニ刀ヲ以テ人ヲ殺シタルモノアリ其ノ殺シタル人ヲ助ケント欲シテ他人ガ其ノ刀ヲ藏シ血ノ染ミタル衣類ヲ衣換サシテ謀殺故殺ノツミヲマヌガレシメントシタルモノハタトヘ裁判ノ時ニ當リ刀ト衣類トガナクトモ裁判ノ差聞

ヘニナラザル場合ニテモ本條ノ刑ニ處セラレベシ

第二百五十三條 前二條ノ罪ヲ犯シタル者犯人ノ親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

人情トシテ已レノ親屬ヲ愛シ已レノ親屬ヲ助ケントスルハ勿論ニシテ道德上ニ於テモ適ル可カラザルモノナリ去レバコソタトヘ前二條ニ觸ル、モノタリ
凡人情ヲ酌シ量リ恩愛孝義ヲ推シテ罪ヲ問ハザルトス

第四節 附加刑ノ執行ヲ適ル、罪

重罪輕罪ニ附キ加ハル刑ヲ執行中ニ其ノ刑ノ権限ヲ破リタルモノヲ刑スルナリ

第二百五十四條 公権ヲ剥奪セラレ又ハ公権ヲ停止セラレタル者私ニ其権ヲ行ヒタル時ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上十円以下ノ罰金ヲ附加ス

終身又ハ期限ヲ定メテ公権ヲ行フヲ止メラレタル者ガ仮令ハ外國ノ勳章ヲ佩ビ又ハ身代限ヲナセシモノ、管財人トナリタル等ノ所為アル時ハ即チ附加ノ刑ヲ破リタルモノナル故ニ本條ニ照シテ刑ニ處セラレ、ナリ

第二百五十五條 監視ニ付セラレタル者其規則ニ違背シタル時ハ十五日以上六月以下

ノ重禁錮ニ處ス

監視ハ刑期ノ満チタル后チニ附加スルモノナル故隨フテ犯スモノモ多カル可シ其ノ監視規則ニ定メタル條件ヲ犯シ届出テ認可ヲ得ズシテ他處へ旅行チナシ酒樓ニ上リテ愉快ヲ極メ其ノ他規則ニ禁ジタルモノヲ破リタル時ハ本條ノ刑ニ處セラレ、ナリ

第二百五十六條 前二條ノ罪ハ其刑期限内再ヒ犯シタル時ニ非サレハ再犯ヲ以テ論ス

ルヲ得ス
剥奪公権停止公権監視等ノ附加刑ヲ破リタルトモ之レニ再犯加重ヲ以テ論ズベカラズ只タ其ノ刑ノ期限内ニ於テ再ヒ犯シタルトモ再犯加重ヲ以テ論スルトス

第五節 私ニ軍用ノ銃砲彈藥ヲ製造シ及ヒ所有スル罪

獵銃ヤ獵銃ノタメニ用ユル彈藥ナドヲ云フニハ非ズシテ陸軍ヤ海軍ニ於テ用ユル處ノモノ即チ軍用銃砲彈藥ハ製造スルヲモナラズ又タ之レヲ擅マ、ニ所有スルヲモナラヌナリ

第五百七十七條 官命ヲ受ケス又ハ官許ヲ得シテ陸海軍ノ用ニ供スル銃砲彈藥其他

破裂質ノ物品ヲ製造シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二十円以上二百

円以下ノ罰金ヲ附加ス其之ヲ輸入シタル者亦同シ

前項ノ物品ヲ私ニ販賣シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十円以上百円

以下ノ罰金ヲ附加ス

政府カラ命ゼラレズ政府ノ許可モ受ケズシテ海軍ヤ陸軍ヤニ用ユル小銃大砲其

ノ彈藥ヤ其ノ外軍用ノ破裂スル性質ナドノ品ハ社會ノ安危ニ大關係ヲ及ボスモ

ノナレバ人民トシテ漫リニ之レヲ製造スルハナラヌナリ之レヲ犯シタルモノ

ハ本條ノ刑ニ處セラル又タ政府カラ命ゼラレズ政府ノ許可モ受ケズシテ之レ等

ノ物品ヲ外國ヨリ内國ヘ輸入シタルモノモ同シ刑ニ處セラレハナリ

前項ノ物品ヲ製造シタリ又ハ外國ヨリ内國ヘ輸入シタリセツトモ其ノ物品ヲ賣

捌キタルモ罪ハアレモ之レヲ製造シタリ輸入シタリスルモノト比ベタランニ

ハ其ノ情輕ケレバ後項ノ如ク刑ヲ輕クセラルハナリ

第五百七十八條 前條ノ罪ヲ犯スト虽モ職工又ハ雇人ニシテ止タ正犯ノ使令ニ供シタ

條二篇

ル者ハ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス

軍用ノ小銃大砲彈藥其ノ他破裂質ノモノヲ製造スルモ發起者ノ指圖ニ應ジテ之

レヲ製造スルノ職人ヤ之レ等ヲ外國ヨリ内國ヘ輸入シ又ハ之レ等ヲ賣捌クタメ

ニ雇ハレタル人々ナドハ孰レモ給料ヲ得ンタメニスルモノニシテ惡事ヲ犯サン

トスルノ故意ニ非ザルモノナレバ正犯即チ主人ノ本刑ヨリ二等ヲ減セラレハナ

リ

第五百七十九條 前二條ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ゲザル者ハ未遂犯罪例ニ照シテ處

断ス

仮令ヘバ軍用ノ小銃大砲彈藥其ノ他破裂質ノモノヲ製造セントシ又ハ外國ヨリ

内國ヘ輸入セントシ又ハ之レ等ノ賣捌キ又ハ指命シタル正犯者ノ指揮ニ從ヒ之

レ等ノ製造ヲ受ケシ職人又ハ輸入シ賣捌クニ付キ雇ヒ入レラレタル者等ニシテ

其ノ為サント欲スルヲ為ス能ハズ中絶シタルモノハ不問ニ措ク如シト虽

モ抑モ國ノ安危ヲ指スベキ罪ナレバ不問ニ措ク能ハズ因テ之レヲ未遂犯罪ノ

例ヲ以テ論ズルトハナシタルナリ

引條第五十七條 官命ヲ受ケス又ハ官許ヲ得スシテ陸海軍ノ用ニ供スル銃砲彈藥其他機發質ノ物品ヲ製造シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二十円以上二百円以下ノ罪金ヲ附加ス其之ヲ輸ハシタル者亦同シ前項ノ物品ヲ私ニ販賣シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十円以上五十円以下ノ罪金ヲ附加ス

第百六十條 第百五十七條ニ記載シタル物品ヲ私ニ所有シタル者ハ二十円以上三十円以下ノ罰金ニ處ス
官ノ許可ヲ得タラバ小銃彈藥其ノ他破裂質ノ物品ヲ所有スルモ差問ヘナケレ氏官ノ許可ヲ得ズシテ私ニ所有スルガ如キハ素ヨリ罪アルモノトス

第百六十一條 第百五十七條ニ記載シタル物品ノ製造ニ供シタル器械ニシテ單ニ其用ニ供ス可キ者ハ何人ノ所有ヲ問ハス之ヲ沒收ス
他ノ物品ヲ製造スルニ兼ネタル銃砲彈藥其ノ他破裂質ノ物品ヲ製造スル器械ハ此ノ條ニ拠ラズト虽凡畜ニ銃砲彈藥其ノ他破裂質ノ物品ヲ製造スルニノ三供ジタル器械ハ如何ノ人ノ所有スルニ關セズ運ベテ之レヲ沒收スルコトス

第六節 往來通信ヲ妨害スル罪
征未ノ道筋ヤ蒸氣車船舶ナドノ便利ヲ妨ゲ又ハ郵便ヤ電信ナドノ通信ヲ妨グルモノヲ刑スルヲ云フナリ

第百六十二條 道路橋梁河溝港埠ヲ損壞シテ往來ヲ妨害シタル者ハ二月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ二十円以上二十円以下ノ罰金ヲ附加ス

道筋ヤ橋ヤ河ヤ溝ヤ港ナドハ人民相互ニ交通シテ生活スルノ件要ナルベキモノナレバコレヲ損ジテ往來交通ノ便ヲ欠ク如キニ至ルハ其ノ罪ハ一人一已ノ便利ヲ欠クモノヲ以テ論ズ可キ類ニ非ザルナリ

第百六十三條 偽計又ハ威力ヲ以テ郵便ヲ妨害シ若クハ之ヲ阻止シタル者ハ亦前條ニ同シ
假令ハ郵便ノ信書類ヲ配達セラル、時ハ甚タ已レニ害アリトシ郵便脚夫ヲ欺クニ此ノ一町向キニハ大水ノタメニ河留メトナリタリトカ此ノ三町向キニハ過日ノ暴風ノタメニ山腹崩レテ通行ヲ止メアリナド、云ヒ又ハ此ノ郵便物ヲ送達スベカラズ若シモ送達セバ脚夫ヲ殺スナド、云ヒ之レガタメニ郵便ヲ妨グルモノハ矢張公益ヲ害スルモノナル故前條ノ如ク刑ニ處スルナリ

第百六十四條 電信ノ器械柱木ヲ損壞シ又ハ條線ヲ切斷シテ電氣ヲ不通ニ致シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五十円以上五十円以下ノ罰金ヲ附加ス
若シ器械柱木條線ヲ損壞シテ電信ノ妨害ヲ為スト虽凡不通ニ至ラサルハ一等ヲ減ス

月以上十年以下ノ重禁錮ニ處シ十円以上五十円以下ノ罪金ヲ附加ス
引條第五十七條 官命ヲ受ケス又ハ官許ヲ得スシテ陸海軍ノ用ニ供スル銃砲彈藥其他機發質ノ物品ヲ製造シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二十円以上二百円以下ノ罪金ヲ附加ス其之ヲ輸ハシタル者亦同シ前項ノ物品ヲ私ニ販賣シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十円以上五十円以下ノ罪金ヲ附加ス

電信ハ何事ニヨラズ最モ神速ヲ要スベキ通信ニシテ之レヲ不通ニ致シタルハ郵便ヲ妨止スルノ害ニ優ル実ニ万々ナリ故ニ郵便ノ妨止ヨリモ重キ罪ナリトス即チ電信局ノ電信器械ヲ損ジ柱木ヲ伐リ條線ヲ断チテソレガタメ電報スルノ能ハザルニ至リシノ罪ナリ斯クスルト虽比其ノ害大ナラズシテ為メニ通信ヲ妨ゲス相交ラズ損壞ノマ、通信スルノ能フモノハ罪ノ一等ヲ減ズルナリ

第六十五條 瀟車ノ往來ヲ妨害スルタメ鐵道及ヒ其標識ヲ損壞シ其他危險ナル障礙ヲ為シタル者ハ重懲役ニ處ス

前二條ニ比スレバ本條ノ罪ヲ最モ重シトス其ノ誤ハ鐵道ヲ毀ツトキハ瀟車ヲ線外ニ陥ラスニイタリ標木ヤ燈ノ損スルトキハ瀟車衝突ノ患ヒアリ鐵道線へ木ノキレヤ石ナドヲ横タヘルキハ瀟車轉覆ノ恐レアリ其ノ線外ニ陥リ衝突シ轉覆スル等ニ至ラバ如何ノ害ヲ表スカモ計リ難ケレバ斯クハ重ク罰スルモノナラン

第六十六條 船舶ノ往來ヲ妨害スル為メ燈臺浮標其ノ他航海ノ安寧ヲ保護スル標識ヲ損壞シ又ハ詐偽ノ標識ヲ點示シタル者ハ亦前條ニ同シ

第二篇

前條ハ瀟車ヲ危フクスルモノヲ刑スルモノニカ、リ本條ハ船舶ヲ危フクスルモノニカ、ル同ジク之レ人ノ往來ヲ安全ニス可キ器具ヲ損ジテ人命ヲ危フクスルモノナレバ其ノ罪ハ一ナリ彼ノ船舶ヲ暗礁ニ觸レサセ淺瀬ニ乗り上げサセテ沈没セシメントシ燈火ヲ偽リ魚シ浮標ヲ偽リ示ス如キ本条ノ燈臺ヤ浮標ヤ其ノ外船舶ノ安全ヲ要スベキモノヲ損シ毀ツ如キ皆ナ之レナリ

第六十七條 前條ニ記載シタル罪其事務ニ關スル官吏及ヒ雇人職工自ラ犯シタル時ハ各本刑ニ照シ一等ヲ加フ

第六十二條ヨリ第六十六條マテニ載セタル道路橋梁郵便電信鐵道燈臺浮標ナドノ事務ヲ取扱フ官吏ヤ雇人ナドヤ職人ナドガ已レノ職務タル夫々ノ事ヲ正直ニハナサズシテ第六十二條ヨリ第六十六條ニ明文スル罪ヲ犯ス時ハ盜罪ニ監守盜ノアルガ如ク一般ノ安全ヲ保ツベキ職務デアリナガラ却テ安全ヲ危フクスルノ舉動ニ至ルモノナレバ凡人ニ比シテ其ノ罪重キモノナリ

第六十八條 第六十二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ殺傷シタル者ハ歐打創傷ノ各本刑ニ照シ重キニ從テ處断ス

訂條第百六十二條
○道路標
橋河溝溝

準ヲ損壞
シテ往來
ヲ妨害シ
タル者ハ
二年以上
三年以下
ノ重禁錮
ニ處シ
以上三
十以下
ノ罰金ヲ
附加ス

道路橋梁河溝港埠ヲ損壞シテ往來ノ便ヲ妨ゲ夫レガ為メ人ヲ死ニ墜ラシメ又ハ傷ヲ負ハスルニ至ルハ素ヨリ啻ニ往來ヲ妨ゲタルノミヲ以テ論ズベカラズ必ズヤ人ヲ殺傷シタルノ刑ニ處ゼズンバアル可カキル而已ナラズ一寸ニ罪俱発ニモ似タルモノナルユヘ常ニ殴打創傷ノ重キヲ以テ論ズルコトス

第六十九條 第六十五條第六十六條ノ罪ヲ犯シテ因テ汽車ヲ顛覆シ又ハ船舶ヲ覆没シタル時ハ無期徒刑ニ處シ人ヲ死ニ致シタル時ハ死刑ニ處ス

道路橋梁河溝港埠等ヲ損壞シタル者ニ人ヲ殺傷ニ至ラシムルモ大抵一個人ヲ害スルモノナレバ汽車ヲ顛覆シ船舶ヲ沈没セシメタルモノハ死傷一人ニ止ラズ概テ數人ヲ害スルニ至ルベケレバ斯クハ刑ヲ重クシテ無期徒刑又ハ死刑ニ處スルナリ

第七十條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

道路橋梁河溝港埠等ヲ損壞シタリ郵便ヲ妨止シタリ電信ヲ不通ニナシ又ハ妨ゲタリ汽車ノ往來ヲ妨ゲタリ船舶ノ往來ヲ妨ゲタリスル罪ヲ犯シ此等ノ罪ノ其ノ

事務ヲ取扱フ官吏ガ犯ス等ノ一アルハ其ノ罪ハ一人一個ノ罪ニ止ラズ公衆ニ關スルコトナルユヘ仮令ヘ未ダ遂ゲスト虽モ之レヲ不問ニ措ク可カラズ因テ未遂犯罪ノ例ヲ以テ論ズルナリ

第七節 人ノ住所ヲ侵ス罪

人民ガ安居シテ樂シク生ヲ送クルモノハ住所ナリ故ニ此ノ如キ人民ノ苦樂ニモ關スル住所ヘ主人ノ許諾ナクシテ漫リニ入ルコトヲナラヌコトヲイフナリ

第七十一條 晝間故ナク人ノ在居シタル家宅又ハ人ノ看守シタル建築物ニ入りタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

人ノ在居スル家屋ヤ塙ナドノ構ヘアル内ヤ役所ヤ神社ヤ佛寺ヤ學校病院製作所ナドノ如キ人ノ守リアル建築物ノ内等ヘ故ナク這入ルモノハ概テ盗人ニ非ズンバ他ニ非ザルベシ故ニ斷リモセズ故モナク入ルモノハ罪科ニ處スルナリ

去レテ罪盜ヲ犯スタメニモ非ズ外ニ惡意アルニモ非ズシテ過テ人ノ住所ニ入り又ハ人ヲ訪フタメニ誤リテ入ル可カラザル構ヘノ内ヘ入ルコトアルモ斯クノ如キ過誤ハ罪ノ問フベキコトナキ乎

若シ左ニ記載シタル所為アル時ハ一等ヲ加フ

一 門戸^{カド}鑿^{ウツ}壁^{カベ}ヲ^テ踰^ル越^ス損^ハ壞^スシ又ハ鎖^{カギ}鑰^{カギ}ヲ^テ開^キテ入^リタル時

門戸ヲ^テ閉^ム鎖^{カギ}シアルオモ願^ヒミズ^テ扉^{カド}壁^{カベ}ナドヲ越^スヘタリ毀^スチタリシテ入^ルカ鎖^{カギ}鑰^{カギ}ヲ^テ毀^ス

チ又ハ開^キキナドシテ入^リタルモノハ尋常ニ入^リタルモノト同一ノモノニ非^ズ之

レ前條ヨリ罪ノ重キ所以トリ

二 兇器其他犯罪ノ用ニ供ス可キ物品ヲ^テ携^ル帶^スシテ入^リタル時

入^ルベカラザル所へ入^ルニ兇器ヲ携^ルフト云ハ^ハ其ノ兇器ハ必ズ人ヲ殺スベキ

モノタルヲ免^レザルベシ又鎖^{カギ}鑰^{カギ}ヲ開^キカンタメ偽^造鑰^{カギ}ヲ携^ルヘ其ノ外戸ヲ破^リ壁ヲ

毀^スツ可キ道具ヲ携^ルフルキハ其ノ惡意前項ト同ジカルベシ

三 暴行ヲ為シテ入^リタル時

人ガ入^ル可カラズト止^ムルオモ聞^キイレズ之レニ^テ拒^ル抗^スシテ拒^ムモノヲ^テ殴^ツ打^ツシ乱

暴^スヲ以テ入^ル如キ固ヨリ^テ脅^スカニ入^リシモノト同日ノ論ニアラズ又夕前項ト同ジ

カルベシ

四 二人以上ニテ入^リタル時

第二篇

二人以上ニテ入^ルハ理ニ於テ前項ノ乱暴ニテ入^ルモノト異ナラザルベシ

第七十二條 夜間^{ヤミ}故^コナク人ノ^ノ住居^{ヂウキョウ}シタル邸宅^{テイタク}又ハ人ノ^ノ看守^{クウシヨウ}シタル建造物^{チゾウブツ}ニ入^リタ

ル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

此ノ條ト前條トハ其ノ所為少シモ異ナラズ只夕晝ト夜トノ別アルノミ夜間人家

ニ入^ルハ実ニ惡ムベキモノニシテ之レヲ防^グクニモ昼間ノ如ク容易ナラザルナリ

サレバコソ夜間ハ人家ニ入^ラントスルモ其ノ主人ガ防^ギ止^ムントシ若シ犯人ヲ

殺傷スルモ罪ナキトスル程ノナリ故ニ昼間ト夜間ト斯クハ罪ニ輕重ノ別ヲ立

テシナリ

若シ前條ニ記載シタル加重ス可キ所為アル時ハ一等ヲ加フ

前條即チ第七十一條ノ第一項ヨリ第四項マデニ^テ列^ス載^スシタル犯罪ヲ夜間ニナシ

タルキハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ一等ヲ加ヘテ一月七日以上一年三月以下

ノ重禁錮ニ處スルナリ

第七十三條 故^コナク皇居^{クワウキョウ}禁^ギ死^シ離^リ宮^{ミヤ}行^ク在所^ノ及ヒ皇陵^{クワウレイ}内^ニ入^リタル者ハ前二條ノ例ニ

照シ各一等ヲ加フ

天皇ノ在スベキ本條ノ各所ヤ皇陵ナドニハ人民ノ擅マ、ニ入ル可キ所ニ非ザルナリ若シモ此ノ禁ヲモ悞ラズ皇權ヲ輕ンジテ昼間又ハ夜間ナリハ第七十一條第七十二條ノ如キ罪ヲ斯クノ如キ場所ニ犯ス時ハ素ヨリ其ノ罪重シ仍テ一等ヲ加フルナリ

第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪

官ヨリ物品ニ帶封又ハ張封ヲナセシモノヲ破リ棄テタル時ハ其ノ罪アルコトヲ示セリ

第七十四條 官署ノ處分ニ因リ特別ニ家屋倉庫其他ノ物件ニ施シタル封印ヲ破棄シタル者ハ二月以上二年以下ノ重懲罰ニ處ス

官署ノ處分ニ因リテ特別ニ家ヤ庫ヤ其ノ外ノ品物ナドヘ封印スルトハ仮令ヘバ大藏省ヤ農商務省ナドヨリ特ニ命ジテ身代限ヲナセシモノ、家庫其ノ外ノ品物ナドヘ封印ヲナシ或ハ裁判所ヨリ犯罪人ノ罪ヲ犯シタルニ付キ引合セトナルベキ書類ナドヘ封印スルノ類ニシテコノ封印ヲ破リ棄テタル時ハ一ハ官ヲ輕蔑シ或ハ大切ノ散乱ス可カラザルモノヲ散乱ナサシムルノ恐レアレバ斯クハ刑ニ處

セラル、ナリ

若シ看守者自ラ犯シタル時ハ一等ヲ加フ

前項ノ如ク行政又ハ裁判上ヨリ家屋倉庫物件書類ナドヘ封印シ之レヲ看守セシメタリシニ其ノ看守スル者ガ其ノ封印ヲ破リ棄ル等ノ事アリトセバ他ノ人ノ爲セシ罪ヨリハ重キ筈ナリ

第七十五條 官ノ封印ヲ破棄シテ其物件ヲ盜取シ又ハ毀壞シタル者ハ盜罪及ヒ毀壞ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

前條ノ如ク官ヨリ封印シタル其ノ封印ヲ破リ棄テ而シテ其ノ封印シタル物品ヲ盜三取り又ハ毀チ損スル如キニ至ル其ノ罪實ニ重キモノナリ之レ官ヨリ封印シタル物件ハ必ずシモ重要ノモノタルベケレバ之レヲ無ニスルハ通常ノ罪ヨリハ重カルベケレバ別ニ設ケシ本條ナケレバ只ダ盜罪又ハ物品ヲ毀壞セシ罪中ノ重キヲ以テ罰スルノニ

第七十六條 看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ其物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルコトヲ覺ラサル時ハ二百元以上二十円以下ノ罰金ニ處ス

官ヨリ封印シタル家屋倉庫其ノ他ノ物件ヲ着守スルモノガ其ノ職務ナル着守ヲ懈リ熟睡スル等ノ如キ一アルヲ見贖シ其ノ官ノ封印アルモノヲ破リ棄テラレ又ハ盜三取ラレ毀タル、等ノ如キ一アル即チ職務ヲ擲チタルノ責メアルヲ免レズ之レ罰金アル所以ナリ

第九節 公務ヲ行フチ拒ム罪

官吏ガ其ノ職務ヲ行フニ當リ其ノ執行ヲ拒ミテ施サシメザルノ罪ヲ云フナリ

第百七十七條 陸海軍ノ將校タル者出兵ヲ要求スル權アル官署ヨリ其要求ヲ受ケ故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五円以上五十円以下ノ罰金ヲ附加ス

假令ヘバ茲ニ或モ叛徒ヲ或モ二場ケタリ因テ其地ノ縣令又ハ其地ノ初審裁判所ノ檢事ヨリ諛地營所ノ司令官又ハ諛地鎮臺司令官ニ出兵ヲ求メタリシニ司令官ハ縣令檢事等ノ要求ニ應ゼズ夫レガタメ叛徒ハ大ニ蔓延シテ如何トモス可カラザルニ至ル如キ一アル時ニ其ノ司令官ヲ刑ニ處スルノ條ナリ海軍ノ司令官ガ出

兵ニ應ゼサル如キモ之ノ類ナリ

第百七十八條 陸海軍ノ徵兵ニ編入セラル可キ者身體ヲ毀傷シテ疾病ヲ作シ其他詐偽ノ所為ヲ以テ免役ヲ圖リタル時ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三十円以上三十円以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ他人ニ囑託シ其氏名ヲ詐稱シ代テ徵募ニ應セシメタル者亦同シ其囑託ヲ受ケテ徵募ニ應シタル者ハ第二百三十一條ノ例ニ照シテ處斷ス

官ノ徵ニ應ジテ軍役ニ服シ内乱外患ニ當ルハ國民タルモノ、義務ニシテ人々競フテ服役セズンバアル可カラズ苟モ日本國民タル者如何デカ此ノ義務ヲ免ル、一ヲ得ンヤ然ルヨ此ノ義務ヲ忘レテ漫リニ徵兵タル一ヲ忌ミ已レノ身体ヘ傷ツク假令バ指ヲ剪リ一眼ヲ傷ツクル等ノ事アル如キ又ハ一ニアラザルヲ聾ナリトシ唾ニアラザルヲ啞ナリトシ在ニアラザルヲ狂ナリトシ病ナラザルニ痲痺スト云フ如キ一ヲ偽リ役ヲ免ゼラレン一ヲ圖ルモノハ其ノ罪ナシト云フ可カラズ之レ國力ヲ弱クシ兵員ヲ減ズルノ憂ヒアレバナリ

茲ニ弱吾ナル者アリ已レノ年齡徵兵ニ相當スルモ服役スル一ヲ忌ミテ強吉ナル

者ニ代理ヲ頼三強吉ヲシテ已レノ名ナル弱吾ヲ稱ヘシメ偽リノ人ガ徵募ニ應ジタル其ノ依頼主ハ身体ヲ傷ケ又ハ詐偽シテ免役ヲ計リタルモノト同ジク論ジ徵募ニ應ジタルモノハ官ニ對シテ詐稱シタルヲ以テ論ゼラレ二四以上二十四以下ノ罰金ニ處セラレハナリ

第七十九條

醫師化學家其他職業ニ因リ官署ヨリ解剖分析又ハ鑑定ヲ命セラレタル者故クシテ之ヲ肯セザル時ハ四四以上四十以下ノ罰金ニ處ス

仮令バ毒殺セラレタル屍アリ之ヲ解剖シテ能ク其ノ如何ヲ知ラント欲シ裁判所ヨリ醫師ヲ呼出シタル如キ金屬ヲ分析シテ其ノ質分ヲ知ラント欲シ裁判所ヨリ化學家ヲ呼出シタル如キ印影ノ鑑定ヲナサシメシメ行政ノ役場ヨリ鑑定ヲ呼出シタル如キ種紙ノ良否ヲ鑑定ナサシメシメ行政ノ役場ヨリ鑑定ヲ呼出シタル時ノ如キ其ノ醫師化學家彫刺師蠶商等ガ呼出シニ應ゼザルハ大ニ裁判上ノ障ヲ未タシ又ハ行政ヲ妨ゲヲナスモノナルユヘ之レヲ罰セツバナラスナリ

第八十條

裁判所ヨリ證人トシテ証人トシテ陳述スルコトヲ命セラレタル者故クシテ之ヲ肯セザル時ハ亦前條ニ同シ

裁判ヲ鄭重ニセント欲セバ相成ル可ク証人ヲ立ルヲ要トスベキナリ故ニ裁判所ヨリ或ル公事ニ付キ証人トナル可キモノヲ呼出シテ其ノ事實ヲ具陳セシメントスルニ其ノ呼出サレタル者病氣ナルカ又タ止三難キ事故等モアラズシテ其ノ呼出ニ應ゼザルハ裁判上大ニ滞滯スルノ恐れアレバ之レヲ前條ト同ジク罰スルナリ

第八十一條

傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消毒ノ方法ヲ陳述スルコトヲ命セラレタル者故クシテ之ヲ肯セザル時ハ五五以上五十以下ノ罰金ニ處ス

世ニ流行病ホド恐ルベキモノハ非ザルナリ其ノ熾ンナルヤ一時間ニ數百人ノ命ヲ墜スニ至ル於是乎流行病ノ時又ハ流行病ノ人ガ乗組ズヤト疑アル船舶ガ他所ヨリ入港セシキニ官ハ醫師ニ命ジテ病人ノ検査ヲナサシメ又ハ流行病ヲ消シ滅ボスノ仕方ヲ尋ヌルニ何ノ事故モナクシテ病人ヲ検査セズ又ハ消毒ノ仕方ヲ陳ベザル如キハ此ノ危フキ時ニ當リ甚ダシキ障礙ヲナシ流行病ノ蔓延スル恐れアレバ前二條ノ刑ヨリ重ク處スルナリ

獸ハ智モナク心モナキモノナル故一トタセ流行スルニ至ルハ數獸之レニ傳染スルハ論ヲ俟タザルナリサレバ一時モ早ク之レヲ撲滅セズンバアラズ然ルヲ獸醫ニシテ官ノ指圖ニ應ゼル罪ノ免ル可キモノナシトス去レ氏前項ヨリハ一等ヲ減ズルモノハ獸ノ命ハ人間ノ命ト比シテ輕キヲ論ヲ俟タザレバナリ

第四章 信用ヲ害スル罪

信用ホト大切ナルモノハナシ一トタビ信用ヲ失ハハ秩序紊亂シテ收拾ス可カラザルニ至ル其ノ中ニ就テ詐偽ヲ以テ最モ甚ダシトス其ノ大切ナル信用ヲ害スルヲ防ガント欲シコノ章ノ刑ヲ設ケタリ

第一節 貨幣ヲ偽造スル罪

今茲ニ貨幣ト書スルモノハ全ク正貨即チ金銀銅ト紙幣トヲ併稱セシ者ナリ其ノ正貨紙幣ヲ贋セ造ル罪ヲ示ス以下貨幣ト云ハ正貨紙幣ヲ併稱セシ者ト知レ故ニ別ニ註釈セズ

第八十二條 内國通用ノ金銀貨及ヒ紙幣ヲ偽造シテ行使シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第二篇

若シ變造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

貨幣ハ貿易ノ媒介ヲナシ供給需要ヲ自在ナラシムルモノナレバ信用ヲ害スル之レヲ正シクセザルニ如クモノナキナリ故ニ我が日本國ニ於テ通用スベキ貨幣ヲ偽リ造リ之レヲ日本國ノ寶貨ナリトテ通用ナサシムルニ至ノ罪實ニ重クシテ無期ノ徒刑ニ處スル所以ナリ

金銀貨ノ量目ヲ減ジタリ増シタリシテ眞ノ品ヲ偽テ交造シ紙幣ノ五円トアル文字ヲ十円ト交シ其ノ他彩色紋等ヲ交ジタルモノハ偽造シタルモノニ比スレバ大ニ輕シトス之レ眞貨ノ形体ヲ存シアレバナリ

第八十三條 内國ニ於テ通用スル外國ノ金銀貨ヲ偽造シテ行使シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ二年以上五年以下ノ重懲罰ニ處ス

英國ノ貨幣ポンドシルリングノ如キ外國ノ貨幣ドルラルノ如キ外國ノ貨幣ナルトモ我が日本國內ニテ通用スル貨幣ナラバ之レヲ偽造スル彼我同一ノ刑ニ處ス

ベキニ似タリト雖凡我カ國ノ宝貨ト外國ノ宝貨ハ我ヨリ之レヲ論ズル又々輕重ノ差等ナカル可カラズ之レ実ニ外國貨幣ヲ偽造スル罪ノ輕キ所以ナルカ其ノ量目ヲ變ゼシ如キ罪モ隨フテ輕キハ然ルベキナレベシ

第百八十四條 官許ヲ得テ發行スル銀行ノ紙幣ヲ偽造シ若クハ變造シテ行使シタル者ハ内外國ノ區別ニ從ヒ前二條ノ例ニ照シテ處斷ス

淺ク之レヲ考フレバ銀行紙幣ハ人民即チ銀行主ノ發行セシモノナレバ之レヲ官ニ發行スル紙幣ト均シク論ズ可カラザルベキガ如シト雖凡深ク之レヲ考フレバ決シテ然ラズ既ニ官ノ之レヲ發行スルヲ許シ大藏卿ノ役印ヲ押捺シ全國ニ布告シテ其ノ通用ヲ官ノ紙幣ト同一ニナサシメタルモノナレバ其ノ信用ノ如何ニ至リテモ少シモ異ナルヲアルベカラザル誤合ナレバ前二條ニ照シテ夫々刑ニ處スルモ尚ホ然リトス

第百八十五條 内國通用ノ銅貨ヲ偽造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス若シ變造シテ行使シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

銅貨ヲ金銀貨幣ニ紙幣ト區別スルハ大ニ疑フ可キガ如ケレモハ是レ之レ

ヲ偽造スルモ社會ニ害ヲ及ホスヲ大ニ少ナク又ハ偽造スルモノモ從フテ少ナケレバ茲ニ刑ヲ輕クシタルナリ銅貨ノ面ヲ變ジテ一錢ヲ二錢トスルモノ等モ從フテ輕ク罰スルトセリ

茲ニ外國ノ銅貨ノ一ヲ明文セザルモノハ外國ノ銅貨ハ内國ノ通用的ニ非ザレバナリ

第百八十六條 前數條ニ記載シタル貨幣ノ偽造變造已ニ成テ未タ行使セサル者ハ各本刑ニ照シ一等ヲ減シ其未タ成ラサル者ハ二等ヲ減ス

若シ偽造ノ器械ヲ豫備シテ未タ着手セサル者ハ各三等ヲ減ス

第百八十二條ヨリ第百八十五條マデニ記載シタル貨幣ヲ偽造シ變化シタル者貨幣ヲ偽造シテ出表上ルト虽凡使用セザルモノカ又ハ偽造ガ出表上ラザルカ偽造スベキ器械ヲ整ヘテ凡手ヲ着ケザルモノ等ハ夫々減等スルナリ其ノ法ハ

第百八十二條ナル内國ノ貨幣ヲ偽造シテ出表上ルト虽凡行使セザルモノハ有刑徒刑ニ處シ偽造ノ出表上ラザルモノハ重懲役ニ處シ未タ着手セザルモノハ輕懲役ニ處ス變造シテ出表上ルト虽凡行使セザルモノハ二年以上五年以下ノ重禁錮

二處シ変造ノ出来上ラザルモノハ一年六月以上三年九月以下ノ重禁錮ニ處スルノ類ナリ以下畧ス

第八十七條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知テ雇ヲ受ケタル職工ハ前數條ニ記載シタル犯人ノ受ク可キ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

若シ職工ノ神助ヲナシテ雜役ニ供シタル者ハ職工ノ刑ニ照シ一等又ハ二等ヲ減ス
雇主ガ貨幣ヲ偽造シタリ又造シタリスルヲ知リナガラ之レニ雇ハレテ偽造シタリ又造シタリスル仕事ヲナスモノハ給料ノタメニスルモノニシテ偽造又ハ変造ノ發意シタルモノニ非ザレバ罪アリト虽モ輕シトス尚ホ其ノ職人ノ仕事ヲ助ケタルモノハ罪ノ輕キモノナリ其ノ輕減ノ例ハ令一々茲ニ載セズ

第八十八條 貨幣ヲ偽造變造スル情ヲ知テ房屋ヲ給与シタル者ハ偽造變造ノ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス

貨幣ヲ偽造シタリスルタメ又ハ夫レガ為メタルヲ知リナガラ夫レ等ノ人ニ家ヲ貸シ与ヘタルモノハ所謂偽造變造ノ手傳ヲナシタルモノナレバ罪アリトス即チ第八十二條ヨリ第八十六條ニテ夫々ノ刑ヨリ二等ヲ減シタル刑ニ處セ

第二篇

ラレナリ

第八十九條 偽造變造ノ貨幣ヲ内國ニ輸入シタル者ハ偽造變造ノ刑ニ同シ

外國ノ貨幣ニシテ内國ニテ通用スベキモノヲ外國ニテ偽造變造シタルモノヲ内國ニ輸入シタルモノハ已レ自ラ偽造變造シタルト社會ヲ害スルハ異ナラザレハ第八十二條ヨリ第八十四條ニテ刑ト同ジトス

第九十條 偽造變造ノ情ヲ知テ其貨幣ヲ收受シ之ヲ行使シタル者ハ偽造變造シテ行使シタル者ノ刑ニ照シ各二等ヲ減ス

其未タ行使セサル者ハ各三等ヲ減ス
偽造シ變造セズト虽モ其ノ偽造貨幣又ハ變造貨幣タルヲ知リナガラ之レヲ眞實同様ニ受取リテ之レヲ使用シタルモノハ罪ナシトス可カラズ之レ偽造又ハ變造セシモノ、刑ヨリ二等ヲ減スルノ刑ニ處セラレ、訊合ナリサレモ之レヲ受取リタルノ三ニシテ之レヲ使用セザルモノハ尚ホ一等ヲ減ズルナリ

第九十一條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第百八十二條ヨリ第百九十條ニテノ中ニ輕罪ノ刑ニ處セラレタルモノタリ
再犯ヲ防ガンタメニ監視ニ付スルナリ此ノ監視ハ主刑宣告ノ時ニ共ニ宣告スル
ナリ

第百九十二條 貨幣ヲ偽造變造シ及ヒ輸入取受シタル者未タ行使セサル前ニ於テ官
ニ自首シタル時ハ本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ監視ニ付ス
若シ職工雜役及ヒ房屋ヲ給与シタル者未タ行使セサル前ニ於テ自首シタル時ハ本
刑ヲ免ス

貨幣ヲ偽造シ又ハ變造シ又ハ輸入シ又ハ受取りタルト虽モ之レヲ使用セザル前
ニ本犯大ニ悔悟シテ官ニ自首スルキハ前數條ヲ刑ヲ免ズルナリ之レ未タ世ノ信
用ヲ害セズ社會ノ公益ヲ損ゼヌ故ナリサレモ本犯ハ一ト度ビ惡意ノ出デシモノ
ナルカラハ再犯ヲ豫防スルタメ監視ニ付ス

若シ職人ヤ其ノ外種々ノ雜務ニ使ハレタルモノ又ハ家ヲ貸シタルモノ等ガ不正
貨幣ヲ使用セザル前ニ自首スルキハ渾テ罪ヲ免ジ監視ニモ付セザルナリ之レ職
人ヤ雜役人ヤ家ヲ貸シタルモノ等ハ己レ給料ヲ得ンタメニセシモノニシテ故テ

第二篇

ニ惡意アリテセシモノニ非ザレバ世ノ信用ヲ害セズ社會ノ公益ヲ損ゼヌサレバ
渾テ罪ノ問フベキモノナケレバナリ

第百九十三條 貨幣ヲ取受スルノ後ニ於テ偽造又ハ變造ナルコトヲ知リ之ヲ行使シタ
ル者ハ其價額ニ倍ノ罰金ニ處ス但其罰金ハ二円以下ニ降スコトヲ得ス

初メ貨幣ヲ受取ル時ニ能ク其ノ偽造又ハ變造ナルコトヲ知リシ者ヲ處分スルハ第
百九十條ノ明文ニヨルベシト虽モ初メ貨幣ヲ受取ル時ニハ眞ノ貨幣ナリト思ヒ
シニ受取リシ後ニテ其ノ偽造又ハ變造ナルコトヲ知り乍ラ官ニ申出デモセズ竊カ
ニ之レヲ使用スルキハ矢張り信用ヲ害スルモノナルユヘニ斯クハ倍加ノ罰金ニ
處セラレタリ

二円以下ニ降スコトヲ得ズトハ則チ罰金ナルモノハ二円以下ニ降ルコト能ハサレバ
ナリ

第二節 官印ヲ偽造スル罪

官印トハ只官ニ備フル役場印ノミヲ云フニ非ズ御璽國璽各縣廳ノ印差ニ
号印紙界紙郵便切手ナドヲ惣括セシモノニシテ之レ等ノ印ヲ偽造スルモノヲ

罰スルヲ云フ

第九十四條 御璽御璽ヲ偽造シ又ハ其偽璽ヲ使用シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

御璽トハ天皇ノ御印ニシテ國璽トハ大日本帝國ノ印ナリ御璽ハ勅任官等ノ辭令書等ニ用ヒ國璽ハ勅章外國交際ノ件公使委任狀等ニ用ユルモノニシテ最貴尊嚴ナル印章ナリトス其ノ之レヲ偽造シ其ノ偽造ナル璽ヲ大切ナルモノニ用ユル

アル如キハ実ニ宝貨ヲ偽造シタルモノト異ナラザルナリ苟モ日本國民タル者如何デカ此ノ璽ヲ偽造シ又ハ捺用シテ可ナリトスルヤ之レヲ藏刑ニ處スル亦々宜ベナル哉

第九十五條 各官署ノ印ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ重懲役ニ處ス

各官署トハ上ハ大政官ヲ始メ下ハ郡區役所ニ至ルマデノ渾テノ役場ヲ云フモノニシテ之レ等役場ノ正印ヲ偽造シタリ又ハ其ノ偽造印ヲ用ユル者ヲ罰スル條ナリ然レニ大政官ノ印ヲ偽造スルモノト郡區役所ノ印ヲ偽造スルモノトハ大ニ輕重アル可キガ如クニ思ハルレ決シテ然レモノニ非ズ假令ハ官ニ上下アリ世上一般ノ信用上ヨリ論スルキハ孰レノ印モ異ナルコトアラザレバ斯ク一様ニナシ

タルナリ

第二篇

第九十六條 產物商品等ニ押用スル官ノ記号印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ輕懲役ニ處ス

書籍什物蓋押用スル官ノ記号印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ重懲役ニ處ス

前條ノ官印ハ官ノ正印ヲ云ヒ本條ノ官印ト云フハ產物商品又ハ書籍什物等ニ押用スルタメニ特ニ設ケタル印章又ハ檢印ヲ云フナリ諸陸海產物品諸商品即チ諸軍人民所持ノ銃砲度量衡ナドノ類へ官ヨリ檢印スルモノヲ偽造シ又ハ之レヲ以テ偽檢印トナスモノハ官ノ正印ヲ偽造スルモノニ比スレバ其ノ罪輕シト虽氏又々世信ヲ害フモノナリトス又々官ノ書物ヤ品物ナドへノ押印ヲ偽造シタリ其ノ偽造ノ印ヲ用ヒタリスルモノハ一般ノ世信ヲ害フコト少キモノナルユヘ尚ホ其ノ罪ハ輕キトス

第九十七條 御璽國璽官印記号印章ノ影蹟ヲ盗用シタル者ハ前數條ニ記載シタル偽造ノ刑ニ照シ各一等于減ス

若シ監守者自ら犯シタル時ハ偽造ノ刑ニ同シ

第百九十四條ヨリ第百九十六條マデノ諸印章ヲ盜三出シテ窃カニ押シ用ヒタルモノハ之レヲ造リタルモノヨリハ其ノ害少ナケレバ其ノ罪モ輕シトス去レテ諸印章ヲ守ルベキ職務ノモノガ已レ自ラ已レガ守ル處ノ印章ヲ取出シテ之レヲ押シ用ユル如キハ殊ニ容易キモノニシテ実ニ自在ナリ殆ント偽造シテ自在ニ押用スルニ近シ故ニ偽造ノ刑ト同ジクシタルナリ

第百九十八條 官ヨリ發行スル各種ノ印紙界紙及ヒ郵便切手ヲ偽造變造シ又ハ其情ヲ知テ之ヲ使用シタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五円以上五十円以下ノ罰金ヲ附加ス

証券印紙^{カキ}草印紙^{カキ}毒藥^{カキ}劇藥^{カキ}印紙^{カキ}領曆^{カキ}印紙^{カキ}等ノ印紙ヤ訴訟^{カキ}用紙^{カキ}証券^{カキ}界紙^{カキ}等ノ如キ界紙ヤ郵便切手ナドハ印章^{カキ}ト云フニハ非ザレテ又タ官印^{カキ}ニ類スルモノナリ故ニ之レ等ヲ偽造變造シタルモノ又ハ其ノ偽造變造タルヲ知リナガラ之レヲ使用シタルモノ等ハ夫々罪アルヲ適ル、^{カキ}能ハザルナリ

第百九十九條 已ニ貼用シタル各種ノ印紙及ヒ郵便切手ヲ再ヒ貼用シタル者ハ二円

第二篇

以上二十円以下ノ罰金ニ處ス

仮令バ証券印紙ノ一度ヒ貼用シタルモノヲ剥キ取リテ再ヒ貼用シ最前ノ消印^{カキ}ノ上ニ消印スル如キ郵便切手ヲ剥キ取リ消印ヲ洗ヒ落シ再ヒ貼用スル如キノ類ニシテ其ノ所爲タルヤ影蹟ヲ盜三用ユルモノト同ジカルベキナリ

第二百條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ゲサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

仮令ハ輕罪ヲ未タ遂ゲザルモノト虽モ世ノ信用ヲ害スル者ハ不問ニ措ク可カラズ之レ未遂犯罪ノ例ニヨリテ其ノ罪ヲ論ズ可キナリ

第二百一條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

世ノ公益ヲ害シ社會ノ信用ヲ損ヒ夫レガタメ刑ニ處セラレタルモノハ一人一已ノ害ヲナセシモノト同日ニ論ズベカラズ之レ其ノ主刑滿期ノ後ト虽モ監視ニ付シテ再犯ヲ戒ムル所以ナリ

第三節 官ノ文書ヲ偽造スル罪

詔書諸布達類官ノ任便文書公債証書地券又ハ帳簿等ノ如キモノヲ偽造シタル

モノ、罪ヲ示スナリ

第二百二條 詔書ヲ偽造シ又ハ増減交換シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

其詔書ヲ毀棄シタル者亦同シ

天皇ノ詔ヲ認メタル書ハ我が日本國ノ文書中最貴重ノモノタルハ論ヲ俟タザル
モノナレバ之レヲ偽造スル其ノ罪輕キニ非ズ又々詔書ノ文面ヲ変ジタリ又ハ増
シタリ減シタリシテ原文ヲ変スルモノモ亦タ偽造スルト異ナラズ

天皇ノ詔書ノ一部又ハ全部ヲ毀テ棄テル如キ舉動アルキハ上ヲ輕蔑シト意ノ通
スルコトヲ妨クルノ罪アレバ偽造又ハ増減交換ノ罪ト異ナラザルナリ

第二百三條 官ノ文書ヲ偽造シ又ハ増減交換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

其官ノ文書ヲ毀棄シタル者亦同シ

上ハ太政官ヨリ下ハ郡區役所ニ至ルマテ渾テ官ノ名ヲ有スルモノ、文書ナリト
テ之レヲ偽造シ人心ヲ激動セシメ兵ヲ動カシメ政府ヲ撓セシメ又ハ官ヨリ発
スル文書ノ文面ヲ變造シテ官ノ主旨ヲ變ズル如キ文書ヲ作り之レヲ発行スルモ

ノハ素ヨリ罪アレレ之レヲ造ルト虽モ未ダ発行セザレバ社會ニ害ヲ及ボサズル
モノナルコトヘ罪ノ問フ可キモノナシトス

官ノ文書ヲ毀テ棄ルハ其ノ文書ハ何カ已レニ害アルモノナル故ニ公行ス可カラ
ズトスルヨリ起リシモノナル可ケレバ其ノ情ニ於テ前項ト異ナラズトス

第二百四條 公債証書地券其他官吏ノ公證シタル文書ヲ偽造シ又ハ増減交換シテ行

使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

若シ無記名ノ公債証書ニ係ル時ハ一等ヲ加フ

諸種ノ公債証書地券又ハ地所書入質入建物書入又ハ賣買等ノ如キモノヘ戸長ノ
証印アルモノ、如キ渾テ官ヨリ証授タルベキコトヲ記シタルモノヲ偽造シ又ハ之
レヲ増減シ交換シテ之レヲ使用スルキハ人民所用權ノ信ヲ失スルモノニシテ素
ヨリ其ノ罪アリトスサレレ之レヲ使用セザルヨリハ世信ヲ失セザルモノナル故
罪ノ問フベキモノナキ筈ナリ

何故ニ無記名ノ公債証書ハ斯クモ貴キモノナルカト云フニ彼ノ起業公債証書ノ
如ク所有主ノ姓名ヲ記入セザルコトヘ其ノ性質殆ンド紙幣ニ類スルヨリセシモノ

ナルベシ

第二百五十五條 官吏其管掌ニ係ル文書ヲ偽造シ又ハ増減交換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

其文書ヲ毀棄シタル者亦同シ

仮令バ大藏省ノ官吏ガ公債証書ヲ偽造シ又ハ増減交換シテ之レヲ使用シ府縣ノ官吏ガ地券ヲ偽造シ又ハ増減交換シ戸長ガ地所建物ノ質入書入ヲ偽造スルガ如ク已レノ職務ニテナスベキヲ偽造シ増減交換スル如キハ其ノ罪タル殆ンド看守盜ニ似タルモノナレバ第二百三條第二百四條ノ罪ヨリハ一等ヲ加ヘテ重クセリ文書ヲ毀チ棄ル如キハ其ノ職ヲ破リ其ノ職ニ戻ル上ニ世信ヲ害フモノナルユヘニ又タ凡人ノ刑ニ一等ヲ加ヘシナリ

第二百六條 官ノ文書ヲ偽造スルニ因テ官印ヲ偽造シ又ハ盜用シタル者ハ偽造官印ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第二百二條ヨリ第二百五條マデニ記載スル如ク官ノ文書ヲ偽造スル片ニ當リ其ノ偽造スルタメニ官ノ印ヲ偽造シ又ハ盜ミテ用ヒタルモノハ本節ノ刑ニヨラス

第二篇

シテ偽造官印ヲ以テ論ゼラレ各々其ノ條々ヲ明文ニ從フテ處斷スルナリ

第二百七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減輕ニ因テ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

前節偽造官印ニ於ケル如ク本節偽造官文ニ於テモ亦タ輕罪ニ監視ヲ付スルナリ

第四節 私印私書ヲ偽造スル罪 人民ニ於テ私ノ実印ヲ偽造シ私ノ証書類ヲ偽造スルノ罪ニシテ所謂冒書判

第二百八條 他人ノ私印ヲ偽造シテ使用シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五円以上五十円以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ他人ノ印影ヲ盜用シタル者ハ一等ヲ減ス 渾テ人民ガ実印ヲ押捺スルハ確實堅固ヲ示スタメノモノニシテ文書ノ如キモ必

ズ後日ノ証タルコトヲ示スモノナリ斯クノ如ク民間ノ信ヲ措クベキモノヲ偽造シテ之レヲ用ユル如キ所謂冒書判ハ其ノ害ヲ及ボス殊ニ大ナルモノニシテ甚ダ惡ムベキモノナリトササレ氏冒書判シテモ之レヲ用ヒザルヨリハ罪ヲ問ハザ

ルナリ

他人ノ実印ヲ盗三出シテ押捺スル如キハ偽造シテ押捺スルモノニ比スレバ其ノ罪少シク輕キナリ

第二百九條 為替手形其他裏書ヲ以テ賣買ス可キ証書若クハ金額ト交換ス可キ約定手形ヲ偽造シ又ハ増減変換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

其手形証書ニ詐偽ノ裏書ヲ為シテ行使シタル者亦同シ

本條ハ專ラ商業ノ証書類ヲ云フモノニシテ銀行手形振出手形小切手代金取立手形等ノ如ク人民互ニ融通スベキモノヲ偽造シタリ又ハ真物ノ金額ナドヲ書換ヘナドシテ之レヲ融通シタルモノハ世信ヲ害シ已レノ利ヲ圖ル如キ其ノ罪輕キニ非ザルナリ

又タ右等ノ手形ヤ証書ナドニ裏書ナスニ詐リヲ以テシコノ偽リノ裏書ノタメニ融通ヲナシタルモノハ其ノ罪前項ト同ジキナリ

第二百十條 賣買貸借贈遺交換其他權利義務ニ關スル証書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ四円以上四十円以下ノ罰金ヲ

第二篇

附加ス

其餘ノ私書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上二十円以下ノ罰金ヲ附加ス

前條ハ商業上ニ關スル手形証書類ノ一ヲ示メシ本條ハ通常人民相互ノ賣買ヤ貸借ヤ贈遺ヤ交換ヤ其ノ外ニテモ人民ノ權利ト義務トニ關スルベキ証書即チ動産不動産ノ賣買証文遺物ノ証文家屋地所ノ貸借約定証文委任状ナドノゴトキモノヲ偽リ造リ文面ヲ増加シ又ハ削除シ又ハ文面ヲ変シナドシテ其ノ証書類ヲ以テ使用シタルモノハ人民ノ權利義務ヲ障礙スルモノナレバ之レヲ刑ニ處スルナリ

其ノ餘ノ私書トハ私状ヤ受取書ナドノ事ニシテ前項ニ比スル中ハ少シク其ノ罪ヲ輕クス

第二百十一條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處断ス

偽造私書ハ人間相互間ノ信ヲ失スルノ甚ダシキモノナレバ未遂ケザルモノト虽

凡不問ニ措ク可カラス未遂犯罪ノ例ニ照シテ罪ニ問フ可キモノトス

第二百十二條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

前條ノ註釈ノ如クナルヲ以テ輕罪ノ刑期滿限后ニ監視ニ付スルナリ

第五節 免狀鑑札及ヒ疾病証書ヲ偽造スル罪

免狀トハ版權免許狀銃獵免狀官立學校卒業免狀醫術開業免狀米商會所開業免狀等ノ如キモノヲ云ヒ鑑札トハ酒造營業免許鑑札烟草鋪小賣營業鑑札賣藥營業鑑札准優鑑札娼妓鑑札等ノモノヲ云ヒ疾病証書トハ醫師ノ診斷書傳染病全快証書等ノ如キモノヲ云フ之レ等ノモノヲ偽造スルノ罪ヲ云フナリ

第二百十三條 官ノ免狀又ハ鑑札ヲ偽造シテ行使シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四円以上四十円以下ノ罰金ヲ附加ス但官印ヲ偽造シ又ハ盜用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照シテ處斷ス

官ノ免狀又ハ鑑札ヲ偽造スルモノハ多クハ之レ鑑札料手數料等ノ官ニ納ムルコトヲ厭ヒ之レヲ避ケレガタメニスルモノナリ假令ハ巴藪醫者ガ醫術開業免狀ヲ偽

第三篇

造シテ已レ開業醫トテ病者ヲ診察スル如キ遊藝鑑札ヲ偽造シテ軍書講紙ヲ公然興行スル如キ皆ナ官ヲ輕蔑シテ之レヲ欺罔スルモノナレバ其ノ罪重シト虽トモ官ノ印ヲ偽造シ又ハ盜用シテ之ノ罪ヲ犯ス一ナクンバ其ノ罪輕ク又タ免狀鑑札ヲ偽造スルト虽凡之レヲ使用セズバ其ノ罪ナキモノトス然リト虽凡免狀鑑札ヲ偽造スルガタメニ官印ヲ偽造シ又ハ盜用スル如キニ至ルハ其ノ罪輕キニ非ズ必ズ官印ヲ偽造シ又ハ盜用スル者ヲ刑スル條下ニ就テ處スベキナリ

第二百十四條 凡籍身分姓名ヲ詐稱シ其他詐偽ノ所為ヲ以テ免狀鑑札ヲ受ケタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上二十円以下ノ罰金ヲ附加ス

官吏情ヲ知テ其免狀鑑札ヲ下付シタル者ハ一等ヲ加フ
已レノ姓名ヲ変シ身分任所ナドヲ変ジテ官ヲ詐リ又ハ其ノ外種々ノ巧ミヲ以テ官ヲ詐リ夫レ故ニ官ヨリ免狀鑑札ヲ下附セラレタルモノハ官ヲ欺クノ罪大ナレ凡前條ノ偽造ニ比スルキハ其ノ輕キ一論ヲ俟タズ然レ凡此ノ免狀鑑札ヲ下ゲ渡スベキ官吏ニシテ其ノ詐稱タルハ知リナガラ詐稱タルコトヲ責メズシテ免狀鑑札ヲ下渡ス中ハ其ノ罪素ヨリ詐稱シタルモノヨリ重キ筈ナリ

第二百十五條 公務ヲ免ル可キ為メ醫師ノ氏名ヲ用ヒ疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者ハ自己ノ為メニシ他人ノ為メニスルヲ令タヌ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三円以上三十円以下ノ罰金ヲ附加ス

醫師囑託ヲ受ケテ其詐偽ノ證書ヲ造リタル者ハ一等ヲ加フ

假令バ証拠人トナサントシテ裁判所ヨリ呼出シタルニ已レ裁判所ニ出頭スルヲ忌ミテ故ラニ醫師ノ診斷書ヲ偽造シテ其ノ義務ヲ免レタルモノハ其ノ情免ス可カラザルナリサレモ醫師ノ診斷書ヲ偽造シテ之レヲ裁判所ニ出サレバ其ノ罪ヲ問フ可キモノニ非ズトス

醫師ニ頼ミテ無病人ヲ病人トシテ診斷書ヲ認メサスルハ醫師ハ前項ノ罪ヨリ重シトス其ノ故ニ醫師コソ真正ノ病ヲ診斷スル可キ職ニ居ナガラ詐稱ヲ認ムルヲ以テナリ

第二百十六條 陸海軍ノ徵兵ヲ免カル可キ為メ疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者及ヒ囑託ヲ受ケテ其詐偽ノ證書ヲ造リタル醫師ハ前條ノ例ニ照シテ各一等ヲ加フ徵兵ヲ免ガレントシテ病氣ナリトシ又ハ身体ハ傷ケテ其ノ役ヲ免ガレントスル

第二篇

一ハ既ニ之レヲ罰スルノ法ヲ載セタリシガ今此ノ條ハ醫師ノ診斷書ヲ偽造シテ疾病アリトシ之レガタメニ役ヲ免ガレシモノヤ詐病タルヲ知リナガラ病氣ナリトシテ診斷書ヲ認メタル醫師ハ前條ノ罪ニ一等ヲ加フルナリ其ノ誤如何トナレバ前條ハ一裁判所ノ証拠人トナルヲナドヲ忌ミテ起リシ作為ナレバ國民タルノ義務ヲ失シ愛國ノ心ヲ失フトマデニハ至ラザレモ徵兵ハ國民ノ義務ニシテ競フテ應募セズンバアラザルモノナル故ナリ

第二百十七條 免狀鑑札及疾病ノ證書ヲ増減更換シテ行使シタル者ハ亦偽造ノ刑ニ同シ

免狀鑑札醫師ノ診斷書ナドノ文面ヲ書キ加へ刪除シ又ハ文面ヲ書換ヘテ之レヲ用ヒタル中ニハ偽造シタルモノト同一ニ論ズルナリ

第六節 偽証ノ罪

裁判上ニテ有ルヲ無キト云ヒ無キヲ有ルト云ヒ偽リノ証拠ヲ上ゲタルノ罪ヲ云フナリ

第二百十八條 刑事ニ關スル証人トシテ裁判所ニ呼出サレタル者被告人ヲ出底スル

為メ支實ヲ掩蔽シテ偽証ヲ為シタル時ハ左ノ例ニ照シテ處断ス

裁判上ノ証人トシ呼出スベキ人物ハ素ヨリ公平廉直ニシテ偏頗偏愛ノ心アル可キモノニ非ズ夫レガタメ公権ヲ剥奪セラレ停止セラレタル如キモノハ決シテ用ヒザルナリ然ルヲ其ノ公平廉直ナルベキ証人ニシテ却テ罪人ヲ庇フタメ事実ヲ違ヘテ証人ヲ偽ル如キアリテハ大ニ罪人ノ刑ヲ寛ナラシメ酷ナラシムルノ大害ヲ生ズベシ故ニ左ニ其ノ例ヲ示スナリ

一 重罪ヲ曲庇スル為メ偽証シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四円以上四十円以下ノ罰金ヲ附加ス

重罪ノ中ニハ死刑ノ如キ無上ノ刑アレバ重罪人ノ罪ヲ免レシメンタメ事實ヲ曲ゲ庇フテ偽リノ証ヲ上ルモノハ其ノ罪大ナルナリ

二 輕罪ヲ曲庇スル為メ偽証シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上二十円以下ノ罰金ヲ附加ス

輕罪ハ輕シト雖モ違警罪ニ比スルモ亦タ重キナリ故ニ輕罪人ノ罪ヲ曲ゲ庇フンタメ偽リノ証ヲ上リタルモノハ其ノ罪重罪ヲ曲庇ヒシモノ、ナカバトナシタ

リ

三 違警罪ヲ曲庇スル為メ偽証シタル者ハ違警罪ノ本條ニ依テ處断ス

違警罪ハ最モ輕キモノニシテ重キモノト雖モ拘留ハ十日科料ハ一円九十五錢ニ止ル之レニ加等スルモ僅カニ拘留ハ十二日ニ過ギズ科料ハ二円四十錢ニ過ギザルナリ故ニ之ノ違警罪人ノ罪ヲ曲ゲテ庇ヒ偽リノ証ヲ上リタルモノヲ罰スルニ本刑ヨリ減ズルモハ懲ラスニ足ラズ因テ違警罪ノ各本條ニヨリテ曲庇シテ偽証ヲ上リシ者ヲ處分スルナリ

第二百十九條 偽証ノ為メ被告人正當ノ刑ヲ免カレタル時ハ偽証者ノ刑前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

証人ガ偽リノ証ヲ出シタルタメ被告人ガ至當ノ刑ヲ免ル、ニ至リシモハ其ノ罪前條ニ比シテ重キハ勿論ナリ故ニ

重罪ヲ曲庇シタル者ハ二月十五日以上二年六月以下ノ重禁錮五円以上五十円以下ノ罰金ヲ附加ス

輕罪ヲ曲庇シタル者ハ一月七日以上二年三月以下ノ重禁錮二円五十錢以上二十

五円以下ノ罰金ヲ附加ス

違警罪ヲ曲庇シタル者ハ三日以上十二日以下ノ拘留又ハ一円二十五銭以上二円四十銭以下ノ科料ニ處ス

第二百二十條 被告人ヲ陷害スル為メ偽証ヲ為シタル者ハ左ノ例ニ照シテ處斷ス

第四十八條第百十九條ハ被告人即チ罪人ノ罪ヲ曲ゲ庇ヒタル罪ヲ示シタルガ本條以下ハ被告人ヲ陷シテ其ノ罪ヲ重クスルモノ、罪ヲ示スナリ

一重罪ニ陷ラシムル為メ偽証シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十円以上五十円以下ノ罰金ヲ附加ス

二輕罪ニ陷ラシムル為メ偽証シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四円以上四十円以下ノ罰金ヲ附加ス

三違警罪ニ陷ラシムル為メ偽証シタル者ハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上十円以下ノ罰金ヲ附加ス

此ノ第一項ヨリ第三項マデハ第二百十八條ノ第一項ヨリ第三項マデノ反對ニシテ彼レハ罪人ヲ曲庇スル罪ニテ此レハ被告人ヲ陷害スル罪ナレバ罪人ヲ庇フノ

第二編

罪ヨリ罪人ヲ陷スノ罪ノ重キハ論ヲ俟タズ其ノ他別ニ異ナルコトナケレバ茲ニ註釈ヲ明細ニナサズ

第二百二十一條 偽証ノ為メ被告人刑ニ處セラレタル後ニ於テ偽証ノ罪發覺シタル時ハ偽証者ヲ其刑ニ及坐ス若シ及坐ノ刑前條ニ記載シタル偽証ノ刑ヨリ輕キ時ハ前條ノ例ニ照シテ處斷ス

其刑期限内ニ於テ偽証ノ罪發覺シタル時ハ現ニ経過シタル日數ニ照シテ及坐ノ刑期ヲ減スルコトヲ得但減シテ前條偽証ノ刑ヨリ降スコトヲ得ス

罪人ノ罪ヲ重カラシメンタメ偽リノ証ヲ上リタルタメ被告人ガ刑ニ處セラレ其ノ處セラレタル後チニ偽リノ証タリシコトガ發露シタル中ハ偽証シタル者ヲ即チ刑ニ處セラレタル被告人ノ刑ニ及坐スルトテ代ラシムルナリ

其ノ代ルベキ罪ガ偽証ノ罪ヨリ輕カリシ中ハ第百二十條ノ例ニ照シテ處分スルナリ

然ルニ偽証ノタメニ刑ノ申渡サレタル被告人ガ刑ノ期限ノ内ニアル中偽証ノタメニ處刑セラレシコトガ發覺スルキハ偽証シタル者ヲ偽証ノタメニ刑セラレタル

者二代リテ刑セラル、ハ前項ノ如シト虽此ノ時ニハ偽証ノタメ刑ニ處セラレタルモノ、今追過去リタル刑ノ期限ハ引除キテ偽証シタル者ノ刑ノ期限ヲ減ズルナリ

斯ク減ズルノ得ルト虽此減ジテ偽証者ノ罪ナル前條ノ三項ヨリ輕クナスコハナラヌモノナリ

第二百二十二條 偽証ノ為メ被告人死刑ニ處セラレタル時ハ及坐ノ刑一等ヲ減ス其未タ刑ヲ執行セザル前ニ於テ發覺シタル時ハ二等ヲ減ス

若シ被告人ヲ死ニ陥ル、ノ目的ヲ以テ偽証ヲ為シタル時ハ死刑ニ及坐ス其未タ刑ヲ執行セザル前ニ於テ發覺シタル時ハ一等ヲ減ス

偽リノ証ヲ上リタルタメニ被告人ヲ死刑ニ處セラレタルハ証ヲ偽リタル者ヲ死刑ニ及坐スルハ勿論ノ如シト虽此前項ハ被告人ヲ死ニ陥ル、ノ目的ヨリセシモノニハ非ザルユヘ死一等ヲ減ジテ無期徒刑ニ處スルナリ然ルニ被告人ガ死刑ノ未ダ行ハレザル前ナラバ有期徒刑ニ、テ減ゼラル、ナリ

故ラニ被告人ヲ死刑ニ處セント欲シテ偽リノ証ヲ上リ夫レガタメニ被告人ガ死

第二篇

刑ニ處セラレタルハ証ヲ偽リシモノモ死刑ニ坐ス之レ故殺謀殺ト其ノ実同ジケレバナリ然レモ被告人ガ未ダ死刑ヲ行ハレザル前ニテアリセバ一等ヲ減ジテ無期徒刑ニ處ゼラル、ナリ

第二百二十三條 民事商事又ハ行政裁判ニ關シテ偽証ヲ為シタル者ハ二月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五円以上五十円以下ノ罰金ヲ附加ス

本節中第二百十八條ヨリ第二百二十二條ニテハ刑事ニ關スル証換ヲ偽ルノ罪ヲ述ベタリシガ本條ハ民事訴訟ヤ商事ノ訴訟ヤ行政上ノ訴訟ナドニ付キ証換トナルベキ人ガ証換ノ偽リヲ申立テタル罪ナリ刑事ノ偽証ハ人ノ身体ニ關スルモノナルユヘ其ノ罪大ナレモ民事商事又ハ行政上ニ付テノ訴訟ニ付テノ偽リ証換ハ其ノ害害ニ原告又ハ被害ノ損害ニ止ルモノナレバ其ノ罪モ亦タカルカレベキナリ

第二百二十四條 鑑定又ハ通事ノ為メ裁判所ニ呼出サレタル者詐偽ノ陳述ヲ為シタル時ハ前數條ニ記載シタル偽証ノ例ニ照シテ處斷ス

第二百二十三條即チ前條ニテハ渾テ証換人ガ証換ヲ偽ルコトヲ述ベタリシガ本條

ニ至リテハ諸商品ヤ印影等ヲ鑑定ナサシムルタメ裁判所ニ鑑定者ヲ呼出シ又ハ外國人ヤ囑託ナドノタメニ言語ノ通事ヲナスモノヲ裁判所ニ呼出サレタル其ノ鑑定者ヤ通事ナドガ故ラニ実事ヲ陳ベズシテ言語ヲ偽ルキハ偽証ノ罪トハ云フ可カラザルモ之レガタメ被告人ヲ曲庇シ又ハ陷害スルハ証拠ヲ偽ルモノト敢テ異ナラズ故ニ之レヲ偽証ノ罪ト同ジク論ズルナリ

第二百二十五條 賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ偽証又ハ詐偽ノ鑑定通事ヲ為サシメタル者ハ亦タ偽証ノ例ニ同シ

自ラナサズトモ賄賂ヲ与ヘタリ詐欺シタリ脅迫シタリ締約シタリ威權ヲ以テシタリシテ他人ニ依頼シ証拠ヲ偽ラシメ鑑定又ハ通事ヲ詐ラシメタルモノハ自ラ為スト同ジク論ズルナリ之レ即チ人ヲ教唆スルモノナレバナリ

第二百二十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者其事件ノ裁判宣告ニ至ラサル前ニ於テ自首シタル時ハ本刑ヲ免ス

偽証詐偽ノ鑑定通事等ヲナストモ夫レガタメ未ダ裁判ノ宣告ニ至ラザルノ前ニ自ラ悔悟シテ官ニ自首シタルルキハ其ノ害タルヤ被告人ニ及バザル前ナルユヘ罪

第一篇

ノ問フ可キモノナシトスルナリ

第七節 度量衡ヲ偽造スル罪

物尺ヤ秤ヤ秤ナドハ官ノ制定スル規則アルモノナルユヘ之レヲ偽造スレバ即チ罪アルナリ

第二百二十七條 度量衡ヲ偽造シ又ハ變造シテ販賣シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十円以上五十円以下ノ罰金ヲ附加ス但官ノ記号印章ヲ偽造シ又ハ盗用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

物尺秤秤ハ官ノ許可ヲ得タル製造所ヤ賣捌所ナドアルモノナルヲ以テ之レヲ私ニ製造シ私ニ賣捌クハナラヌナリ然ルヲ之レヲ擅マニ製造シ又ハ物尺ノ目ヲ盛リ直シタリ秤ノ強鐵ヲ替ヘタリ秤ノ緒紐ヲ附ケ替ヘタリシテ賣捌クハ人ヲ欺瞞シ社會ヲ害スル少クナラザルナリ因テ本條ノ刑ニ処スルト虽氏之レ偽造ヲナスガタメニ官ノ記号印章ナドヲ偽造シ又ハ之レ等ヲ盗ミテ用ヒタルルキハ本條ノ刑ヲモツテロンゼズシテ偽造官印ノ各條ニヨリテ其ノオモキニ處スルナリ

第二百二十八條 偽造變造ノ情ヲ知テ其度量衡ヲ販賣シタル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ減ス

偽造シ又ハ變造スルモノト偽造又ハ變造タルヲ知リテ賣捌キヲナスモノトハ其ノ罪ノ輕重至テ見易カルベシタトヘ情ヲ知テ賣捌キヲナスモ偽造シ又ハ變造シタル主ニ比スレバ輕キヲ論フ俟タズ

第二百二十九條 商賈農工定規ヲ増減シタル度量衡ヲ所有シタル者ハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上二十円以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ其度量衡ヲ使用シテ利ヲ得タル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

商人農夫職人ナドハ必ズ物尺拵秤ハ入用ノモノナリ夫レヲ正真ナラズシテ規則ノ長短ヤ拵目ヤ拵目ナドニ背キタル物尺拵秤ナドヲ所持スルモノアルキハ假令ヘ之レヲ使用セザルトモ夫々ノ職業上ニ用ユルモノト視做シテ處分スルナリ所有シテスラ尚ホ且ツ然リ況ンヤ此ノ不正ナル器具ヲ以テ利益ヲ得タルモノニ於テオヤ之レ等ハ本條ヲ以テ論ゼズシテ詐偽取財ヲ以テ論ジ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ器具ハ沒收ス

第二一篇

第二百三十條 人ノ囑託ヲ受ケテ度量衡ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ハ其囑託シタル犯人ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

人ニ頼マレテ物尺拵秤ナドヲ偽造シ又ハ變造スルモノハ至ク已レノ賃錢ニ眼ヲ奪ハレテヨリスルモノナレバ之レヲ頼ミタル人ヨリ罪ノ輕キハ勿論ナリ

第八節 身分ヲ詐稱スル罪

華族ニシテ平民ナリト云ヒ平民ニシテ華族士族ナリト詐稱スルモノヲ罰スルヲ云フナリ

第二百三十一條 官署ニ對シ文書又ハ言語ヲ以テ其屬籍身分年齢職業ヲ詐稱シタル者ハ二円以上二十円以下ノ罰金ニ處ス

官へ出スベキ書面カ官へ向ヒ言語ニテ申出ルカノ時ニ已レノ屬籍ハ平民デアリナガラ士族ナリト云ヒ二男テアリナガラ嫡子ナリト云ヒ偽稱ナル名ヲモ兵衛ト云ヒ十八歳ナルニ二十一歳ナリト云ヒ小賣商ナルニ御賣商ナリト云フ如キ詐稱ヲ以テスルキハ世上ニ害ヲ及ボサルヲタリモ亦々官ヲ欺瞞スルノ罪ナキヤタハズ併シ青樓旅館屋杯ノ帳面へ暴リニ詐書スルカ如キハ本條ニ問フ可キ者

非ルモ亦ク甚ク宜シカラサルコトナリ

第二百三十二條 官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ服飾徽章若クハ内外國ノ勲章ヲ僭用シタル者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二円以上二十円以下ノ罰金ヲ附加ス身ニハ金飾燦々タル陸軍大將ノ正服ヲ着シ金裝ノサーペルヲ佩ヒ勲章ヲ懸ケ口ニ陸軍大將正四位大勲位何某ト稱セシニ何ゾ圖ラシヤ是レハ之レ一ノ平民ニシテ官位勲章等ノアルモノニ非ザルナリ夫レ斯クノ如キハ実ニ官權ヲ侵シ勲章ヲ服用スルノ權ヲ僭用シタルノ罪アルモノトスベキナリ

第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪

府縣會議員町村區會議員戸長惣代等ノ公ケニ札入レヲ以テ撰ブニ當リ其ノ札入ヲ偽造スルノ罪ヲ云フナリ尤モ此ノ節ハ政事上ニ關スルソニシテ銀行其ノ外株式會所米商會所等ノ重役ヲ公選スルニ付テノ偽造云々ハ其ノ節ニハ適當セザルナリ

第二百三十三條 公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル者ハ二月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二円以上二十円以下ノ罰金ヲ附加ス

諸議長議員或ハ戸長惣代人ノ如キモノヲ札入レヲ以テ公ケニ選舉スルニ當リ已レカ又ハ他人カヲ落札ナサシメントシテ札數ヲ増シ或ハ已レカ又ハ他人カヲ落札セラル、ヲ避ケンタメ札數ヲ減ズル等ノ如キ一アルハ其ノ所為タル詐欺ヲ免レザル者メ政事上ニ關スル一ナレバ斯クハ刑ニ處スルナリ

第二百三十四條 賄賂ヲ以テ投票ヲ為サシメ又ハ賄賂ヲ受ケテ投票ヲナシタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ三円以上三十円以下ノ罰金ヲ附加ス

札入レヲナスベキ權理アルモノニ賄賂ヲ送テ已レヲ入札セシメ又ハ札入レヲナス可キ權理アルモノ他ヨリ賄賂ヲ受ケテ其ノ人ヲ札入レスル如キ一アルハ前條ニ比スレバ其ノ罪輕キガ如シ虽モ公選ノ效力ヲ害スル甚クシキモノナレバ前條ニ比スル其ノ罪甚ク重キナリ

第二百三十五條 投票ヲ檢査シ及ヒ其數ヲ計算スル者其投票ヲ偽造シ又ハ増減シタル時ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ四円以上四十円以下ノ罰金ヲ附加ス

入札ヲ改メ其ノ數ヲ算フル可キ役ニアリナガラ入札ヲ偽造シ或ハ増シ或ハ減スル如キ一アルハ尚ホ盜罪ニ監守盜アルガ如キモノニシテ前二條ニ比スルハ其

ノ罪迄カニ重キナリ

第二百三十六條 調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者其數ヲ増減シ其他詐偽ノ所為アル時ハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ五円以上五十円以下ノ罰金ヲ附加ス札入レ終リタル后子落札ノ人名ヲ調べ之レヲ書キ認メテ其ノ落札人ニ報告スル者ガ入札ノ數ヲ増シ或ハ減ジ其ノ外詐偽ヲナシテ已レノ欲スル人ニ落札スル如キ本節即チ第二百三十三條ヨリ本條ニテノ中ニテ害ノ大ナルモノトス故ニ其ノ刑モ亦タ重シ

第五章 健康ヲ害スル罪

一人一已ニ對シテ健康ヲ害スルノ罪ハ別ニ章ヲ設ケルアリ此ノ章ハ社會ニ對シテ健康ヲ害スルノ罪ヲ云フナリ

第一節 阿片烟ニ關スル罪

阿片烟ハ專ラ英國領分ノ印度地方ニ產出スルモノニシテ罌粟ノ種類ナリ之レニ火ヲ點ジテ其ノ烟ヲ吸フキハ言フベカラザルノ快味ヲ覺ヘ精神恍惚トメ境界ニ入ルガ如キヨリ一ト度ヒ此ノ烟ヲ吸フキハ再ビ之ヲ絶ツト能ハザル如ク

第二篇

人ヲ醉沈セシムルナリ然ルニコノ阿片烟タルヤ頗ル毒氣ノアルモノニテ人命ヲ縮メ健康ヲ害スル數ナカラズ故ニ世界文明ノ國ニテハ嚴ニ之レヲ用ユルヲ禁ジタリ我國ニ於テモ業ニ已ニ此ノ禁アリ今又タ此ノ一節ヲ設ク人命ヲ重ンズルモノト云フベシ

夫レ阿片ノ社會ニ毒ヲ流ス斯クノ如シト虽モ之レヲ藥劑トシテ病瀉ニ適度ニ用ユレバ大ニ其ノ功能著シルキモノアリ故ニ藥用ノ阿片ハ用ユルヲ禁ゼラレシニハ非ルベシ看ヨ看ヨ彼ノ支那ノ風俗ヲ見ヨ一ト度ヒ阿片烟ノ輸入セシヨリ人々競フテ之レヲ吸ヒ如何トモスルコト能ハザルヨリ支那政府ハ頗ル之レヲ憂ヒ終ニ廣東ニ於テ阿片數万箱ヲ燒キ捨テ之レガタメ英國ト有名ナル大戰淨ヲ開クトハナレリ英國ト兵端ヲ開キ一敗地ニ墜チテ巨額ノ金田ヲ續シ香港ノ一島ヲ奪得スルニ至リタレバ爾後ハ此ノ弊ヲ一洗シテ阿片ノ烟ニダモ見ザルニ至ルベシト思ヒノ外政府ハ嚴禁スレモ人民ハ之レヲ守ラズ依然ヘ生命ヲ短縮シ財産ヲ抛ツト虽モ阿片烟ノ吸食ヲ癡スルコト能ハズトマテ熱心スルニ至リシトハ莫ニ恐ル可キノ至リナリ若シモ我國民ニシテ阿片烟ノ味ヲ知ル支

那人ノ如キニ至ラバ國ノ不幸ハ如何ゾヤ我儕ハ阿片烟ノ輸入ヲ愛フル一日ノ事ニアラズ苟クモ日本國民タルモノハ阿片烟ニ心醉セザルヨウ此ノ節ヲ遵守スル所アレ

第二百三十七條 阿片烟ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

外國ヨリ阿片烟ヲ輸入シ又ハ内國ニテ阿片烟ヲ製造シ又ハ阿片烟ヲ賣捌キタル者ハ社會ノ害大ナルモノナレバ其ノ罪素ヨリ輕カラス

以下本節ノ諸條ニ於テハ何人ノ所有タルヲ問ハズ阿片烟又ハ阿片烟ヲ吸食スル器具ハ官ニ没シテ毀棄スルナリ

第二百三十八條 阿片烟ヲ吸食スルノ器具ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ輕懲役ニ處ス

阿片烟ヲ吸フベキ器具ハ社會ニ阿片毒ヲ流スノ階梯タルモノナレバ之レヲ外國ヨリ輸入シ又ハ内國ニテ製造シ又ハ賣捌キタル者ハ罪アル勿論ナレトモ之レヲ賤賈即チ阿片烟ヲ取扱フタルモノニ比スレバ罪ノ輕キモノアリナリ

第一編

第二百三十九條 税關官吏情ヲ知テ阿片烟及ヒ其器具ヲ輸入セシメタル者ハ前二條ノ刑ニ照シ各一等ヲ加フ

何ニヨラズ外國ヨリ輸入スル物品ハ税關ノ官吏ニテ之レヲ検査スルモノナレバ禁制物ヲ輸入シテ其ノ発露スルモ必ズ此ノ官吏ノ務メヨリスルモノナリ斯ク輸入品ヲ検査スベキ官吏ガ國法ノ禁ジタル阿片烟又ハ阿片烟ヲ吸食スル器具ヲ輸入スルニ其ノ禁タルヲ知リナガラ障ヘザリシモノナレハ之レヲ輸入シタルモノヨリハ其ノ罪重シトス故ニ第二百三十七條第二百三十八條ノ刑ニ各々一等ヲ加ヘシナリ

第二百四十條 阿片烟ヲ吸食スル為メ房屋ヲ給与シテ利ヲ圖ル者ハ輕懲役ニ處ス人ヲ誘引シテ阿片烟ヲ吸食セシメタル者亦同シ

阿片烟ヲ吸フニハ必ズ寢所ニ於テシ寢所ニ横ハリテ吸ヒナガラ精神恍惚タルニ至リテ醉眠スルヲ好シトスルナリ夫レガタメ阿片烟ヲ吸フベキ程好キ寢所ヲ設ケテ之レヲ貸付ケ利ヲ射ント圖ルモノアリ尚ホ遊台館ガ青樓ニ於ケル如ク吸烟者ハ貸房ニ至リテ醉眠スルヲ大ナル快楽トスルナリ斯クノ如ク房屋ヲ貸シタル

モノハ吸食スル器具ヲ輸入シ製造シ又ハ販賣スル者ト同シク論ズルナリ
人ヲ勸メテ阿片烟ヲ吸食セシムルモ社會ニ毒ヲ流スノ階梯タル可ケレバ又前項
ト同一ニ論ズルナリ

第二百四十一條 阿片烟ヲ吸食シタル者ハ二年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

阿片烟ハ社會ニ毒ヲ流ス甚シキモノナレバ之レヲ吸フモノモ尤メザル可カラズ
之レヲ罰セザルキハ漸々蔓延シテ彼ノ支那ノ如キニ至ル可ケレバ豈ニ之レヲ忽
カヒニセザル可ケンヤ

第二百四十二條 阿片烟及ヒ吸食ノ器具ヲ所有シ又ハ所持シタル者ハ一月以上一年以
下ノ重禁錮ニ處ス

タトヘ阿片烟ヲ吸食セズ又タ之レヲ販賣セズシテ阿片烟ヤ之レヲ吸フベキ器具
ヤヲ所持シタリ人ヨリ預リタリスルモノタリトモ國禁ノ品ヲ所持スルノ責ハ免
ガレザルナリ

第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪

衆人ノ飲ムベキ水ヲ汚穢スルルキハ即チ人健康ヲ害スルノ甚ダシキモノナレバ

之レヲ罰スルヲ云フナリ

第二一篇

第二百四十三條 人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フルト能ハサルニ至ラ
シメタル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上五円以下ノ罰金ヲ附加
ス

井水又ハ河ノ淨水ナドハ一日モ缺ク可カラザルモノニシテ之レナクンバ人間ノ
生活片時モ保ツ可カラザルベキナリコノ大切ナル淨水ヘ糞ヤ尿ナドヲ入レ死屍
ナドヲ流スニ至ルルキハ之レガタメニ淨水ノ需要ヲ欠キ生計ノ便ヲ欠グモノナレ
バ其ノ所行タルヤ故意ニ出デシモノト戯ムレニ為セシモノト問ハズ其ノ罪ヲ
論ズベキモノナリトス

第二百四十四條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ用ヒテ氷質ヲ変シ又ハ腐敗セシメタル
者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三円以上三十円以下ノ罰金ヲ附加ス

前條ニテハ淨水ニ物ヲ投ジテ不潔ニナシタルノ罪ヲ論シ本條ハ有毒ノ質アル物
ヲ投ジテ水ノ性質ヲ変ジ或ハ水ヲ腐敗セシメテ人ノ健康ヲ害スルノ所行ヲナシ
タルモノナレバ其ノ罪ハ前條ヨリ重キモ然ル可キ筈ナリ

第二百四十五條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ歐打創傷ノ各

本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

有毒ノ質アル物ヲ投ジテ水ノ性質ヲ變ジ或ハ水ヲ腐敗セシメ夫レガタメ人ガ中
毒シテ病氣トナリ又ハ中毒シテ死シタルキハ人ヲ歐打シタルモノト同ジク論ジ

歐打創傷ニ照シテ處斷スルナリ

第三節 傳染病豫防規則ニ關スル罪

既ニ註釈セシ如ク傳染病ノ流行ハ人間最大ノ恐怖スベキモノナレバ官ニ於テ
モ其ノ傳染ヲ豫防スル嚴重ナル規則ヲ設ケザル可カラズ之レヲ破ルモノハ人
命ヲ輕ンズルコトノ罪アル可キナリ

第二百四十六條 傳染病豫防ノ爲メ設ケタル規則ニ違背シテ入港ノ船舶ヨリ上陸シ
又ハ物品ヲ陸地ニ運搬シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二十円以
上二百円以下ノ罰金ニ處ス

先ヅ傳染病トハ如何ノモノタルカノ註セズンバアザルナリ明治十三年七月九
日太政官第二十四号布告傳染病豫防規則第一條ニ拠レバ傳染病ハ左ノ六種ヲ指

シタルナリ

虎列刺病○腸室扶斯○赤痢○實布埒利亞○發疹室扶斯○痘瘡ナリ

之レ等ノ病ガ流行シ又ハ流行セントスルトキニハ港ニ入キタル船舶ヲ停メテ檢
査又ハ消毒法ヲオコナフナリ之レニ背キテ傳染ヲ命ゼラレ中乗組人ガ上陸シ又
ハ其ノ船ニ積ミコミアル荷物ヲ陸ニハコビ上ゲタルトキハ傳染ノ媒介ヲナシ恐
ルベキ結果ヲ見ルニイタルベケレバ之レ等ニ背キタルモノハ罰セズンバアル可
カラザルナリ

第二百四十七條 船長自ラ前條ノ罪ヲ犯シ又ハ人ノ犯スコトヲ知テ制セサル者ハ前條
ノ刑ニ一等ヲ加フ

船長ハ船中一切ノ事ヲ管シ其ノ責メニ預カルベキモノナレバ人ガ規則ヲ犯ス如
キコトアラバ之レヲ停メズンバアザズ之レヲ停メズシテ陸ニ上ラシムルカ又ハ自
ラ上陸シ且ツ荷物ヲ陸ニ運ブ如キコトアリテハ凡人ヨリハ其ノ罪重キ訣ケナリ

第二百四十八條 傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ流行地方ヨリ他所ニ出タル者
ハ十五日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十円以上百円以下ノ罰金ニ處ス

前條ハ海上ノ豫防ヲ犯シタルモノヲ刑シ本條ハ陸地ノ豫防規則ヲ犯シタルモノヲ刑ニ處スルケ條ナリ最モ熾シニ傳染病ガ流行ス地方ニアリテハ其ノ毒ヲ他ノ地方ヘオヨボサルタメニ警察官吏ニ其ノ取締ヲナサシメアルヒハ流行地方ノ人民ヲ其ノ住地外ニ出サバルコトアリ之レ等ノ規則ヲ犯シタルモノハ素ヨリ罪アルベシトイヘドモ警察官吏ノ嚴重ナル取締アルニモ關ハラズ犯ス罪ナレバハ警察官吏ガ寛裕ノ間アルヲ窺フテ爲シタル故ニ前條海上ヲ犯則者ニ比スレバ亦夕輕キナリ

第二百四十九條 獸類ノ傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ獸類ヲ他所ニ出シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五十元以上五十元以下ノ罰金ニ處ス

本條ト前條トハ只ダ人類ト獸類ト異ナリタルノ三抑モ獸類ト云フモノハ犬猫獺ナドマデモ總稱スルモノニ非ズ牧畜類即チ牛馬羊豚ノ類ノモノナリ

第四節 危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物品製造ノ規則ニ關スル罪
危害品及ヒ健康ヲ害スベキ品トハ凡ソ左ニ記載スルモノナルベシ之レ等ヲ製造スル必ズ規則アリ其ノ規則ニ特々モノヲ刑スルヲ云フ

第二二篇

銃砲藥雷肩ナドヲ製造シ所有シ之レヲ販賣スルノ布告○危害品積込規則○火柴藥線規則○火柴規則○紙管製造販賣ヲ禁スル布告○石油取締規則ノ類ナリ

第二百五十條 官許ヲ得スシテ危害ヲ生ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ二十円以上二百円以下ノ罰金ニ處ス

若シ健康ヲ害スベキ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ十円以上百円以下ノ罰金ニ處ス

火薬ヲ其ノ外激発スベキ危フキ品物ヲ製造スベキ場所ヲ取設ケ官ノ許可ヲ得ザルモノハ其ノ罪アルナリ之レ人身ヲ傷殺スルノ恐レアルモノナレバナリ健康ヲ害スベキ物品即チ臭氣アル藥ヲ製シ草ヲ製スル等ノ製造所ヲ設ケルモ罪ハアレト一發シテ身命ヲ絶シ前項ノ如キニ非ザルニハ罪ヲ輕クシタルナリ

第二百五十一條 官許ヲ得テ前條ニ記載シタル製造所ヲ創設スト虽モ危害ヲ豫防シ健康ヲ保護スル規則ニ違背シタル者ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

仮令ハ市中ニ於テ諸製造所ノ烟突ノ高クセザル如キ蒸氣機關ノ烟突ヲ掃除セザ

ル如キ市中ニテ救済スル如キ火止メ石炭油ヲ製スル如キタトヘ官ノ許可ヲ得タルモノナリトモノヨリハ輕シトモ亦モ亦タ罪アリナリ

第二百五十二條 前二條ノ罪ヲ犯シテ人ヲ疾病死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各

本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第二百五十條 第二百五十一條ノ如ク官許ヲ得ズ又ハ官許ヲ得タルモ規則ニ背キタル所為ヲ以テ危害物又ハ健康ヲ害スベキ物ヲ製造シ夫レガタメニ人ヲ殺シ又ハ人ヲ病痾ニ罹ラシメタルモハ之レヲ過失殺傷ニ照シテ論ズルナリ

第五節 健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ藥劑ヲ販賣スル罪

有毒質ノ飲食物ヲ賣捌キ又ハ毒藥劇藥ノ規則ヲ踏ミズシテ賣捌キタルモノヲ罰スルノ節ニシテ其ノ健康ヲ害スベキ飲食物及ヒ藥劑トハ凡ソ左ニ記載スル

規則ニヨルベキナリ 腐敗物賣捌キノ罪ハ違警罪ニアリ

賣藥規則 ○毒藥劇藥取扱規則 ○藥用阿片賣買並製造規則 ○燐製ノ鼠取藥販賣禁止ノ布告 ○アニリン其他鐵質製ノ繪具染料ヲ以テ飲食物ニ着色スルヲ禁ス

ル布達 ○賣肉規則 ○田圃沼池溝渠ノ汚濁水ヲ以テ製セシ氷ハ貯藏販賣スルヲ

禁ズル布達 ○牛乳搾取人取締規則 ○氷製造人并ニ發賣人取締規則等ノ類ナリ

第二百五十三條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ飲食物ニ混和シテ販賣シタル者ハ三円

以上三十円以下ノ罰金ニ處ス

磨敗シタル鶏卵ヲ以テ燒玉子ヲ製シアニリンノ着色シテ菓子ヲ製造スル如キ

ハ無論人ノ健康ヲ害スルモノナレバ之レ等ヲ賣捌キタルモノハ罰金ニ處スルナ

第二百五十四條 規則ニ違背シテ毒藥劇藥ヲ販賣シタル者ハ十円以上百円以下ノ罰

金ニ處ス

毒藥劇藥ヲ賣捌クニハ必ズ其ノ規則ノアルアリ其ノ規則ヲ破リテ毒藥劇藥ノ賣

捌ヲナス假令バ醫師ノ保狀ヲ持參セザル者ニ阿芙蓉又ハ燐芥子油等ヲ賣捌シ

タル甚高ノ如キ印紙ヲ貼用セシテ毒藥劇藥ヲ販賣スル可藥場ノ如キハ此條ノ

刑ニ處セラル、ヲ免レザルナリ

第二百五十五條 前二條ノ罪ヲ犯シテ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ過失殺傷ノ

各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

毒藥劇藥ヲ規則ニ從ハズシテ賣捌キ又ハ健康ヲ害スベキモノヲ飲食物ニ和シテ賣捌キタルモノ即チ第二百五十三條第二百五十四條ニ背キ夫レガタメ人ヲ病ニシメ又ハ死セシメタルモノハ過失殺傷ヲ以テ論スルナリ

第六節 私立醫業ヲ為ス罪

醫ハ人命ヲ助クルモノニシテ人命ノ委託人ト云フモ可ナルベキナリ斯ク大切至重ナル任ヲ負フ醫師ナレバ容易ク之レヲナス可カラズ何人ニ限ラズ之レヲ許ス時ハ醫ノタメニ却テ人命ヲ害スルノ恐レナキニ非ズ故ニ醫ヲ開業セント欲スルモノハ官ノ試驗ヲ受ケ官ノ許可ヲ受ケテ始メ開業スベキモノトス此ノ許可ヲ受ケズ窺カニ醫業ヲ営ムモノアルキハ之レヲ刑セズンバアラズ

第二百五十六條 官許ヲ得スシテ醫業ヲ為シタル者八十円以上百円以下ノ罰金ニ處ス

醫術ヲ開業スルベキ免許ヲ受ケズシテ窺カニ醫業ヲナシ他人ヲ治療スル如キアルルキハ即チ人ノ疾病ヲ擅ニ、ニ左右シ夫レガタメ如何ノ過チヲ來タスカモ計

第二一篇

ル可カラザレバ之レヲ罰スルニ本條ヲ以テス

第二百五十七條 前條ノ犯人治療ノ方法ヲ誤リ因テ人ヲ死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

醫術開業ノ免狀ヲ受ケズ私ニ病人ヲ治療シ過テ人ヲ死傷シタルキハ其ノ罪大ナリ因テ過失殺傷ニ照シ其ノ重キヲ以テ刑ニ処スルナリ

第六章 風俗ヲ害スル罪

風俗ヲ正シカルベキモノナリ其ノ正シカルベキ風俗ヲ紊リ社會ノ風儀習俗ヲ害スル如キハ其ノ罪ナカルベカラザルナリ

第二百五十八條 公然猥褻ノ所行ヲ為シタル者ハ三十円以上三十円以下ノ罰金ニ處ス

淫靡ヲナシタルモノハ必ズ被害者又ハ親屬ノ告訴ニヨリテ初メテ其ノ罪ヲ問フベキモノナレト人ノ見ル目モ憚ラズ見ルベカラザル淫靡ヲナシ又ハ陽萎陰疝ヲ見ハス如キハ礼儀ヲ背キ道德ヲ破リ社會ノ風俗ヲ紊ルモノナレバ其ノ罪アリサレト道路ニテ裸体トナリ放尿スル等ハ違警罪ノ問フ処ニシテ此ノ條ニ當ル可キモノニ非ズトス

第二百五十九條 風俗ヲ害スル冊子圖書其他猥褻ノ物品ヲ公然陳列シ又ハ販賣シタル者ハ四円以上四十円以下ノ罰金ニ處ス

俗ニ梳草紙ト稱スル冊子ヤ春畫ヤ俗ニはりかたト稱スル男女ノ湯陰ニ摸シタル品ナドヲ衆人ノ見ルベキケ處ヘ出シテ衆人ノ目ニ触レシメ又ハ之レ等ヲ賣捌クモノハ前條ノ罪ヨリモ重シサレモ公然衆ニ見セズ販賣セズ密カニ之レヲ見セズカニ之レヲ賣ルモノハ本條ノ外ナレモ亦タ宜シカラザルナリ

第二百六十條 賭場ヲ開設シテ利ヲ圖リ又ハ博徒ヲ招結シタル者ハ三月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十円以上百円以下ノ罰金ヲ附加ス

博奕ハ國ノ寶貨ヲ玩弄シ僥倖ノ利ヲ射ント欲スルノ弊害アルモノナレバ前二條ナル淫事ヲ見ハシテ風俗ヲ紊ルモノニ比スル更ニ甚シトス此ノ弊害ヲナスタメニ場所ヲ闕キタルモノヤ博奕ヲナス者等ヲ集メタル所ハ前條ノ罪ヨリハ大二重キヲ加フルナリ

第二百六十一條 財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ為シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五円以上五十円以下ノ罰金ヲ附加ス其情ヲ知テ房屋ヲ給与シタル者亦同シ

第二一篇

但飲食物ヲ賭スル者ハ此限ニ在ラス

國ノ寶貨ヲ賭ケ事シテ現ニ博奕ヲナシタルモノハ之レヲ集メタリ場所ヲ構ヘタリスルニ比スレバ少シク輕カルベキナリ○博奕ヲナスト知りテ其ノ人ニ室ヲ貸シ附ケタルモノモ前項ノ如シ○飲食スベキ品物ヲ賭ケスルモノハ此ノ條ヲ以テ刑ニ處スル限リニアラス

賭博ノ器具財物其現場ニ在ル者ハ之ヲ沒收ス

博奕ヲナスノ道具ヤ集リタル貨幣ヤ其ノ他博奕セシ場所ニ飛ビ散リタル品物ナドハ皆ナ之レヲ沒收スサレモ博奕ヲナセシ者ノ破産ニアルモノハタトヘ賭ケニテ儲ムハ得タルモノタリモ之レヲ官ニ沒收スベカラザルナリ

第二百六十二條 財物ヲ賭集シ富鐵ヲ以テ利益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五円以上五十円以下ノ罰金ヲ附加ス

富鐵ハ素ヨリ賭博ト同日ノモノニ非ズト虽モ數人ノ貨幣ヲ集メ人氣ヲ起サシム心ヲ乱サシメ終ニハ家業ヲ抛テ家産ヲ棄テ僥倖ヲ得ント欲スル如キ弊害ナシトス可カラザルモノナレバ此レ等ノ目的ヲ以テ私ニ富鐵ヲ興行ヲナスモノハ之レ

ヲ罰スルナリサレモ富ノ札ヲ賣買スル者等ハ罪ノ問マベキモノナシトス而ノ其ノ富鐵場ニアリシ貨幣等ハ其ノ掛ケコミ主ニ返還スルナリ

第二百六十三條 神祠佛堂墓所其他禮拜所ニ對シ公然不敬ノ所為アル者ハ二円以上

二十円以下ノ罰金ニ處ス

若シ説教又ハ禮拜ヲ妨害シタル者ハ四円以上四十円以下ノ罰金ニ處ス

人ノ風習慣俗トシテ神ヲ祭ル所即チ神祠ヤ佛ヲ安置スル所即チ佛堂ヤ人ノ遺骸ヲ埋ムル所即チ墓所ヤ其ノ外神ヤ佛ヤヲ拜スル所即チ禮拜所ヲ尊敬崇重スルハ然ラシムルモノニシテ斯クノ如キ所ニテ公然人ノ前ニテ神佛ヲ侮慢シ神佛ニ無礼ヲ加フル等ノ所行アリテハ風俗ヲ害スルモノナルベケレバ之レヲ罰金ニ處スルナリ

神祠佛堂ナドヲ拜スル人ヲ妨ゲ又タ神佛ナドノ説教ナドヲ妨グルモノハ其ノ罪只ダ神佛ニ不敬ヲナスモノヨリハ重キナリ

第七章 死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘スル罪

人ノ屍ヲ殘刺ニモ毀傷シ又タ之レヲ遺棄シ又タ之レカ墓原ナドヲ掘アバキタ

ル如キ時ノ罪ニシテ渾テ死者ニ侮辱ヲ加フルノ罪ナリ

第二百六十四條 埋葬ス可キ死屍ヲ毀棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上二十円以下ノ罰金ヲ附加ス

未ダ葬ラザル屍ヲ埋葬ノ勞ヲ厭ヒテ路ノ傍カ水ノ中へ棄テ又ハ之レヲ殘刺ニモ毀傷スル如ク死者ニ暴虐ヲ加フルモノ罪ナシトス可カラザルナリ

第二百六十五條 墳墓ヲ發掘シテ棺槨又ハ死屍ヲ見ハシタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ三円以上三十円以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ死屍ヲ毀棄シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五円以上五十円以下ノ罰金ヲ附加ス

死者ニ怨ミアリ又ハ棺ノ中ノ物品ヲ奪ヒ取ラントシテ墓所ヲ掘リアバキ屍ヲ見ハシタルハ死者ニ對シテ不敬ヲナシタルモノナレバ前條ノ罪ヨリハ重キトトス掘出シテ屍ヲ見ハスノミナラズ屍ヲ毀テ棄テタルハ尚ホ一層罪ノ重キ答ナリ

第二百六十六條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未タ遂ゲサル者ハ未遂犯罪ノ

例ニ照シテ處斷ス

死者ニ對シテ不敬ヲナシ利慾ヲ逞フスル如キハ罪ノ性質甚タ惡シキモノトス因テ斯クノ如キ罪ニテ輕罪ニ處セラルベキ罪ヲ遂グル能ハザルモノタリ凡不問ニ措クコトナク未遂犯罪ニ照シテ刑ニ處スルナリ

第八章 商業及農工ノ業ヲ妨害スル罪

第二百六十七條 偽計又ハ威カチ以テ穀類其他衆人ノ需用ニ缺ク可カラサル食用物ノ賣買ヲ妨害シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三円以上三十円以下ノ罰金ヲ附加ス

前項ニ記載シタル以外ノ物品ノ賣買ヲ妨害シタル者ハ一等ヲ減ス

衆人ノ需要ニ缺ク可カラザルモノトハ醬油薪味噌鹽茶ノ類ニシテ之レ等ノモノト穀類即チ米麦ナド、ヲ賣買スルハ人間日用ノ生計ニ最要ノモノタレバコノ賣買ヲ偽リノ計ヲ以テ妨ゲタリ威シテ妨ゲタリスルモノハ其ノ罪ナシトス可カラズサレ凡人間日常ノ生計ニ最要缺ク可カラザル品ノ外ノ賣買ヲ妨グル如キハ生計ノ物品ヲ妨グルニ比スル少シク宥ス處アルベシ

第二一篇

第二百六十八條 偽計又ハ威カチ以テ糶賣又ハ入札ヲ妨害シタル者ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上二十円以下ノ罰金ヲ附加ス

前條ノ如ク威シタリ偽リタリシテセリ賣ヤ札入レナドノ妨ゲナシタルモノハ罪アリト虽凡生計上ニ缺ク可カラサル物ヲ妨ゲタルモノニ比スレバ輕キハ勿論ナリ

第二百六十九條 偽計又ハ威カチ以テ農工ノ業ヲ妨害シタル者ハ亦前條ニ同シ

前二條即チ第二百六十七條第二百六十八條ハ商業ニ關シタルモノ、罪ニシテ本條ハ農業工業ヲ妨害シタル罪ヲ云フナリ均シク三業トモ同罪ナレ凡只タ生計ニ缺ク可カラサルモノ、賣買ヲ妨ゲタルモノ、ミ罪ノ重キモノナリトスルナリ

第二百七十條 農工ノ雇人其雇價ヲ増サシメ又ハ農工業ノ景況ヲ變セシムル為メ雇主及ヒ他ノ雇人ニ對シ偽計威カチ以テ妨害ヲ為シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三円以上三十円以下ノ罰金ヲ附加ス

農家ヤ職人ナドニ雇ハレアル者ガ已レノ雇價ヲ多カラシメンコトヲ欲シ又ハ農業ヤ工業ナドノ有様ヲ變セシメントシテ夫レガタメ已レノ朋輩ナル雇人ヤ雇主ナ